

保証書 (持込修理)

本書は、本書記載内容(下記規定)で、無料修理を行うことを、お約束するものです。

保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品番 MCN43si	
S/No.	
お買い上げ日	年 月 日 お買い上げ年月日の記載がない場合、無料修理規定外となります。
保証期間	お買い上げの日から1年
お客様 お名前 ご住所	様 TEL()
販売店 店名 住所	上欄に記入または捺印のない場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。

無効

<無料修理規定>

1. 本書記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本機及び本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
 - (ニ) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障及び損傷
 - (ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合
 - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合

- (チ) 付属品や消耗品等の消耗による交換
5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

故障内容記入欄

※本書を紛失しないよう大切に保管してください。
※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

株式会社コピテル

〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33

6SS1467-B

Original Contents Navigation for Rider MCN43si 取扱説明書

ATLAS®

Original Contents Navigation for Rider

MCN43si

取扱説明書

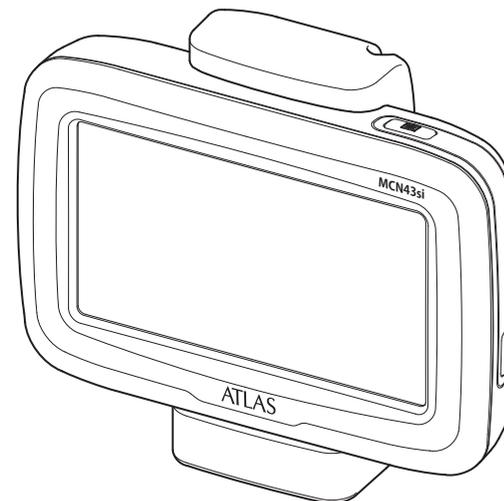
12V車専用

Bluetooth™

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本機はナビゲーションで目的地までのルート案内をするとともに、固定設置式オービスや事故多発エリアなどの、GPSターゲットデータを内蔵したオリジナルコンテンツナビゲーションシステムです。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、安全運転のよきパートナーとして正しくお使いください。なお、お読みになられたあとも、いつも見られる場所に大切に保管してください。



本機のご使用による、時間や車両燃料、有料道路料金などの損失、事故や違反、業務の中断や遅延、逸失利益、精神的損害、その他特別な事情から生じたいかなる損害(弊社が予見、または予見し得た場合を含む)および、第三者からお客様に対してなされた損害賠償請求に基づくいかなる損害に対しても、弊社は一切責任を負いません。

はじめに

基本操作

ルート設定

ターゲット識別
と設定

設定

ログビューア
ミュージックプレーヤ
ピクチャービューア

その他

はじめに	
目次	2
安全上のご注意	5
使用上のご注意	11
ナビゲーションと GPS 衛星について	14
各部の名称と働き	15
別売品	17
取り付けかた	18
本体の取り付け	18
本体の取り外し	19
接続先と構成図	20
コントロールスイッチ(オプション)の取り付け	20
レーダーレーンバーユニット(オプション)の取り付け	21
ヘルメット用スピーカー(オプション)の取り付け	21
リチウムイオン電池の取り付け/取り外し	22
microSD カードの取り付けかた	23
microSD カードの取り外しかた	25
リチウムイオン電池を充電する	26
リチウムイオン電池で使用する場合	27
Bluetooth ヘッドセット(オプション)の接続	28
メインメニュー(Main Menu)	30
メインメニュー画面	30
メインメニューの⑤オプションについて	31
起動状態表示について	32
基本操作	
ナビゲーションを起動するには	36
走行中のナビゲーション操作規制	36
ナビゲーション画面	37
ナビゲーション画面について	37
GPS 測位情報を見る	39
ナビゲーション画面の操作	40
文字入力のしかた	42
文字入力方法	43
ルート設定と操作の流れ	44
ルート設定の操作手順	44
ルート案内中のナビ画面について	45
一般道走行中の表示(通常表示)	45
高速道路走行中の表示(ハイウェイ表示)	47
イラスト表示	49
道路の表示色	49
ルート設定	
住所から目的地を選ぶ	52
ナビ画面から目的地を選ぶ	56
施設から目的地を選ぶ	58
周辺の施設を選ぶ	61
電話番号から目的地を選ぶ	67
フリーワードで目的地を選ぶ	69
まっぶるコードで目的地を選ぶ	73
過去の履歴から目的地を選ぶ	76
経由地を追加する	78
経由地の順番を変更・削除する	80
地点を登録する	82
自宅を登録する	82
お気に入り登録する	83
警告させたい地点を登録する (マイエリア登録)	84
ローカルエリアを登録する	86
ローカルエリアの範囲を変更する	87
ローカルエリアを削除する	89
登録地点を確認する	91
自宅へ帰る	92
GPS が受信できない場所でルートを 確認する(自車位置修正)	93
道路切り替え	95
一般道への切り替え	95
有料道への切り替え	96
案内を中止する	97
登録地点を削除する	98
ターゲット識別と設定	
GPS 測位機能について	102
GPS ターゲット識別	103
GPS ターゲット識別について	103
フルマップレーダースコープ表示について	104
ステータスバー表示について	104
レーダー波受信時の動作 (レーダーアラーム)	110

- **保証書(裏表紙参照)**
保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。
 - **保証期間**
お買い上げの日から1年間です。
 - **対象部分機器**
本体(消耗部品は除く)
 - **修理をご依頼される時**
「故障かな?と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。
 - **保証期間中のとき**
保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。
保証書の内容に従って修理いたします。
 - **保証期間が過ぎているとき**
まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。
- ※点検や修理の際、履歴や登録したデータが消去される場合があります。
※修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

ユピテルご相談窓口

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

- 下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
- 電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。
- 紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

故障相談や取扱方法などに関するお問い合わせ

受付時間 9:00~17:00 月曜日~金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

お客様ご相談センター



0120-998-036

レーダー波 3 識別 (iDSP) について	111
アイ(1)キャンセルポイント/アイ(1) キャンセル禁止ポイントを確認する	113
17 バンド受信機能について	114
無線 14 バンド識別機能について	114
取締りのミニ知識	119
ナビゲーション設定	
設定メニュー画面を表示させる	122
表示・音声設定	123
音量を設定する	123
輝度(昼間・夜間時)を設定する	123
フルマップレーダー表示を設定する	124
警報音声を設定する	125
レーダー受信音を設定する	126
電源 ON 時音声を設定する	128
案内開始時音声を設定する	129
案内終了時音声を設定する	130
リレポート時音声を設定する	131
速度オーバー時音声を設定する	132
GPS 測位時音声を設定する	133
GPS 非測位時音声を設定する	134
地図設定	136
地図色を設定する	136
地図方向を設定する	137
地図文字サイズを設定する	138
企業アイコンの表示を設定する	139
3D ランドマークの表示を設定する	140
ぬけみちの表示を設定する	141
走行軌跡の表示を設定する	142
駐禁エリア・路線を設定する	143
案内設定	144
交差点拡大図の表示を設定する	144
ハイウェイモードの表示を設定する	145
都市高速入口イラストの表示を設定する	146
JCT(ジャンクション)イラストの表示を設定する	147
SA(サービスエリア)/PA(パーキングエリア) イラストの表示を設定する	148
ETC イラストの表示を設定する	149
現在地表示を設定する	150
探索条件を設定する	151

ぬけみち考慮探索を設定する	152
車種を設定する	153
ETC 機器を設定する	154
踏切注意案内を設定する	155
合流注意案内を設定する	156
地図スケールの自動切り替え(誘導時縮尺)	157
レーダー設定	158
レーダー動作モードを設定する	158
GPS ターゲットの表示・音声を設定する	160
GPS ターゲットの道路選択を設定する	162
レーダー波受信時の表示・音声を設定する	164
レーダー波受信時の受信感度モードを設定する	165
レーダー波の受信感度モードについて	166
レーダー波受信時の反対車線オービス キャンセル機能を設定する	168
無線機能の表示・音声を設定する	169
無線の受信感度モードを設定する	172
システム設定	174
操作音を設定する	174
GPS 測位情報を表示する	174
システム情報を見る	175
タッチパネルを補正する	176
ナビゲーションの設定を初期化する	177

ログビューア

ミュージックプレーヤー ピクチャービューア

使用前の準備	180
準備するもの	180
microSD カードへの保存	180
ログビューア (Log Viewer)	185
ログビューア (Log Viewer) を起動するには	185
ログビューア (Log Viewer) の走行履歴画面について	186
走行履歴の表示画面について	186
設定画面について	187
走行履歴を見る	188
走行履歴を削除する(日付別)	188
走行履歴を削除する(全履歴)	190
ミュージックプレーヤー (Music Player)	191
ミュージックプレーヤー (Music Player) を起動/再生するには	191

ミュージックプレーヤー (Music Player)	
の画面について	192
Play List (プレイリスト) の画面について	193
トーンコントロール (Tone Control) の画面について	197
ミュージックプレーヤーのオプション	
(Optional) 画面について	198
ピクチャービューア (Picture Viewer) …	200
ピクチャービューア (Picture Viewer)	
を起動するには	200
ピクチャービューア (Picture Viewer)	
の画面について	200
ピクチャービューア (Picture Viewer)	
のメニュー (Menu) 画面について	201
スライドショーのオプション (Option)	
画面について	203
その他	
GPS データ更新	206
地図凡例	207
故障かな? と思ったら	209
仕様	212
地図データベースについて	213
アフターサービスについて	215
保証書	裏表紙

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき使用する方への危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、次の表示で区分し、説明しています。

-  **危険**：危険内容を見逃した取り扱いをすると、死亡または重症を負う高い可能性が想定されます。
-  **警告**：警告内容を見逃した取り扱いをすると、死亡または重症を負う危険な状態が生じることが想定されます。
-  **注意**：注意内容を見逃した取り扱いをすると、傷害や物的損害をこうむる危険な状態が生じることが想定されます。

絵表示について

-  この記号は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
-  この記号は、してはいけない「禁止」内容です。
-  この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。
-  この記号は、関連するページを示します。

●安全上お守りいただきたいこと

⚠ 警告

- !** 運転に際しては必ず現場の交通規制標識／掲示などに従ってください。交通事故やけがの原因となります。
- !** 走行中は運転者による操作、画面の注視をしないでください。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。交通事故やけがの原因となります。
- !** 歩きながらの操作や、注視をしないでください。必ず安全な場所に立ち止まってご使用ください。
- !** 穴やすき間にピンや針金等の金属を入れないでください。感電や故障の原因となります。
- !** 高温の場所や、直射日光の当たる場所に、本機を長期間放置しないでください。リチウムイオン電池などの過熱等により、火災の原因となります。
- !** 異物が入ったり、水や飲み物がかかったり、煙が出ている、変な臭いがする等、異常な状態のまま使用しないでください。発火の恐れがありますので、すぐに使用を中止して、修理をご依頼ください。
- !** 取り付け、取り外しは安全な場所に停車してから行ってください。交通事故やけがの原因となります。
- !** 本機を車でご使用されるときは電源はDC12V(マイナスアース)車専用です。これ以外の接続は故障や火災の原因となります。
- !** 本機を車の電源に直接接続しないでください。故障や火災の原因となります。
- !** 運転の際に、視界の妨げや運転操作に支障となる場所、エアバッグ上やエアバッグの妨げとなる場所に取り付けたり配線しないでください。交通事故やけがの原因となります。また、エアバッグが正常に作動しません。
- !** 医用電気機器の近くでは使用しないでください。埋め込み型心臓ペースメーカーや、その他の医用電気機器に電波による影響を与える恐れがあります。
- !** 本機を、船舶・航空機等の主航行装置として、また登山用地図として使用しないでください。地図に誤差が出ることがあります。また、電池が切れると作動(地図表示)もできませんので事故や遭難の原因となります。

⚠ 警告

- !** 走行前にしっかり固定されていることを確認してください。交通事故やけがの原因となります。
- !** 走行する際は、必ず本体取り外しボタンの固定と固定用ネジによる固定の2重ロック状態でご使用ください。
- !** 本機の分解や改造は絶対にしないでください。火災、感電、故障の原因となります。また誤作動、不具合が発生した場合、当社は一切の責任を負いません。走行中に落下等で、運転の支障となり、交通事故やけがの原因となります。

⚠ 注意

- !** 本機は精密機械です。静電気/電氣的ノイズ等でデータが消えることがあります。データが消えると作動しません。
- !** microSDカードの挿入口や、USB端子、ステレオヘッドフォン端子に異物が入ると、故障の原因となることがありますので取り扱いにご注意ください。
- !** 温度の低い場所で使用の際は結露に十分注意してください。感電の原因となります。
- !** 本製品は防水設計になっていますが、洗車時には本製品を外して洗車してください。
- !** ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。塗装面を傷めます。
- !** 濡れた手で操作しないでください。感電の原因となります。
- !** 本体、スタンドに必要以上に力を加えないでください。破損や故障の原因となります。
- !** 強い衝撃を与えないでください。液晶パネル(タッチパネル)が割れて、けがの原因となります。
- !** 本機は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。
- !** 高温時は本体を車内に長時間放置しないでください。変形や故障の原因となります。

●リチウムイオン電池について

⚠危険

- ⊘ リチウムイオン電池を分解したり、改造したりしないでください。リチウムイオン電池が液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。
- ⊘ リチウムイオン電池の端子部を針金などの金属で接続しないでください。また、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒を持ち運んだり、保管しないでください。リチウムイオン電池がショート状態となり、過大な電流が流れ、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火あるいは針金やネックレスやヘアピンなどの金属が発熱する原因となります。
- ⊘ リチウムイオン電池を火の中に投入したり、加熱しないでください。絶縁物が溶けたり、電解液に引火したりして、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
- ⊘ リチウムイオン電池を火のそば、ストーブのそばなどの高温の場所(80℃以上)で使用したり、放置しないでください。熱により樹脂セパレータが損傷した場合、リチウムイオン電池が内部ショートし液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。
- ⊘ リチウムイオン電池を水や海水などにつけたり、濡らさないでください。リチウムイオン電池内部で異常な化学反応が起こり、リチウムイオン電池パックが液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。
- ⊘ 火のそばや炎天下などでの充電はしないでください。リチウムイオン電池内部で異常な化学反応が起こり、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
- ⊘ 釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。リチウムイオン電池が破壊、変形され内部でショート状態になり、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
- ⊘ 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。リチウムイオン電池を液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火させる原因となる恐れがあります。
- ⊘ リチウムイオン電池を落としたりまたはその他の理由で外傷、変形の激しいリチウムイオン電池は使用しないでください。液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
- ⊘ リチウムイオン電池に直接ハンダ付けしないでください。熱により、絶縁物が溶けて、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
- ⊘ リチウムイオン電池が漏液して液が目に入ったときは、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で十分に洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。放置すると液により目に障害を与える原因となります。

⚠警告

- ❗ 充電の際に所定の充電時間を越えても充電が完了しない場合には、充電をやめてください。リチウムイオン電池を液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火させる原因になる恐れがあります。
- ❗ リチウムイオン電池が漏液したり、異臭がするときには、直ちに火気より遠ざけてください。液漏れした電解液に引火し、発煙、破裂、発火の原因となります。

⚠注意

- ⊘ 直射日光の強い所や炎天下の車内などの高温の場所で使用したり、放置しないでください。液漏れ、発熱、発煙の原因になる恐れがあります。また、リチウムイオン電池の性能や寿命を低下させることがあります。
リチウムイオン電池の充電温度範囲は、次のとおりです。
充電可能範囲：0℃ ~ +45℃
- ❗ リチウムイオン電池が急に加熱されたり、密閉状態が壊れたりして、液漏れ、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。また、リチウムイオン電池の性能や寿命を低下させることがあります。
- ❗ リチウムイオン電池が液漏れして、液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。
- ❗ リチウムイオン電池は、乳幼児の手の届かない所に保管してください。また、使用する際にも、乳幼児が装着した機器から取り出さないようにご注意ください。
- ❗ お買い上げ後、初めて使用の際に、さびや異臭、発熱、その他異常と思われるときは、使用しないでお買い上げの販売店にご持参ください。
- ⊘ 濡れたリチウムイオン電池は使用しないでください。故障、感電、発熱、発火の原因となります。
- ⊘ 濡れた手でリチウムイオン電池をさわらないでください。感電の原因となることがあります。
- ⊘ 通電中のバッテリーパックに長時間触れないでください。温度が相当上がることがあります。長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

●液晶パネル(タッチパネル)について

⚠ 警告

⚠ 画面を強く押ししたり、先の鋭いもので押さないでください。タッチパネルが割れて、けがの原因となります。

- 地図データの誤字・脱字・位置ずれなどの表示または、内容の誤りに対して、取り替えや代金の返却はいたしかねます。
- 地図データの機能がお客様の目的に正確に適応することを、弊社は保障するものではありません。
- 地図データやプログラムの著作権は、著作権に基づく権利を許諾した者に帰属しております。データ/プログラムの複製、改造、解析等を行うことはできません。
- 道路/地名は、変更される場合がありますので、実際と違う場合があります。
- 本機の使用上の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃から安全運転を心がけてください。
- 本体に入力された個人情報は、本体内部のメモリーに残っています。他人に譲渡または、処分などをされる際はプライバシー保護のため、個人情報の取り扱い管理は必ずお客様の責任で行ってください。
- 液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があります。あらかじめご了承ください。

本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、予告なしに変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

●周波数・電波干渉について

⚠ 警告

⚠ この製品は 2.4GHz 帯の周波数を使用しています。この周波数帯は、産業・科学・医療関係機器、各種無線局や無線 LAN など（以下「他の無線局」）にも使用されています。
ご使用中に「他の無線局」との電波干渉が発生した場合は、ご使用場所を変更するか、本機の使用を中止（電波の発信を中止）してください。

■ 本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。

■ ナビゲーションに関する注意

- ・ 一方通行や中央分離帯などで進行できない方向や、車両が走行できない細い道路などを案内することがあります。
- ・ 曜日や時刻、天候や季節などによる道路規制には対応していません。必ず現場の状況や交通規制・標識・掲示などに従ってください。
- ・ ルート探索時に表示される有料道路の通行料金は、ETCを利用しない場合の料金表示となります。ETCを利用した場合の各種割引料金は表示されません。
- ・ 防水・防塵仕様やオプション設定に関しましては自動二輪車での使用を想定しておりますが、制限速度、交通規制や経路案内などは、乗用車用ナビと同様であり、自動二輪車には対応していません。あらかじめご了承ください。

■ ナビゲーションの操作の規制

(●P.36)

- ・ 車両での使用時は、一定速度以上になると、安全のため走行中のナビゲーションの操作を規制します。

■ 電話番号検索に関する注意

(●P.67)

- ・ 電話番号検索で表示された地図の場所と、実際の場所が異なる場合があります。
- ・ プライバシー保護のため、個人宅の電話番号は登録されておられません。

■ 取り付けに関する注意

- ・ 取り付けは確実に行ってください。
- ・ 本機を運転に支障をきたす場所に置いたり取り付けたりしないでください。
- ・ 運転の際に、視界の妨げや運転操作に支障となる場所、エアバッグ付近には取り付けしないでください。
- ・ 直射日光の当たる場所や高温の場所に長時間放置しないでください。
- ・ GPS衛星からの電波を受信しやすい場所に取り付けてください。また本体の上部にルーフや、他の機器のアンテナ・金属等の障害物がない場所に取り付けてください。

■ リチウムイオン電池に関する注意

- ・ リチウムイオン電池には寿命があります。
- ・ 不要になったリチウムイオン電池は、リサイクル協力店へお持ちください。
- ・ 火の中に投入したり、加熱したり、分解や改造をしないでください。
- ・ 高温の場所や、直射日光の当たる場所に長時間放置しないでください。液漏れ等の原因になります。
- ・ リチウムイオン電池の端子にハンダ付けしたり、針金などの金属類を接続しないでください。
- ・ リチウムイオン電池を水や海水につけたり、濡らしたりしないでください。
- ・ リチウムイオン電池から漏れ出した液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。

お願い

不要になったリチウムイオン電池は金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って、お住まいの自治体の規則に従って正しくリサイクルしていただくか、最寄りのリサイクル協力店へお持ちください。リサイクル協力店につきましては、一般社団法人 JBRCのホームページ (<http://www.jbrc.net/hp/contents/jbrc/index.html>) をご参照ください。



■ リチウムイオン電池の充電に関する注意

- ・ 充電可能な温度範囲は、0 ~ +45℃です。安全のため、高温時や低温時は充電ができません。

■ 液晶パネル部

- ・ 画面を強く押ししたり、先の鋭いもので押さないでください。タッチパネルが割れて、けがの原因となります。
- ・ サンガラスを使用時、偏光特性により、表示が見えなくなってしまうことがあります。あらかじめご了承ください。

GPS測位機能 (●P.102) に関する注意

- 本機を初めてご使用になる場合は、GPS測位が完了するまで20分以上時間がかかる場合があります。
- 走行速度や進行角度、距離などの表示は、GPSの電波のみで計測しています。測位状況によって、実際とは異なる場合があります。
- 車載TVをUHF56チャンネルに設定していると、GPS測位できない場合があります。UHF56チャンネル受信周波数が障害電波となり、GPS受信に悪影響を与えるためです。
- 新たに設置されたオービスなど、データ登録されていないターゲットは警報できませんので、あらかじめご了承ください。
- 左右方向識別ボイス(●P.106)は、告知時点でのターゲット方向であり、右車線、左車線を示す訳ではありません。

レーダーアラーム(●P.110) に関する注意

- ※ 別売品のレーダーレーサーユニット(OP-RD1)を使用した場合
- レーダー波を使用しない速度取締り(光電管式など)の場合、事前に検知することができませんので、あらかじめご了承ください。
 - 走行環境や測定条件などにより、取締りレーダー波の探知距離が変わることがあります。
 - 前に走行している車(とくに大型車)がある場合や、コーナー、坂道では、電波が遮断され、探知距離が短くなる場合があります。スピードの出やすい下り坂では、とくにご注意ください。
 - 狙い撃ちの取締り機(ステルス型取締り機)は、計測する瞬間だけ電波を放射するため、受信できなったり、警報が間に合わない場合があります。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。(●P.111)

無線14バンド受信機能 (●P.114) に関する注意

- ※ 別売品のレーダーレーサーユニット(OP-RD1)を使用した場合
- カーオーディオなどのモーターノイズにより、反応する場合があります。あらかじめご了承ください。
 - カーロケーターシステムは、全国的に新システムへの移行が進んでいます。現在は受信可能な地域であっても今後、新システムへの移行により受信できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。新システムが導入された地域や、新システムに移行した場合、カーロケ無線の警報や、ベストパートナー6識別(●P.117)は、働きません。

表示画面に関する注意

- 表示内容は、実際と異なったり、変更になる場合があります。
- 時刻は、GPS測位により自動的に設定され、時刻合わせの操作は不要です。(測位状況により時刻が合わないことがあります。)
- 自車速度や進行方向、高度、現在地、距離などの表示は、GPSの電波で計測しており、補正機能はありません。測位状況によって、実際とは異なる場合がありますので、目安としてお考えください。なお、車両の速度計は、実際より数値が高く表示される(プラス誤差)傾向があります。
- 渋滞や低速走行時(発進直後を含む)は、自車速度が正しく表示しないことがあります。

オートリルートに関する注意 (●P.55)

- ミュージックプレーヤー (Music Player) を起動中は、オートリルートに時間がかかる場合があります。

microSDカードに関する注意

- GPSデータの更新や、ログビューア(Log Viewer)、ミュージックプレーヤー(Music Player)ピクチャービューア(Picture Viewer)を使用する際は、市販の2GB以下のmicroSDカードまたは、8GB以下のmicroSDHCカードをご用意(別途ご購入)ください。 ※microSDとの相性による動作の不具合については保証いたしかねます。
- microSDカードの出し入れは、本体のUSB端子からケーブルを外した状態で行ってください。
- microSDカードは一方方向にしか入りません。無理に押し込むと、microSDカードが壊れることがあります。
- 本体に強い衝撃を与えると、microSDカードの読み出し/書き込みのエラーが発生する場合があります。

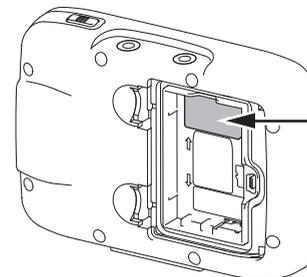
本体セットに関する注意

- 端子部が濡れた状態で、車両のメインスイッチをONにしないでください。
- 車両のメインスイッチをONにした状態で、端子部に触れないでください。
- 本体を外したときは必ず端子部に端子カバーをしてください。
- 雨天時などに取り外すときは、端子部が濡れないようにしてください。
- 心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様は、電波による医療機器等への影響を、医療用電気機器製造業者や担当医師にご確認ください。
- 弊社オプションのBluetooth機器(HD-BT1/HD-BT3)以外のBluetooth機器との動作保証はいたしかねます。

- 自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 説明書に記載の使用方法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。
- 本書で使用している画像は、実際の画面とは見えかたが異なる場合があります。
- 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

ご注意 電波法について

- 本体裏面の技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。はがして使用すると、電波法により罰せられることがあります。
- 海外では使用しないでください。
- 分解したり改造することは、電波法で禁止されています。改造して使用した場合は、電波法により罰せられることがあります。



技術基準適合証明ラベル

ナビゲーションとGPS衛星について

各部の名称と働き

次ページに続く

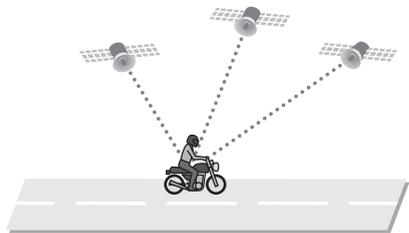
はじめに

GPS(グローバル・ポジショニング・システム)衛星は、常に高精度な時間情報等を地球に向けて送信しています。ナビゲーションは、このGPS衛星を利用して得た現在地の情報を地図データに重ねて表示しながら、目的地までのルートを案内するものです。

誤差と修正方法について

緯度・経度・高度や地図上の自転車位置がずれている場合があります

GPS衛星からの電波が良好に受信できる見通しの良い道をしばらく走行して正しい現在地を認識すると、自動的に現在位置を補正します。



誤差を生じる原因

- 周囲を高いビルに囲まれた場所や、高速道路の下、トンネル内等、GPS測位(電波を受信)ができない場所
- 雪や雨等の悪天候の場合
- 携帯電話中継局等大きな電波の発生源が近くにある場所
- 車速パルスの入力やジャイロセンサーを搭載しておりませんので、自転車位置がずれることがあります。

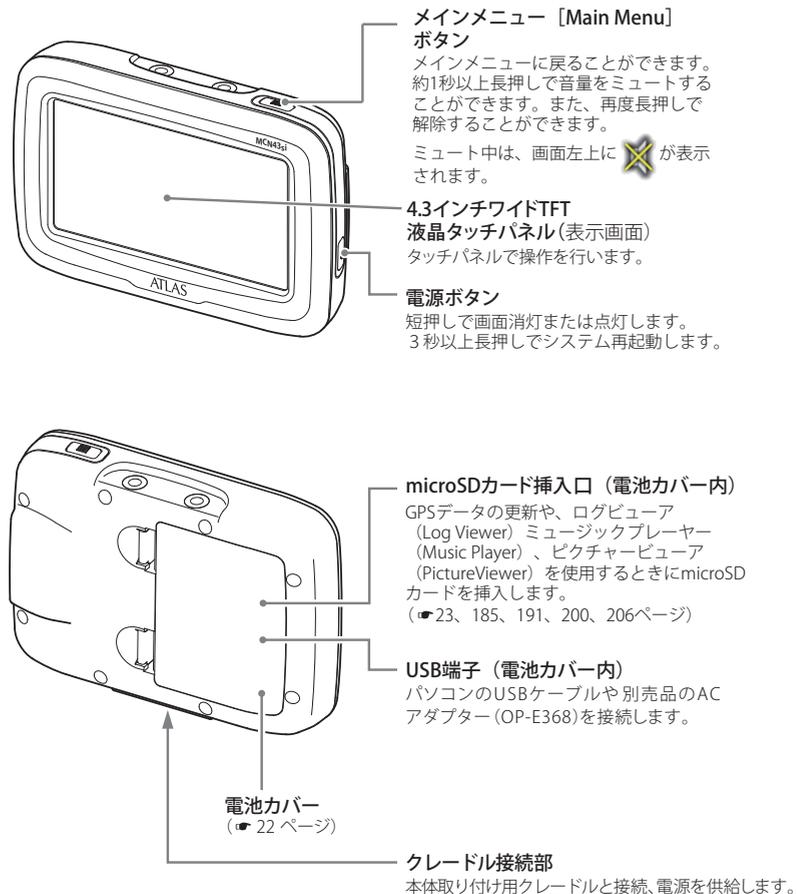
テレビによるGPS測位障害について

車載テレビ等をUHF56チャンネルに設定していると、GPSを測位できない場合があります。これは、UHF56チャンネルの受信周波数が障害電波となり、GPS衛星からの電波受信に悪影響を与えるためです。ご注意ください。

通常、GPS電波受信が終わるまで、約3分程度かかりますが、初めてのご使用や、ビルの谷間等、視界の悪い場所では、GPS衛星からの電波を受信しにくく、受信に20分以上時間がかかる場合があります。障害物や遮へい物のない視界の良い場所へ移動し、車を停車して行ってください。

はじめに

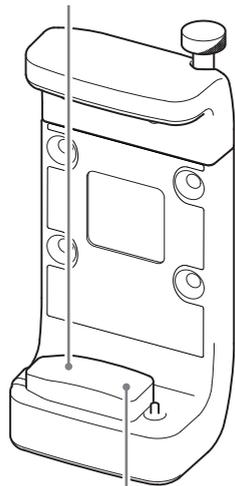
本体



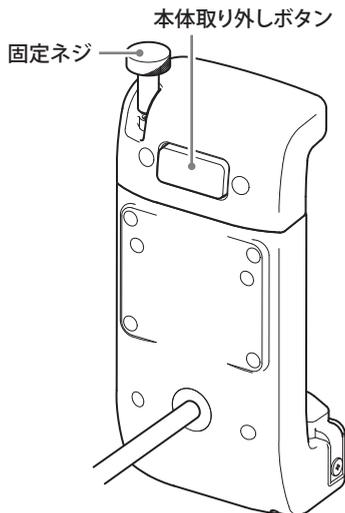
付属品

- 本体取り付け用クレードル……1

I/O 端子 (端子カバー内)
本体との接続端子



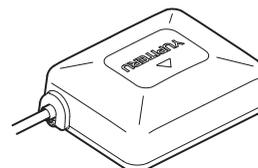
端子カバー
接続端子を保護します。



- 電源コード……1
- リチウムイオン電池(本機専用)……1
- 取扱説明書/保証書(本書)……1

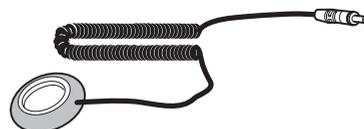
別売品

- レーダーレーザバーユニット OP-RD1 …………… 21,000円 (税込)
レーダー波、無線の受信回路を内蔵したユニットです。

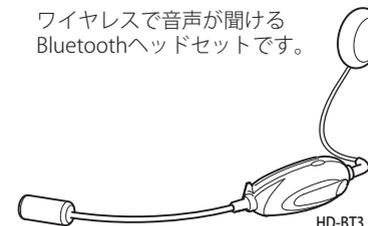


・外形寸法
66(W)×52(H)×23(D)mm
(突起部・ケーブル類除く)

- ヘルメット用スピーカー OP-SP1 …………… 3,150円 (税込)
ヘルメット内側に貼り付ける、専用の有線スピーカーです。



- Bluetooth ヘッドセット HD-BT1 …………… 10,500円 (税込)
HD-BT3 …………… 21,000円 (税込)
ワイヤレスで音声が聞ける Bluetooth ヘッドセットです。

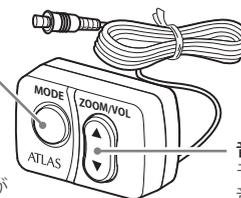


- コントロールスイッチ OP-SW1 …………… 5,250円 (税込)
音量や地図の縮尺を手元でコントロールできます。 ・外形寸法
50(W)×33(H)×21(D)mm
(突起部・ケーブル類除く)

モード切り替えボタン

ボタンを押すごとに、音量設定モード/ズーム設定モードと切り替わり、長押しすることで音声をミュートすることができます。

ミュート中は、画面左上に  が表示されます。

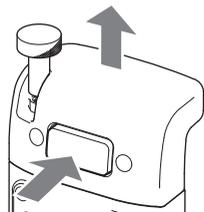


音量上下/地図尺度上下ボタン
モード切り替えをすることで、音量の上下や地図の縮尺を変更することができます。

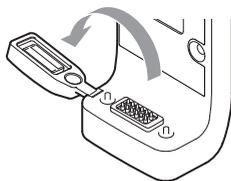
- 5Vコンバーター付シガープラグコード OP-E445 (約3m) …………… 3,675円 (税込)
お車のシガーソケットから充電できます。
- ACアダプター OP-E368 …………… 3,150円 (税込)
ご家庭での使用や充電ができます。
- 充電式リチウムイオン電池 OP-LB1100 …………… 5,250円 (税込)
付属の電池と同じものです。

本体の取り付け

- 1 クレードル背面の本体取り外しボタンを押しながら、本体取り付け用クレードル上部を引く

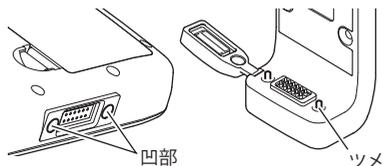


- 2 端子カバーを開ける



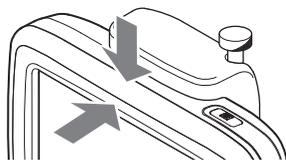
- 3 クレードルのツメに本体の凹部をはめ込む。

※ 端子部が濡れたり汚れたりしていないことを確認してください。

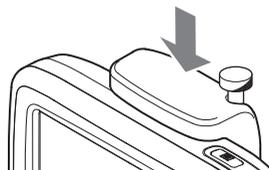


- 4 本体を下に押しつけながら、クレードルに押し付ける

※ 画面を強く押ししたり、先の鋭いもので押さないでください。タッチパネルが割れて、けがの原因となります。



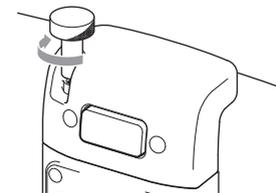
- 5 本体取り付け用クレードル上部を「カチッ」と音がするまで押す



- 6 固定ネジを締め付ける

※ 走行する際は、必ず本体取り外しボタンの固定と固定ネジによる固定の2重ロック状態で走行してください。

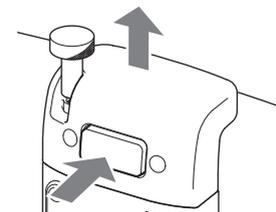
※ 固定ネジを強く締め過ぎると、本体取り付け用クレードルが変形し、本体取り付け用クレードル上部が動かなくなる恐れがあります。



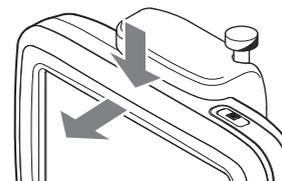
本体の取り外し

- 1 固定ネジを緩める

- 2 クレードル背面の本体取り外しボタンを押しながら、本体取り付け用クレードル上部を引く



- 3 本体を下に押しつけながら、手前に引き、本体を取り外す



- 4 端子カバーをつける

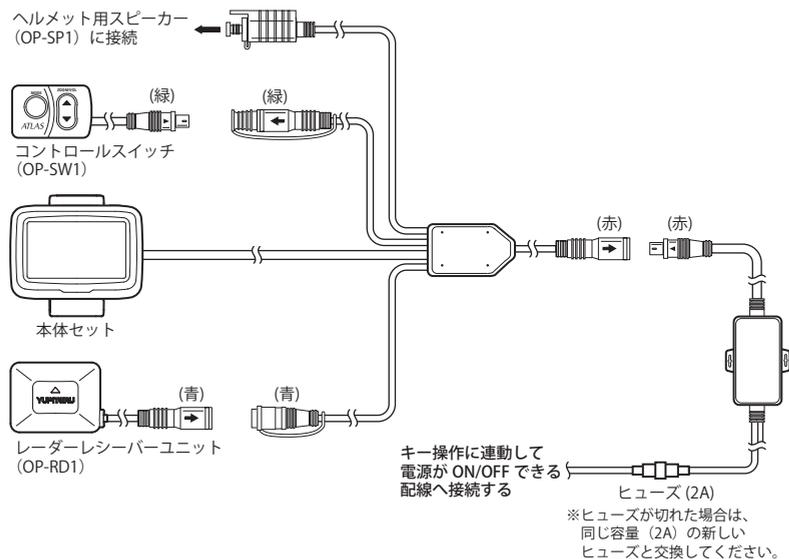
※ 端子部が濡れた状態で、車両のメインスイッチをONにしないでください。

※ 車両のメインスイッチをONにした状態で、端子部に触れないでください。



※ 本体を取り外したときは、必ず端子部に端子カバーをしてください。
※ 雨天時などに取り外すときは、端子部が濡れないようにしてください。

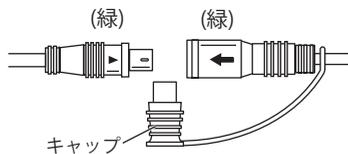
接続先と構成図



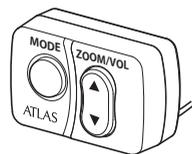
コントロールスイッチ(オプション)の取り付け

オプションのコントロールスイッチ (OP-SW1) を接続することで、ナビユニットの操作を手元で行うことができます。

- 1 キャップを外し、緑色のコネクターを接続する



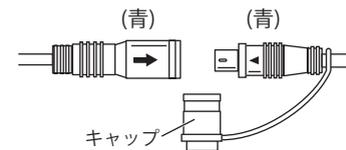
- 2 操作しやすい場所に固定する



レーダーレーザーユニット(オプション)の取り付け

オプションのレーダーレーザーユニット (OP-RD1) を接続することで、レーダー探知機能を追加することができます。

- 1 キャップを外し、青色のコネクターを接続する。



- 2 進行方向に合わせて、レーダーレーザーユニットを固定する

※ 地面と水平に取り付けてください。

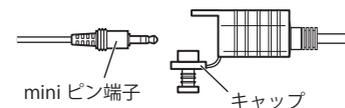


ヘルメット用スピーカー(オプション)の取り付け

オプションのヘルメット用スピーカー (OP-SP1) を接続することで、音楽や音声案内を聞くことができます。

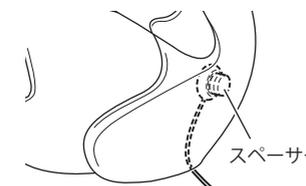
- 1 オプション画面 (☛ 31 ページ) の『有線ヘルメットスピーカ』を [ON] にする

- 2 ホルダーのキャップを外し、ヘルメット用スピーカーの mini ピン端子を接続する。



- 3 音量を確認して、ヘルメット内などにヘルメット用スピーカーを入れる。

スピーカーをヘルメット内側にマジックテープを使って固定します。ヘルメットの形状に応じて、スペーサーを使ってスピーカーをヘルメット内側のくぼみに取り付けてください。

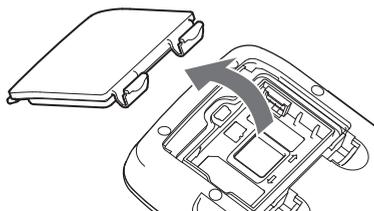


リチウムイオン電池の取り付け / 取り外し

本機を使用する際は、リチウムイオン電池を必ず取り付けてください。

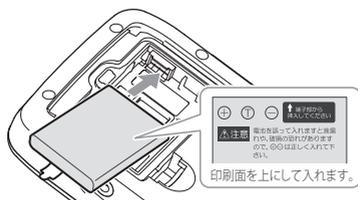
1 電池カバーを外す

電池カバーの爪を押さえながら、上に引き上げて取り外してください。

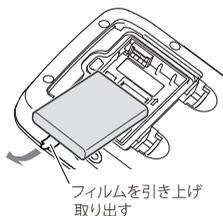


2 リチウムイオン電池の+ - が本体の電極端子に合うように入れる

<取り付けの場合>

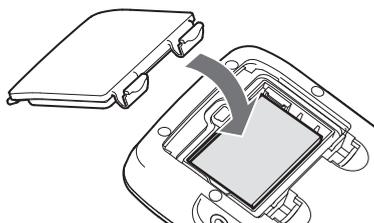


<取り外しの場合>



3 電池カバーを取り付ける

不要になったリチウムイオン電池は、リサイクル協力店へお持ちください。



お願い

不要になったリチウムイオン電池は金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って、お住まいの自治体の規則に従って正しくリサイクルしていただくか、最寄りのリサイクル協力店へお持ちください。リサイクル協力店につきましては、一般社団法人 JBRCのホームページ (<http://www.jbrc.net/hp/contents/jbrc/index.html>) をご参照ください。



リチウムイオン電池はリサイクルへ

microSD カードの取り付けかた

ログビューア (Log Viewer) や、ミュージックプレーヤー (Music Player)、ピクチャービューア (Picture Viewer) を使用する際は、市販の2GB以下のmicroSDカードまたは、8GB以下のmicroSDHCカードをご用意(別途ご購入)ください。

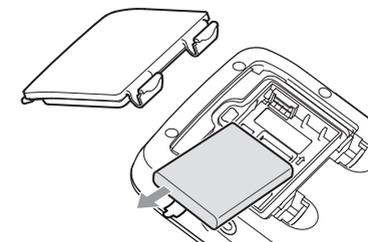
※本機とmicroSDカードとの相性による動作の不具合については保証いたしかねます。

△ 注意

- ・microSDカードの出し入れは、本体のUSB端子からケーブルを外した状態で行ってください。
- ・microSDカードは一方方向にしか入りません。microSDカードを下図のように挿入してください。無理に押し込むと、本機が壊れることがあります。

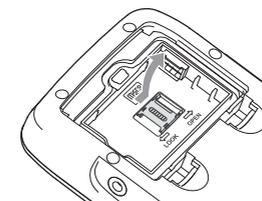
1 電池カバーを外す

電池カバーのツメを押しながら上方向へ引き上げ、電池カバーを外し、バッテリーも外します。



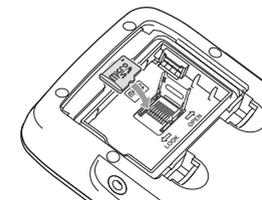
2 ストッパーを外す

ストッパーをOPEN方向にスライドさせ、上に引き上げます。



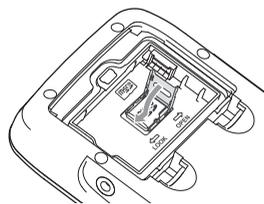
3 microSD カードを取り付ける

microSDカードの端子面が本体の端子に合うように入れてください。

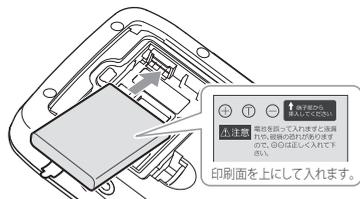


4 ストッパーを閉める

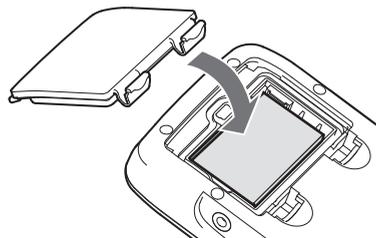
ストッパーを倒し、LOCK 方向にスライドさせてロックします。



5 リチウムイオン電池の+ - が本体の電極端子に合うように入れる



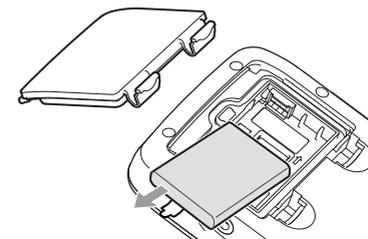
6 電池カバーを取り付ける



microSD カードの取り外しかた

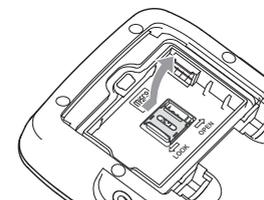
1 電池カバーを外す

電池カバーのツメを押しながら上方向へ引き上げ、電池カバーを外し、バッテリーも外します。

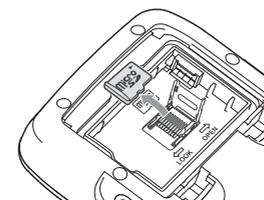


2 ストッパーを外す

ストッパーを OPEN 方向にスライドさせ、上に引き上げます。



3 microSD カードを取り出す



リチウムイオン電池を充電する

●パソコンからの充電は、約4時間で満充電になります。

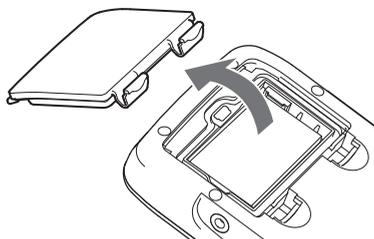
市販のUSBケーブル(USB2.0ケーブルAコネクタ-オス-ミニBコネクタオス)を、本体のUSB端子とパソコンへ接続し、パソコンの電源を入れてください。

※本体を動作させながらの充電は行わないでください。

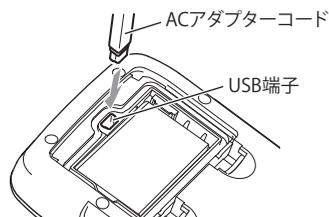
※パソコン本体のUSB端子に直接接続してください。USBのハブ等を經由して接続した場合、容量不足で充電できないことがあります。

●別売のACアダプター(OP-E368)を使用しての充電は、約4時間で満充電になります。

1 電池カバーを取り外す



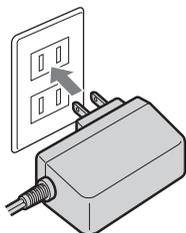
2 USB端子にACアダプターのコードを差し込む



3 ACアダプターをコンセントに差し込む

約4時間で、満充電になります。

※充電が完了しても、アイコンは変化しませんので、充電確認は、ACアダプター等を取り外した状態で行ってください。



4 充電が完了したら、ACアダプターをコンセントから抜き、本体からACアダプターコードを抜き電池カバーを取り付ける

※充電可能範囲は、0℃～+45℃です。安全のため、高温時や低温時は充電ができません。

本体取り付け用クレードルから充電する場合

- ・本機の使用状況によっては充電できない場合があります。
- ・本機の充電可能温度範囲は、0～+45℃です。外気温や、本機の発熱などにより+45℃を超える場合は、安全のため充電を行いません。
- ・内蔵電池のみで使用する場合は、パソコンまたは別売のACアダプター(OP-E368)を使用し、室内で事前に充電を行っておいてください。

リチウムイオン電池で使用する場合

リチウムイオン電池で使用しているときは、メインメニュー画面(Main Menu) (P.30)に次のように電池の状態が表示されます。

状態	電池残量多い	電池残量少ない	外部電源接続中
アイコン			

- ・の状態になったときは充電してください。
- ・使用状況によっては、電池残量の表示が大きく変動することがあります。
- ・本機は、電源ボタンが押されたことを検出し、起動を行うため、電源がOFFの状態(使用していない状態)であっても、内蔵電池は消費されます。内蔵電池のみで使用する際は、事前に充電を行ってください。
- ・外部電源接続中はのアイコンが表示されます。充電可能温度範囲内であれば、内蔵電池の充電も行います。

満充電の状態でも最長約2時間使用できます。

※設定や動作条件によって短くなることがあります。

リチウムイオン電池には寿命があります。充電しても使用可能時間が短くなった場合は、販売店に「MCN43si用リチウムイオン電池」でご注文のうえ、新しいリチウムイオン電池を購入し、交換してください。

取り付けかた

はじめに

Bluetooth ヘッドセット(オプション)の接続

オプションの Bluetooth ヘッドセット (HD-BT1/HD-BT3) を接続することで、無線で音楽や音声案内を聞くことができます。

- ※ 接続が完了した Bluetooth ヘッドセット (HD-BT1/HD-BT3) は、次回使用時は自動的に接続されます。
- ※ 弊社オプションの Bluetooth 機器 (HD-BT1/HD-BT3) 以外の Bluetooth 機器との動作保証はいたしかねます。(☛ P.17)

1 メインメニュー画面から [オプション] にタッチする



2 [Bluetooth 設定] にタッチする



3 接続の [有効] にタッチする

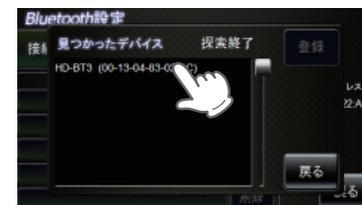


4 [新規ペアリング] にタッチする

Bluetooth ヘッドセット (HD-BT1/HD-BT3) 側もペアリング可能な状態にしてください。



5 検索されたデバイス [HD-BT1] または [HD-BT3] にタッチする



6 [登録] にタッチする



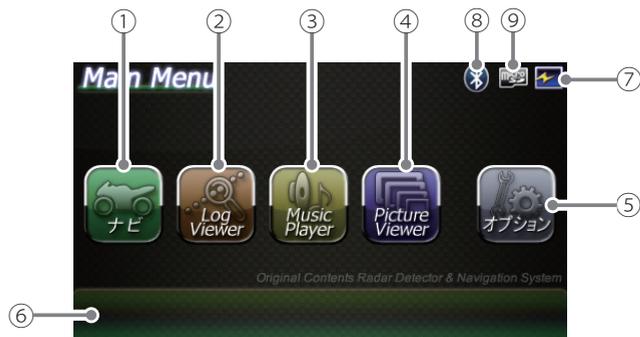
7 [戻る] にタッチして、メインメニューに戻る



はじめに

メインメニュー画面

お買い求め時に電源を入れたときや、本体上部のメインメニューボタンを押すと、次の画面が表示されます。



No.	表示名	表示の意味
①	ナビ	タッチすると、ナビゲーションが起動し、地図や現在地表示に切り替えます。
②	Log Viewer (ログビューア)	タッチすると、ログビューアが起動し、走行ログを確認することができます。
③	Music Player (ミュージックプレーヤー)	タッチすると、ミュージックプレーヤー (Music Player) が起動し、ミュージックプレーヤーの画面に切り替わります。
④	Picture Viewer (ピクチャービューア)	タッチすると、ピクチャービューア (Picture Viewer) が起動し、ピクチャービューアの画面に切り替わります。
⑤	オプション	音量、画面の輝度、電源ON時の音声、GPSのデータ更新 (●P. 206)、全設定初期化の実施、バージョン情報を確認することができます。(●P. 31)
⑥	起動状態表示 (●P. 32)	現在の起動状態を示します。 また、アプリ (ナビゲーション、ログビューア、ミュージックプレーヤー、ピクチャービューア) を終了させたいときにタッチします。(●P. 33) ※上記の画像は全アプリが起動していない状態を示しております。
⑦	電池マーク	電池の状態を確認することができます。(●P. 27)
⑧	Bluetoothマーク	Bluetoothの接続状態を表示します。
⑨	microSDマーク	microSDカードの装着状態を表示します。

メインメニューの⑤ オプションについて



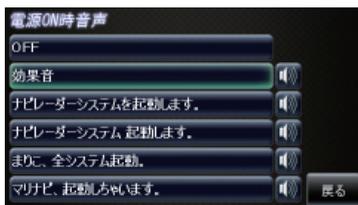
No.	表示名	表示の意味
①	効果音 音量	メインメニュー (Main Menu) とログビューア (Log Viewer)、ピクチャービューア (Picture Viewer)、ミュージックプレーヤー (Music Player) 画面のタッチ音 (操作音) や、電源起動時の効果音の音量を8段階で調整することができます。 + : 音量を上げます。 - : 音量を下げます。
②	画面 輝度	メインメニュー (Main Menu) やログビューア (Log Viewer)、ミュージックプレーヤー (Music Player)、ピクチャービューア (Picture Viewer) 画面の輝度を10段階で調整することができます。 + : 画面を明るくします。 - : 画面を暗くします。
③	電源ON時 音声	電源ON時の音声を設定することができます。(●P. 32)
④	GPSデータアップデート	GPSデータ更新ができます。(●P. 206)
⑤	バージョン情報	バージョン情報を確認することができます。 ・情報表示画面にタッチすると、バージョン情報表示が消えます。
⑥	全設定初期化	タッチすると本体が再起動し、工場出荷時に戻ります。 ・全設定初期化を行った場合、ナビゲーション、ログビューア、ミュージックプレーヤー (Music Player) ピクチャービューア (Picture Viewer) など、購入後にお客様が設定した内容がすべて消去されます。
⑦	戻る	メインメニュー (Main Menu) 画面に戻ります。
⑧	有線ヘルメットスピーカ	ヘルメット用スピーカのON/OFFを選択できます。 ※設定をONにすると、本体スピーカはOFFになります。
⑨	Bluetooth設定	Bluetooth設定画面に移動します。

メインメニュー (Main Menu)

はじめに

③ 電源 ON 時の音声を設定する

1 オプション画面の [電源 ON 時 音声] をタッチする



2 選択したい音声を設定する

スピーカーのアイコン (🔊) にタッチすると、音声を聞くことができます。

- ・初期値は、「効果音」に設定されています。
- ・電源 ON 時の音声設定は、P.128 の手順からでも設定することができます。

起動状態表示について

● ナビゲーション起動中



● ログビューア起動中



● ミュージックプレーヤー起動中



● ピクチャービューア起動中



● ログビューア、ミュージックプレーヤー同時起動中



● ナビゲーション、ミュージックプレーヤー同時起動中



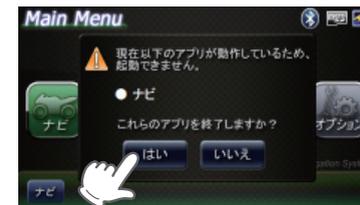
※「ピクチャービューア」起動中は、「ナビゲーション」、「ログビューア」、「ミュージックプレーヤー」を使用(起動)することはできません。(P.33)

「Log Viewer(ログビューア) と Music Player (ミュージックプレーヤー)」、「ナビゲーションと Music Player (ミュージックプレーヤー)」を同時に起動することは可能ですが、処理負荷が重くなり、本機の動作が鈍くなる場合があります。

はじめに

例：ナビゲーションを起動中に、Picture Viewer(ピクチャービューア)を同時起動させた場合の動作について

「現在以下のアプリが動作しているため、起動できません。」と表示されます。[はい] をタッチし、ナビを終了させてください。



アプリの終了について

例：ナビゲーションを終了する場合

1 本体上部のメインメニューボタン (P.15) を押し、メインメニュー (Main Menu) 画面を表示させたあと、画面左下の [ナビ] にタッチする



2 [はい] にタッチすると、ナビゲーションが終了します。



基本操作



ナビゲーションを起動するには

ナビゲーション画面

次ページに続く

基本操作

1 電源を入れ、メインメニュー画面 (Main Menu) (P.30) を表示させる

メインメニュー (Main Menu) 画面が表示していない場合は、本体上部のメインメニューボタン (P.15) を押してください。



2 メインメニュー画面 (Main Menu) の [ナビ] にタッチする

ナビゲーションが起動し、ナビゲーションのオープニング画面が表示されます。内容をご理解のうえ [OK] にタッチしてください。ナビゲーション画面に移行します。

- ※ [OK] にタッチしない場合は、自動でナビゲーション画面へ移行します。
- ※ GPS 衛星の電波を受信すると、実際の現在地に自転車位置が移動します。

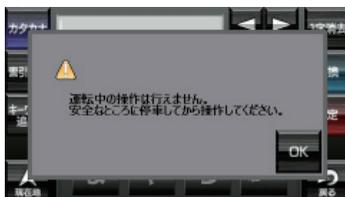
<ナビゲーションのオープニング画面>



<ナビゲーション画面>

走行中のナビゲーション操作規制

車両での使用時は、一定速度以上になると、安全のため走行中の操作を禁止し、「運転中の操作は行えません。安全なところに移動してから操作してください」と表示され、ナビゲーションの操作を規制します。



- ※ 走行中でも下記の操作はできます。
- ・ナビゲーションのメニュー画面 (P.44) にある「現在地」、「地図」
- ・「自宅へ帰る (P.92)」
- ・「案内中止 (P.97)」

- ・「一般道への切り替え (P.95)」
- ・「有料道への切り替え (P.96)」
- ・「方位表示 (P.37)」

基本操作

ナビゲーション画面について

地図の凡例・地図上の表示 (ランドマーク) については「地図凡例」(P.207) をご覧ください。



No.	表示名	表示の意味 (画面表示はすべて、はめ込み合成です)
①	現在時刻	現在時刻はGPS衛星から取得した時刻を表示します。 ※ 時刻の表示は、24時間表示です。12時間表示に変更することはできません。
②	方位表示・GPS受信表示	<ul style="list-style-type: none"> ・方位表示は赤の矢印が北方向を指します。方位表示をタッチすると、ノースアップ/ヘディングアップがワンタッチで切り替わります。 ・GPS受信表示はGPS衛星から電波を受信しているときに表示されます。受信レベルを3段階で表示します。また電波を受信できないときは、圏外が表示されます。
③	地図スケール	表示されている地図の縮尺を表示します。(10m~200km)
④	メニューバー	自転車位置の住所や道路名称、緯度・経度を表示します。(P.150) また、タッチするとナビゲーションのメニュー画面 (P.44) が表示されます。
⑤	ぬけみち (水色点滅) P.141	地図スケールが200m、100m、50mのとき、「GIGAマップル渋滞ぬけみち道路地図」に収録されているぬけみちを、地図上に水色で点滅表示します。
⑥	自転車位置	現在の位置と進行方向を地図に表示します。
⑦	走行軌跡 (灰色の点) P.142	地図スケールが10m~2.5kmのとき、走行した軌跡を灰色の点で地図上に表示します。

ナビゲーション画面

● 地図上に表示される GPS ターゲットアイコン

GPS ターゲット表示アイコンの色は、注意度の高い順に「赤」(警報)→「黄」(警告)→「青」(告知)→「緑」(告知)の4色に識別して表示します。

※ GPS ターゲットアイコンは、地図スケール(☛P.40)が「10m、25m、50m、100m、200m」のときのみ表示されます。

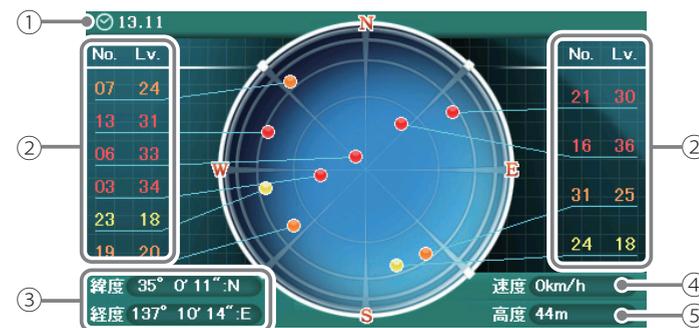
アイコン	内容
赤色	ループコイル (☛P.107)
	LHシステム (☛P.107)
	新Hシステム (☛P.107)
	レーダー式オービス (☛P.107)
黄色	取締エリア (☛P.108)
	検問エリア (☛P.108)
	交差点監視 (☛P.109)
	信号無視抑止システム (☛P.109)
	マイエリア (☛P.84)
青色	Nシステム (☛P.108)
	交通監視システム (☛P.109)
	事故多発エリア (☛P.109)
	警察署 (☛P.109)

アイコン	内容
緑色	道の駅 (☛P.109)
	サービスエリア (☛P.109)
	パーキングエリア (☛P.109)
	ハイウェイオアシス (☛P.109)
	ハイウェイラジオ受信エリア (☛P.109)
	目的地
	出発地
	経由地

GPS 測位情報を見る

現在の衛星位置・衛星ナンバー・受信レベル、緯度、経度、速度、高度を確認することができます。

※ GPS 測位情報を確認したいときは、GPS 測位情報を表示する(☛P.174)をご覧ください。



No.	表示名	表示の意味 (画面表示はすべて、はめ込み合成です)
①	時計表示	GPS衛星から取得した時刻を表示します。 ※ 時刻の表示は、24時間表示です。12時間表示に変更することはできません。
②	衛星ナンバー・受信レベル	GPS衛星の番号(No.)と受信レベル(Lv)を色わけして表示します。 Lv0から8までは「青」 Lv9から18までは「黄」 Lv19から28までは「橙」 Lv29以上は「赤」で表示します。
③	緯度・経度	現在地の緯度・経度を表示します。
④	速度	現在の走行速度を表示します。
⑤	高度表示	GPS受信情報による、現在地の高度を表示します。

※ 速度や高度表示は、GPSの測位状態により実際とは異なる場合がありますので、目安としてお考えください。

ナビゲーション画面の操作

本機の操作部は、タッチパネルです。画面をタッチして操作します。

例：地図スケールを変える場合

1 ナビゲーション画面の地図スケールをタッチする



画面の左側に[+] [-]が表示されます。



2 [+] や [-] にタッチする

[+]をタッチすると地図が詳細表示となり、[-]をタッチすると広域表示となります。

10 m ← + → 200 km



地図スケールは、10m、25m、50m、100m、200m、500m、1.0km、2.5km、5.0km、10km、20km、50km、100km、200kmの14段階に切り替わります。

- ・地図スケールは、高速道路では200mに、一般道では50mに自動で切り替わります。スケールを常に固定させたい場合は、地図スケールの自動切り替え(誘導時縮尺)の設定を行ってください。(P.157)
- ・[+] [-]表示中に、スケールをタッチするか、約10秒放置すると[+] [-]の表示は消えます。

例：地図をスクロールする場合

地図をタッチすると、タッチした場所(中心)として地図が表示されます。



地図画面をタッチしたまま指を動かすと、指の動きに合わせて地図も動きます。また、地図画面をタッチしている間は、タッチしている方向へ地図がスクロールされます。



- ※ 現在地に戻るときは、 をタッチしてください。
- ※ ナビゲーション画面で名称や文字が重なって表示されることがあります。

文字入力のしかた

フリーワードの検索(● P.69)やお気に入り登録(● P.83)、マイエリア登録(● P.84)で、名称を入力するときに使います。

基本操作



ひらがな入力画面

①	カタカナ入力に切り替えます。
②	フリーワード検索で、検索条件を指定します。
③	現在地に戻ります。
④	入力した文字を一字消去します。
⑤	漢字、カナを変換します。
⑥	入力を決定します。
⑦	検索画面に戻ります。
⑧	カーソル位置を変更します。
⑨	小文字濁音に切り替えます。
⑩	句読点や記号を入力します。

文字入力方法

例：お気に入りに【株式会社コピテル】を登録する場合

基本操作

1 メニュー画面(ナビゲーション)の検索などでお気に入り登録したい場所を地図表示、または地図画面のスクロールで地図上のマークをお気に入り登録したい場所に合わせたあと、[地点登録] → [お気に入り] をタッチする

入力画面に、登録したい地点の住所を表示します。

2 [1字消去]を使って、現在の住所表示を消す

3 の順番で画面をタッチする
「株式会社」と表示されます。



4 をタッチし、カタカナ入力画面に切り替える



5 の順番で画面をタッチする
「株式会社コピテル」と表示されます。



6 → をタッチする
「お気に入り」に登録します。

ルート設定と操作の流れ

ルート設定の操作手順

ルートの設定はメニューバーにタッチ後、以下の手順で行います。



1 検索にタッチする

- ・現在地に戻るときは、[現在地]をタッチしてください。
- ・ナビゲーション画面に戻るときは、[地図]をタッチしてください。



2 目的地を設定します。(P.52)

前項目に戻るときは、[戻る]をタッチしてください。



3 [おすすめ]のルートを選択するか、[条件変更]内の[有料優先][一般優先][距離優先]から目的にあったルート探索方法にタッチする(P.54)

[デモ走行]をタッチでルートを確認することができます。



4 [案内開始]をタッチする(P.55)

- ・目的地までのルート案内が始まります。
- ・音声でわかりやすく案内します。



- よく利用する目的地は、お気に入りとして登録することができます。(お気に入り登録 P.83)
- ・登録数はマイエリア、お気に入り登録を合わせて 100 力所です。

ルート案内中のナビ画面について

運転するときは、必ず、実際の道路状況や交通規制・標識・掲示などに従ってください。地図の凡例・地図上の表示(ランドマーク)については「地図凡例」(P.207)をご覧ください。

一般道走行中の表示(通常表示)



ご注意

一方通行や中央分離帯などで進行できない方向や車両が走行できない細い道路などを案内することがあります。また、曜日や時刻、天候や季節等による道路規制には対応していません。実際の交通規制・標識・掲示などに従ってください。

No.	表示名	表示の意味（画面表示はすべて、はめ込み合成です）																				
①	目的地までの距離	目的地までの距離を表示します。																				
②	到着予想時刻	目的地に到着する予想時刻が表示されます。																				
③	道路名称	現在地の道路名を表示します。 ・道路名称以外にも、自車位置の住所や緯度・経度も表示できます。（●P. 150）																				
④	ルート	目的地までのルートを表示します。 ・ルート案内時の色は一般道：緑色、有料道：水色、細街路：紫色で表示します。																				
⑤	誘導ポイント	次に誘導するポイント（交差点や分岐点など）を  （水色の旗）で表示します。																				
⑥	案内矢印	次の交差点で曲がる方向を表示します。 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>左斜め 後ろ</td> <td>左</td> <td>斜め左</td> <td>左側 直進</td> <td>直進 表示</td> <td>右側 直進</td> <td>右斜め 後ろ</td> <td>右</td> <td>斜め右</td> <td>U ターン</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	左斜め 後ろ	左	斜め左	左側 直進	直進 表示	右側 直進	右斜め 後ろ	右	斜め右	U ターン										
左斜め 後ろ	左	斜め左	左側 直進	直進 表示	右側 直進	右斜め 後ろ	右	斜め右	U ターン													
																						
⑦	案内情報	次に案内を行う交差点の名称と交差点までの距離を表示します。 ・登録されていない交差点は「案内地」と表示されます。 ※案内情報が表示中、●P. 104 のステータスバーは表示されません。																				
⑧	交差点情報	次の交差点の交差点名と通過区分（進行方向）が表示されます。 ・登録されていない交差点は「案内地」と表示されます。																				

※ ナビゲーション画面で名称や文字が重なって表示されることがあります。

高速道路走行中の表示（ハイウェイ表示）



ハイウェイ表示

高速道路走行中は2画面となり、通常のナビゲーション画面を左側に、高速道路の情報表示を右側に表示します。

ご注意

曜日や時刻、天候や季節等による道路規制には対応していません。実際の交通規制・標識・掲示などに従ってください。

ルート案内中のナビ画面について

No.	表示名	表示の意味 (画面表示はすべて、はめ込み合成です)
①	制限速度	高速道路の制限速度を表示します。 ※ 制限速度切り替わりポイントを通過(高速道の合流地点等に進入)することにより、表示されます。 ※ 普通自動車に対する制限速度表示となります。事故や天候、時間帯などによって変更する制限速度には対応していませんので、あらかじめご了承ください。実際の制限速度を守り、走行してください。
②	目的地までの距離	目的地までの距離を表示します。
③	到着予想時刻	目的地に到着する予想時刻が表示されます。
④	高速道路上の自車位置	ハイウェイ表示における現在の位置を表示します。
⑤	道路名称	高速道路名を表示します。 ・道路名称以外にも、自車位置の住所や緯度・経度も表示できます。(●P. 150)
⑥	ハイウェイ施設情報	SA/PAは施設のアイコンを表示します。 IC/JCT/料金所では通過予想時間を表示します。
⑦	ハイウェイ表示を消す	×をタッチするとハイウェイ表示が消え、現在地の表示となります。 再度、ハイウェイ表示させたい場合は、ナビゲーションのメニュー画面を表示させ、[現在地]をタッチしてください。
⑧	戻る	ハイウェイ表示における現在の自車位置に戻ります。
⑨	スクロールボタン	施設案内を上下にスクロールします。
⑩	次案内施設情報	次に案内を行うジャンクションやインター出口などの名称と距離を表示します。 ※ 次案内施設情報が表示中、●P. 104 のステータスバーは表示されません。
⑪	誘導アイコン	パーキングエリアやインターチェンジなどの高速道路上の施設と距離を表示します。

イラスト表示

都市高速の入口や分岐点を、イラスト表示します。(●P.146、147)
画面右下の[×]をタッチすると、右側のイラストを一時的に消すことができます。

<昼間時>



●都市高速入口イラスト表示

※ 都市高速入口イラストは首都高速、阪神高速、名古屋高速、広島高速、福岡高速、北九州高速のみ表示します。

次の都市高速入口では、再び都市高速入口イラストが表示されます。

<昼間時>



●JCT(ジャンクション)イラスト表示

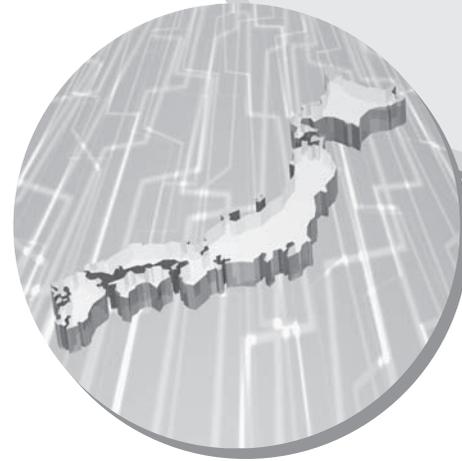
次のJCTでは、再びJCTイラストが表示されます。

道路の表示色

国道	赤色
主要都道府県道	黄色
一般都道府県道	緑色

一般道	黒色
高速道(有料道路)	青色
ぬけみち	水色点滅

ルート設定



例：「東京都港区芝浦 4-12-33」を入力する場合

- 1** ナビゲーション画面のメニューバーをタッチする
ナビゲーションのメニュー画面が表示されます。



- 2** **検索** にタッチする



- 3** **住所** にタッチする



- 4** **▲▼** で目的の都道府県名(東京都)を探したあと、**[東京都]** にタッチする



- 5** **▲▼** で**[ま行]**を表示したあと、**[港区]**にタッチする



- 6** **▲▼** で**[さ行]**を表示したあと、**[芝浦]**にタッチする



- 7** **番地 (4-12-33) を入力をする**

数字キーで、[4] [1] [2] [3] [3] をタッチしてください。

※ 入力を間違えたときは [1 字消去] をタッチして、やり直してください。

※ 「-」(ハイフン)は、入力しなくても検索できます。

※ 地域によって、番地入力できない場合があります。



- 8** **地点登録** をタッチする

地点登録	[ローカルエリア][自宅](※) [マイエリア][お気に入り]に登録します。
ここへ行く	目的地を決定します。

※ 自宅登録していない場合に限り表示されます。



9 [おすす] をタッチする

「ルート探索中です。しばらくお待ちください。」と表示し、「探索条件を設定する」(P.151)で指定した条件で、ルートが設定されます。

周辺施設	周辺施設を検索することができます。
地点登録	[ローカルエリア][自宅] (※)[マイエリア][お気に入り]に登録します。
リストに戻る	住所の選択画面に戻ります。

※ 自宅登録していない場合に限り表示されます。



10 [おすすめ] のルートを選択するか、[条件変更] 内の [有料優先] から目的にあったルート探索方法にタッチする

[おすすめ]	幹線道路を利用し、できるだけ曲がらずに目的地へ到着するルートを探します。
[有料優先]	有料道路をできるだけ利用して目的地へ到着するルートを探します。
[一般優先]	有料道路をできるだけ利用せずに目的地へ到着するルートを探します。
[距離優先]	できるだけ短い走行距離で目的地へ到着するルートを探します。

メニューバーに目的地までの距離、到着予想時刻、有料道路の通行料金 (合計金額) が表示されます。

- ※ 有料道路の通行料金は、ETC を利用しない場合の料金表示となります。ETC を利用した場合の各種割引料金は表示されません。
- ※ フェリー航路を使用するルートでは、フェリー料金を含みません。
- ※ 実際の料金と異なる場合があります。

- ・前項目に戻るときは、画面右下の [戻る] をタッチしてください。
- ・[デモ走行] をタッチすると、選択した探索条件で目的地までの走行ルートを確認することができます。



11 [案内開始] にタッチする

設定した目的地までのルート案内画面が表示され、『ルート案内を開始します。実際の交通規制に従って走行してください。』と音声で案内します。



ご注意

一方通行や中央分離帯などで進行できない方向や車両が走行できない細い道路などを案内することがあります。また、曜日や時刻、天候や季節等による道路規制には対応していません。実際の交通規制・標識・掲示などに従ってください。

- ・ルート案内の途中でナビゲーションを再起動すると、『前回案内の目的地へ到着していません。目的地に設定しますか?』と表示されます。
「はい」をタッチすると……「探索条件を設定する」(P. 151) で指定した条件にて目的地までのルートを再検索します。
「いいえ」をタッチすると…… ルート案内を中止します。
- ・ルートを再検索した場合は、有料道路の通行料金 (合計金額) を表示しません。

走行中、ルートから外れてしまった場合 (オートリルートについて)

走行中にルートから離れてしまった場合には、自動的に走行している場所から目的地までのルートを「探索条件を設定する」(P. 151) で指定した条件で探索し直します。

※ミュージックプレーヤー (Music Player) を起動中は、オートリルートに時間がかかる場合があります。

ナビ画面から目的地を選ぶ

1 地図をスクロールして、画面上の十字マークを目的地に合わせて



2 **OS** をタッチする

「ルート探索中です。しばらくお待ちください。」と表示し、「探索条件を設定する」(P.151)で指定した条件で、ルートが設定されます。



周辺施設	周辺施設を検索することができます。
地点登録	[ローカルエリア][自宅] (*)[マイエリア][お気に入り]に登録します。

※ 自宅登録していない場合に限り表示されます。

※ 目的地が有料道路の近辺である場合、画面に **一般道** **有料道** と表示されることがあります。目的にあったルート探索方法にタッチしてください。

3 [おすすめ] のルートを選択するか、[条件変更] 内の **有料優先** **一般優先** **距離優先** から目的にあったルート探索方法にタッチする



[おすすめ]	幹線道路を利用し、できるだけ曲がらずに目的地へ到着するルートを探します。
[有料優先]	有料道路をできるだけ利用して目的地へ到着するルートを探します。
[一般優先]	有料道路をできるだけ利用せずに目的地へ到着するルートを探します。
[距離優先]	できるだけ短い走行距離で目的地へ到着するルートを探します。

メニューバーに目的地までの距離、到着予想時刻、有料道路の通行料金(合計金額)が表示されます。

※ 有料道路の通行料金は、ETC を利用しない場合の料金表示となります。ETC を利用した場合の各種割引料金は表示されません。

※ フェリー航路を使用するルートでは、フェリー料金を含みません。

※ 実際の料金と異なる場合があります。

- ・前項目に戻すときは、画面右下の **戻る** をタッチしてください。
- ・[デモ走行] をタッチすると、選択した探索条件で目的地までの走行ルートを確認することができます。

4 **案内開始** にタッチする

設定した目的地までのルート案内画面が表示され、『ルート案内を開始します。実際の交通規制に従って走行してください。』と音声で案内します。



探索できる施設については、「施設探索リスト」(●P.64～66)をご覧ください。

1 ナビゲーション画面のメニューバーをタッチする
ナビゲーションのメニュー画面が表示されます。



2 探索 にタッチする



3 施設 にタッチする



4 [施設一覧] から、目的のカテゴリをタッチする

カテゴリーがさらに別れる場合があります。このような場合も、同様に目的のカテゴリをタッチしてください。

※ カテゴリー分類は、「施設探索リスト」(●P.64～66)を参照ください。
※ [全て] をタッチすると、中項目や小項目 (●P.64～66) のカテゴリーが省略されます。



件数が表示されます。

5 目的の施設をタッチする

で目的の施設を探します。



施設一覧

駅出入口	駅を検索した場合のみ表示されます。 [駅出入口]にタッチすると、「何番出入口か(どこの出入口か)」を指定することができます。
詳細情報	施設の情報を表示します。 ・すべての施設で詳細情報が表示される訳ではありません。
地図表示	施設周辺の地図を表示します。
地点登録	[ローカルエリア][自宅](*)[マイエリア][お気に入り]に登録します。
ここへ行く	目的地を決定します。

※ 自宅登録していない場合に限り表示されます。

おすすめ順	おすすめ順に施設一覧を表示します。(※)
名称順	あいうえお順に施設一覧を表示します。
近い順	距離の近い順に施設一覧を表示します。

※ まっぶるコード(●P.73)の登録施設から情報量が多い施設を優先し、表示します。

6 をタッチする

「ルート探索中です。しばらくお待ちください。」と表示し、「探索条件を設定する」(●P.151)で指定した条件で、ルートが設定されます。

※ 高速道のインターチェンジを目的地として施設検索すると、「IC 入口」「IC 出口」と表示されます。
インターチェンジの入口を目的地としたい場合は、[IC 入口]、インターチェンジの出口を目的地としたい場合は、[IC 出口]をタッチしてください。

施設から目的地を選ぶ

- 7 [おすすめ] のルートを選択するか、[条件変更] 内の [有料優先] [一般優先] [距離優先] から目的にあったルート探索方法にタッチする

[おすすめ]	幹線道路を利用し、できるだけ曲がらずに目的地へ到着するルートを探します。
[有料優先]	有料道路をできるだけ利用して目的地へ到着するルートを探します。
[一般優先]	有料道路をできるだけ利用せずに目的地へ到着するルートを探します。
[距離優先]	できるだけ短い走行距離で目的地へ到着するルートを探します。

メニューバーに目的地までの距離、到着予想時刻、有料道路の通行料金（合計金額）が表示されます。

※ 有料道路の通行料金は、ETC を利用しない場合の料金表示となります。ETC を利用した場合の各種割引料金は表示されません。

※ フェリー航路を使用するルートでは、フェリー料金を含みません。

※ 実際の料金と異なる場合があります。

- ・前項目に戻すときは、画面右下の [戻る] をタッチしてください。
- ・[デモ走行] をタッチすると、選択した探索条件で目的地までの走行ルートを確認することができます。



- 8 [案内開始] にタッチする

設定した目的地までのルート案内画面が表示され、『ルート案内を開始します。実際の交通規制に従って走行してください。』と音声で案内します。



周辺の施設を選ぶ

探索できる周辺施設については、「施設探索リスト」(P.64～66)をご覧ください。

- 1 ナビゲーション画面のメニューバーをタッチする
ナビゲーションのメニュー画面が表示されます。



- 2 [探索] にタッチする



- 3 [周辺施設] にタッチする



- 4 [周辺施設] から、目的のカテゴリーをタッチする

カテゴリーがさらに別れる場合があります。このような場合も、同様に目的のカテゴリーをタッチしてください。

※ カテゴリー分類は、「施設探索リスト」(P.64～66)を参照ください。



5 目的の施設をタッチする

▲ ▼ で目的の施設を探します。



施設一覧

駅出入口	駅を検索した場合のみ表示されます。 [駅出入口]にタッチすると、「何番出入口か(どこの出入口か)」を指定することができます。
詳細情報	施設の情報を表示します。 ・すべての施設で詳細情報が表示される訳ではありません。
地図表示	施設周辺の地図を表示します。
地点登録	[ローカルエリア][自宅](※)[マイエリア][お気に入り]に登録します。
ここへ行く	目的地を決定します。

※ 自宅登録していない場合に限り表示されます。

おすすめ順	おすすめ順に施設一覧を表示します。(※)
名称順	あいうえお順に施設一覧を表示します。
近い順	距離の近い順に施設一覧を表示します。

※ まっぷるコード(●P.73)の登録施設から情報量が多い施設を優先し、表示します。

6 [P.151] をタッチする

「ルート探索中です。しばらくお待ちください。」と表示し、「探索条件を設定する」(●P.151)で指定した条件で、ルートが設定されます。

※ 周辺施設で、高速道のインターチェンジを目的地として施設検索すると、「IC 入口」「IC 出口」と表示されます。
インターチェンジの入口を目的地としたい場合は、[IC 入口]、インターチェンジの出口を目的地としたい場合は、[IC 出口]をタッチしてください。

7 [おすすめ] のルートを選択するか、[条件変更] 内の [有料優先] から目的にあったルート探索方法にタッチする



[おすすめ]	幹線道路を利用し、できるだけ曲がらずに目的地へ到着するルートを探します。
[有料優先]	有料道路をできるだけ利用して目的地へ到着するルートを探します。
[一般優先]	有料道路をできるだけ利用せずに目的地へ到着するルートを探します。
[距離優先]	できるだけ短い走行距離で目的地へ到着するルートを探します。

メニューバーに目的地までの距離、到着予想時刻、有料道路の通行料金(合計金額)が表示されます。

※ 有料道路の通行料金は、ETC を利用しない場合の料金表示となります。ETC を利用した場合の各種割引料金は表示されません。

※ フェリー航路を使用するルートでは、フェリー料金を含みません。

※ 実際の料金と異なる場合があります。

- ・前項目に戻すときは、画面右下の [戻る] をタッチしてください。
- ・[デモ走行] をタッチすると、選択した探索条件で目的地までの走行ルートを確認することができます。

8 [案内開始] にタッチする

設定した目的地までのルート案内画面が表示され、『ルート案内を開始します。実際の交通規制に従って走行してください。』と音声で案内します。



●施設探索リスト

大項目	中項目	小項目
食べる	ファミリーレストラン	和食、洋食、中華、焼肉、カレー、その他
	ファーストフード	
	和食	ファミリーレストラン、寿司・海鮮、そば・うどん、てんぷら・うなぎ、懐石・割烹、焼き鳥・炉端焼き、お好み焼き・たこ焼き、おでん、釜飯、とんかつ、郷土料理、その他和食
	洋食	ファミリーレストラン、フランス料理、イタリア料理、スペイン料理、ロシア料理、ステーキ・ハンバーグ、その他洋食
	中華・ラーメン	ファミリーレストラン、ラーメン・餃子・シュウマイ、中華料理・飯茶
	焼肉	ファミリーレストラン、韓国料理・焼肉
	カレー・アジア料理	ファミリーレストラン、カレー、アジア系料理
	カフェ・軽食	カフェ・喫茶、ケーキ・洋菓子、和菓子・甘味処、その他軽食
	自然食・オーガニック料理	
	その他料理	
お酒	居酒屋、ピヤホール、ワインバー、スナック・バー・パブ、地ビールレストラン、その他お酒	
買う	コンビニエンスストア	
	スーパー	
	デパート・百貨店	
	ショッピングモール	ショッピングセンター、ショッピングモール・商店街、地下街、アウトレットモール
	市場・朝市・フリーマーケット	
	生活・雑貨	ホームセンター、インテリア・家具、園芸・ガーデニング、ドラッグストア、薬局・薬品、メガネ・コンタクト、ディスカウント、リサイクル、ギフト・雑貨・花、ペット関連、電気・パソコン・カメラ、ゲーム・DVDソフト、書籍・雑誌、おもちゃ・玩具、酒類のディスカウント店、携帯電話ショップ、その他生活用品
	ファッション・ビューティー	靴、バッグ、衣類、古着、ジュエリー、その他装飾品
	スポーツ・アウトドア用品	ゴルフ用品、アウトドア用品、釣具、その他スポーツ用品
	食品・お酒	ワイン、地酒・焼酎、地ビール、和菓子、洋菓子、パン、アイスクリーム、牛乳・ヨーグルト、お茶、鮮魚・精肉、野菜、果物、その他食品
	工芸品・民芸品	

ルート設定

大項目	中項目	小項目
買う	おみやげ・物産	みやげもの屋、物産センター・直売所
	レンタル	CD・DVDレンタル、その他レンタル
遊ぶ・観る	レジャー	遊園地・テーマパーク、動物園、水族館、植物園、キャンプ、プール、海水浴・湖水浴、潮干狩り、釣り、マリナー、人気スポット・高層ビル、展望スポット、観察スポット、ハイキング・散策、アミューズメント、待ち合わせスポット、夜遊びスポット、その他レジャースポット
	体験・観光スポット	観光案内所、名所、史跡・建造物、体験、工場見学、街道、乗り物
	文化施設	映画・劇場、美術館・博物館、科学館・プラネタリウム、資料館・郷土館、記念館、展示場・ショールーム、その他の文化施設
	スポーツ施設・公園	ゴルフ場、スキー場、スケート場、スタジアム、運動公園・体育館、公園、スポーツ施設、サーキット場、競馬・競輪、競艇、オートレース、レンタサイクル
	自然地形	山、峠、高原、海岸・浜、河川、渓谷、湿原、湖沼、半島、崎・岬、島、海、洞窟、岩、滝、砂丘、特殊地形、港湾、橋、その他自然地形
泊まる・温泉	ホテル	シティホテル、ビジネスホテル、リゾートホテル、カプセルホテル
	旅館・民宿	ビジネス旅館、温泉旅館、その他観光旅館、民宿
	ペンション・貸別荘・山小屋	ペンション・プチホテル、ペンションビレッジ、貸し別荘、山小屋・ヒュッテ、宿坊
	その他宿泊施設	
	温泉・入浴施設	温泉地、日帰り温泉・立ち寄り湯、クアハウス、健康ランド、スーパー銭湯、その他温泉
温泉販売・温泉スタンド		
くるま	ガソリンスタンド	
	駐車場・コインパーキング	
	カー用品	
	カーディーラー	
	修理・整備・洗車	
	レンタカー	
	代行サービス	
	ロードサービス	
交通	道路関連施設	高速道路、都市高速道路、高規格道路、道の駅・ドライブイン、交差点
	新幹線駅	

ルート設定

大項目	中項目	小項目	
交通	JR駅		
	私鉄駅		
	地下鉄駅		
	新交通モノレール		
	路面電車		
	ケーブルカー・ロープウェイ発着場		
	空港		
	フェリー乗り場		
くらし	銀行	都市銀行、地方銀行、信託銀行、外国銀行、その他銀行	
	病院・医療	病院、マッサージ・鍼灸・各種療法、医療用機械・器具、福祉施設	
	学校・教育施設	大学、短大、高専、高等学校、中学校、小学校、幼稚園・保育園、特別支援学校、職業訓練校、塾・予備校・語学スクール、カルチャーセンター・趣味教室、自動車教習所	
	図書館		
	警察署		
	消防署		
	郵便局		
	県庁		
	市町村役場		
	その他公共施設		免許センター、税務署、ハローワーク、保健所、運輸支局、中央省庁、法務局、裁判所、労働基準監督署、社会保険事務所、検察庁、大使館
	理容・美容		
	クリーニング		
	修理・整備		
	冠婚葬祭		
	公民館・集会場		
	生協		
	農協		
	魚協		
	その他組合・団体		
	トイレ		
ベストドライブスポット	昭文社発行のまっふるマガジン「ベストドライブ」に掲載の、スポットを収録しております。		

※ 電話番号検索で地図表示した場所と、実際の場所が異なる場合があります。
 ※ プライバシー保護のため、個人宅の電話番号は登録されていません。

1 ナビゲーション画面のメニューバーをタッチする
 ナビゲーションのメニュー画面が表示されます。



2 検索にタッチする



3 電話番号にタッチする



4 数字キーをタッチし、電話番号を入力して 決定 にタッチする

入力を間違えたときは 1文字消去 をタッチして、やり直してください。「-」(ハイフン)は、入力しなくても検索できます。



5 該当する施設をタッチする

詳細情報	施設の詳細情報を表示します。
地図表示	施設周辺の地図を表示します。
地点登録	[ローカルエリア][自宅](※)[マイエリア][お気に入り]に登録します。



※ 自宅登録していない場合に限り表示されます。

6 [検索] をタッチする

「ルート探索中です。しばらくお待ちください。」と表示し、「探索条件を設定する」([検索] P.151) で指定した条件で、ルートが設定されます。

※ 電話番号検索で地図表示した場所が、実際の施設と離れた場所である場合や、指定した地区の代表地点である場合、「この地点の位置情報は低精度です」と表示されます。このようなときは、[地図表示] をタッチして地図をスクロールさせ、地図上の [] を目的の場所に合わせてください。

7 [おすすめ] のルートを選択するか、[条件変更] 内の [有料優先] から目的にあったルート探索方法にタッチする

[おすすめ]	幹線道路を利用し、できるだけ曲がらずに目的地へ到着するルートを探します。
[有料優先]	有料道路をできるだけ利用して目的地へ到着するルートを探します。
[一般優先]	有料道路をできるだけ利用せずに目的地へ到着するルートを探します。
[距離優先]	できるだけ短い走行距離で目的地へ到着するルートを探します。

メニューバーに目的地までの距離、到着予想時刻、有料道路の通行料金（合計金額）が表示されます。

※ 有料道路の通行料金は、ETC を利用しない場合の料金表示となります。ETC を利用した場合の各種割引料金は表示されません。
 ※ フェリー航路を使用するルートでは、フェリー料金を含みません。
 ※ 実際の料金と異なる場合があります。

- ・ 前項目に戻すときは、画面右下の [戻る] をタッチしてください。
- ・ [デモ走行] をタッチすると、選択した探索条件で目的地までの走行ルートを確認することができます。

8 [案内開始] にタッチする

設定した目的地までのルート案内画面が表示され、『ルート案内を開始します。実際の交通規制に従って走行してください。』と音声で案内します。



あいまいな記憶からでも、3つ以内の文字をキーワードとしてネット検索のように目的地が探せます。「おまかせ」「駅」「住所」「ジャンル」「キーワード」より検索します。

例：みなとみらいにある「夜景」が見える「フランス料理店」を検索する

1 ナビゲーション画面のメニューバーをタッチする

ナビゲーションのメニュー画面が表示されます。



2 [検索] にタッチする



3 [フリーワード] にタッチする



4 **索引指定** をタッチして、検索条件を選んだ後、「みなとみらい」を入力し、**決定** にタッチする

<検索条件>

おまかせ	入力された文字を「駅名」から検索し、該当施設がないとさらに「住所」、「ジャンル」から検索します。
住所	入力された文字を住所から検索します。
ジャンル	入力された文字を施設名から検索します。
キーワード	入力された文字がキーワードになる情報から検索します。



7 **決定** をタッチし、条件に合うお店にタッチする



5 **キーワード追加** を押し、次の条件「夜景」を入力して **決定** をタッチする



6 **キーワード追加** を押し、次の条件「フランク料理」を入力して **決定** をタッチする



駅出入口	駅を検索した場合のみ表示されます。 [駅出入口]にタッチすると、「何番出入口か(どこの出入口か)」を指定することができます。
詳細情報	施設の情報を表示します。 ・すべての施設で詳細情報が表示される訳ではありません。
地図表示	施設周辺の地図を表示します。
地点登録	[ローカルエリア][自宅](※)[マイエリア][お気に入り]に登録します。
ここへ行く	目的地を決定します。

※ 自宅登録していない場合に限り表示されます。

おすすめ順	おすすめ順に施設一覧を表示します。(※)
名称順	あいうえお順に施設一覧を表示します。
近い順	距離の近い順に施設一覧を表示します。

※ まっぶるコード(●P.73)の登録施設から情報量が多い施設を優先し、表示します。

8 **IC検索** をタッチする

「ルート探索中です。しばらくお待ちください。」と表示し、「探索条件を設定する」(●P.151)で指定した条件で、ルートが設定されます。

※ フリーワードで高速道のインターチェンジを目的地として施設検索すると、「IC 入口」「IC 出口」と表示されます。
インターチェンジの入口を目的地としたい場合は、[IC 入口]、インターチェンジの出口を目的地としたい場合は、[IC 出口]をタッチしてください。

フリーワードで目的地を選ぶ

- 9 [おすすめ] のルートを選択するか、[条件変更] 内の [有料優先] [一般優先] [距離優先] から目的にあったルート探索方法にタッチする



[おすすめ]	幹線道路を利用し、できるだけ曲がらずに目的地へ到着するルートを探します。
[有料優先]	有料道路をできるだけ利用して目的地へ到着するルートを探します。
[一般優先]	有料道路をできるだけ利用せずに目的地へ到着するルートを探します。
[距離優先]	できるだけ短い走行距離で目的地へ到着するルートを探します。

メニューバーに目的地までの距離、到着予想時刻、有料道路の通行料金（合計金額）が表示されます。

※ 有料道路の通行料金は、ETC を利用しない場合の料金表示となります。ETC を利用した場合の各種割引料金は表示されません。

※ フェリー航路を使用するルートでは、フェリー料金を含みません。

※ 実際の料金と異なる場合があります。

- ・前項目に戻すときは、画面右下の をタッチしてください。
- ・[デモ走行] をタッチすると、選択した探索条件で目的地までの走行ルートを確認することができます。

10 にタッチする

設定した目的地までのルート案内画面が表示され、『ルート案内を開始します。実際の交通規制に従って走行してください。』と音声で案内します。

※ フリーワード検索の文字入力画面において、次の検索を行うこともできます。

・よみ検索

施設名、ジャンル、駅名のよみで検索することができます。
(文字入力例)：とうきょうえき(トウキョウエキ)

・通称名検索

一部施設において、正式名称のほか、通称名でも検索することができます。
(文字入力例)：「サンシャイン国際水族館」(正式名称)が「サンシャイン水族館」(通称名)でも検索可能。

まっぷるコードで目的地を選ぶ

まっぷるコードについて

「まっぷるコード」(MGコード)とは昭文社出版物に掲載されているオリジナルコードです。昭文社発行の地図やガイドブックに掲載されている観光施設やお店ごとに個別に付されています。詳しくは、昭文社のホームページを参照してください。

●まっぷるコードの記載例

クオココNo 0000-0000



まっぷるコード 1000-2345

- 1 ナビゲーション画面のメニューバーをタッチする
ナビゲーションのメニュー画面が表示されます。



- 2 にタッチする



- 3 にタッチする



- 4 数字キーをタッチし、まっぷるコードを入力して にタッチする

施設の詳細情報が表示されます。

※ すべての施設で詳細情報が表示される訳ではありません。

入力を間違えたときは をタッチして、やり直してください。「-」(ハイフン)は、入力しなくても検索できます。



(例：[1300-2116]を入力)

まっぷるコードで目的地を選ぶ

- ※ まっぷるコードを入力したにもかかわらず、「検索結果が見つかりません」というメッセージが表示された場合、次の要因が考えられます。
- ・ 入力したまっぷるコードが間違っている場合
 - ・ 店や施設などが存在しなくなっている場合
 - ・ 取材情報が古くなっているため情報の掲載を停止している場合

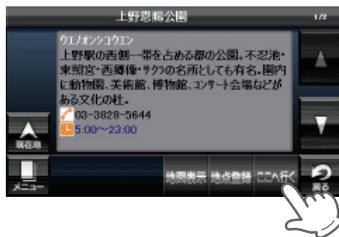
5 [地図表示] をタッチする

「ルート探索中です。しばらくお待ちください。」と表示し、「探索条件を設定する」(P.151)で指定した条件で、ルートが設定されます。

地図表示	施設周辺の地図を表示します。
地点登録	[ローカルエリア][自宅] (※)[マイエリア][お気に入り]に登録します。

※ 自宅登録していない場合に限り表示されます。

※ 実際の施設と離れた場所が表示される場合や、指定した地区の代表地点を表示する場合があります。このようなときは、地図表示をタッチして地図をスクロールさせ、地図上のマスを目的の場所に合わせてください。



6 [おすすめ] のルートを選択するか、[条件変更] 内の [有料優先] から目的にあったルート探索方法にタッチする

[おすすめ]	幹線道路を利用し、できるだけ曲がらずに目的地へ到着するルートを探します。
[有料優先]	有料道路をできるだけ利用して目的地へ到着するルートを探します。
[一般優先]	有料道路をできるだけ利用せずに目的地へ到着するルートを探します。
[距離優先]	できるだけ短い走行距離で目的地へ到着するルートを探します。

メニューバーに目的地までの距離、到着予想時刻、有料道路の通行料金(合計金額)が表示されます。

※ 有料道路の通行料金は、ETC を利用しない場合の料金表示となります。ETC を利用した場合の各種割引料金は表示されません。

※ フェリー航路を使用するルートでは、フェリー料金を含みません。

※ 実際の料金と異なる場合があります。

- ・ 前項目に戻るときは、画面右下の [戻る] をタッチしてください。
- ・ [デモ走行] をタッチすると、選択した探索条件で目的地までの走行ルートを確認することができます。



7 [案内開始] にタッチする

設定した目的地までのルート案内画面が表示され、『ルート案内を開始します。実際の交通規制に従って走行してください。』と音声で案内します。



過去の履歴から目的地を選ぶ

1 ナビゲーション画面のメニューバーをタッチする
ナビゲーションのメニュー画面が表示されます。



2 [履歴] にタッチする



3 [履歴] にタッチする



4 履歴一覧の中から目的地を選択し、[OK] をタッチする
「ルート探索中です。しばらくお待ちください。」と表示し、「探索条件を設定する」(P.151)で指定した条件で、ルートが設定されます。



: ルート探索に利用した地点の履歴
※ デモ走行に利用した地点の履歴は残りません。

: 検索地点の履歴

[△]または[▽]で履歴を選択します。

※ [全削除]で過去の履歴を全消去することができます。

削除	履歴を削除します。
地図表示	目的地周辺の地図を表示します。
お気に入り	[お気に入り]に登録します。
近い順	距離の近い順に施設一覧を表示します。
登録順	登録履歴の新しい順に表示します。

※ 履歴数は、50カ所まで登録され、それを超えると履歴の最も古いものを削除し、新しいものを登録します。

5 [おすすめ]のルートを選択するか、[条件変更]内の有料優先、一般優先、距離優先から目的にあったルート探索方法にタッチする



[おすすめ]	幹線道路を利用し、できるだけ曲がらずに目的地へ到着するルートを探します。
[有料優先]	有料道路をできるだけ利用して目的地へ到着するルートを探します。
[一般優先]	有料道路をできるだけ利用せずに目的地へ到着するルートを探します。
[距離優先]	できるだけ短い走行距離で目的地へ到着するルートを探します。

メニューバーに目的地までの距離、到着予想時刻、有料道路の通行料金(合計金額)が表示されます。

※ 有料道路の通行料金は、ETCを利用しない場合の料金表示となります。ETCを利用した場合の各種割引料金は表示されません。

※ フェリー航路を使用するルートでは、フェリー料金を含みません。

※ 実際の料金と異なる場合があります。

- ・前項目に戻るときは、画面右下の [戻る] をタッチしてください。
- ・[デモ走行]をタッチすると、選択した探索条件で目的地までの走行ルートを確認することができます。

6 [案内開始] にタッチする



設定した目的地までのルート案内画面が表示され、『ルート案内を開始します。実際の交通規制に従って走行してください。』と音声で案内します。

※ 過去の履歴をすべて消去する場合は、次の手順で行ってください。
「ナビゲーションの設定を初期化する」(P.177)を参照。

- ・「メニューバー」→「設定」→「システム」→「設定初期化」→「履歴」→「初期化」→「はい」をタッチする。

経路地を追加する

目的地を設定し、案内開始後、最大5カ所まで経路地を追加することができます。

1 目的地を設定し、ルート案内を開始する

目的地は、下記の方法から選んでください。

- ・「住所」 (P.52)
- ・「フリーワード」 (P.69)
- ・「ナビ画面」 (P.56)
- ・「まっぶるコード」 (P.73)
- ・「施設」 (P.58)
- ・「履歴」 (P.76)
- ・「電話番号」 (P.67)

2 メニュー画面(ナビゲーション)の検索などで経路したい場所を地図表示、または地図画面のスクロールで地図上の経路したい場所に合わせる

※ 経路地を複数設定される場合は、目的地に近い経路地から設定することをお勧めいたします。

※ 最後に設定した経路地が出発地の次の目標地点にルート設定されます。

※ 経路地の順番を入れ替えることもできます。(P.80)

3 をタッチする

周辺施設	周辺施設を検索することができます。
地点登録	[ローカルエリア][自宅] (*)[マイエリア][お気に入り]に登録します。
リストに戻る	フリーワード、住所、施設、電話番号、履歴、まっぶるコードの選択画面に戻ります。

※ 自宅登録していない場合に限り表示されます。



4 をタッチする

目的の経路地が追加されます。

目的地	目的地の変更をすることができます。
-----	-------------------



5 をタッチする

「ルート探索中です。しばらくお待ちください。」と表示し、「探索条件を設定する」(P.151)で指定した条件で、ルートが設定されます。



6 「おすすめ」のルートを選択するか、[条件変更]内のルート探索方法にタッチする

[おすすめ]	幹線道路を利用し、できるだけ曲がらずに目的地へ到着するルートを探します。
[有料優先]	有料道路をできるだけ利用して目的地へ到着するルートを探します。
[一般優先]	有料道路をできるだけ利用せずに目的地へ到着するルートを探します。
[距離優先]	できるだけ短い走行距離で目的地へ到着するルートを探します。



メニューバーに目的地までの距離、到着予想時刻、有料道路の通行料金(合計金額)が表示されます。

※ 有料道路の通行料金は、ETCを利用しない場合の料金表示となります。ETCを利用した場合の各種割引料金は表示されません。

※ フェリー航路を使用するルートでは、フェリー料金を含みません。

※ 実際の料金と異なる場合があります。

- ・前項目に戻すときは、画面右下の「戻る」をタッチしてください。
- ・[デモ走行]をタッチすると、選択した探索条件で目的地までの走行ルートを確認することができます。

7 をタッチする

設定した目的地までのルート案内画面が表示され、『ルート案内を開始します。実際の交通規制に従って走行してください。』と音声で案内します。

※ さらに経路地を追加する場合は、手順2～6の操作を続けて行ってください。

経路地の順番を変更・削除する

※ ルート案内中に、探索方法 ([おすすめ] [有料優先] [一般優先] [距離優先]) を変更することもできます。その場合、手順 1～2、5～7 の操作を行ってください。

1 ナビゲーション画面のメニューバーをタッチする

ナビゲーションのメニュー画面が表示されます。



2 [メニュー] をタッチする

- 例 1) [2] 東京都渋谷区神宮前 1 主要部と [1] 東京都世田谷区下馬 6 主要部の順番を変更します。
- 例 2) [2] 東京都渋谷区神宮前 1 主要部を削除します。



3 [2] 東京都渋谷区神宮前 1 主要部をタッチする

[削除] [↑] [↓] が表示されます。



4 [↑] または [削除] をタッチする

- ・ [↑] をタッチした場合：
 - [1] 東京都世田谷区下馬 6 主要部と [2] 東京都渋谷区神宮前 1 主要部の順番が入れ替わります。
 - [1] : 最初に向かう経路地
 - [2] : 2 番目に向かう経路地
 - [3] : 3 番目に向かう経路地
- ・ [削除] をタッチした場合：
 - [2] 東京都渋谷区神宮前 1 主要部が削除されます。



< [↑] をタッチした場合の画面 >

5 [再探索] をタッチする

「ルート探索中です。しばらくお待ちください。」と表示し、「探索条件を設定する」(P.151) で指定した条件で、変更された経路地を通るルート、または経路地のないルートが設定されます。



6 [おすすめ] のルートを選択するか、[条件変更] 内のルート探索方法にタッチする

[おすすめ]	幹線道路を利用し、できるだけ曲がらずに目的地へ到着するルートを探します。
[有料優先]	有料道路をできるだけ利用して目的地へ到着するルートを探します。
[一般優先]	有料道路をできるだけ利用せずに目的地へ到着するルートを探します。
[距離優先]	できるだけ短い走行距離で目的地へ到着するルートを探します。



メニューバーに目的地までの距離、到着予想時刻、有料道路の通行料金 (合計金額) が表示されます。

- ※ 有料道路の通行料金は、ETC を利用しない場合の料金表示となります。ETC を利用した場合の各種割引料金は表示されません。
- ※ フェリー航路を使用するルートでは、フェリー料金を含みません。
- ※ 実際の料金と異なる場合があります。

- ・ 前項目に戻すときは、画面右下の [?] をタッチしてください。
- ・ [デモ走行] をタッチすると、選択した探索条件で目的地までの走行ルートを確認することができます。

7 [案内開始] にタッチする

設定した目的地までのルート案内画面が表示され、『ルート案内を開始します。実際の交通規制に従って走行してください。』と音声で案内します。

自宅を登録する

- 1 メニュー画面(ナビゲーション)の検索などで自宅の位置を地図表示、または地図画面のスクロールで地図上の+を自宅登録したい位置へ合わせる



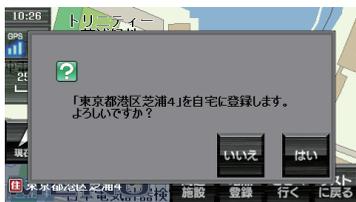
- 2 **地点登録** をタッチする

周辺施設	周辺施設を検索することができます。
ここへ行く	目的地に設定します。
リストに戻る	フリーワード、住所、施設、電話番号、履歴、まっぶるコードの選択画面に戻ります。

- 3 **自宅** をタッチする

「〇〇を自宅に登録します。よろしいですか?」というメッセージが表示されます。

ローカルエリア	ローカルエリアの登録を行います。
マイエリア	マイエリアの登録を行います。
お気に入り	お気に入り登録を行います。



- 4 **はい** をタッチする

自宅に登録されます。(※自宅は1件しか登録できません。)

- ・登録を中止するときは、[いいえ]をタッチしてください。
- ・自宅の位置を変更する場合は、自宅登録を削除し、再度登録し直します。
- ・自宅登録を削除したい場合は、「登録地点を削除する」(P.98)を参照してください。

お気に入りを登録する

ルート案内に使用したい目的地などを登録します。
登録数はマイエリア(☛P.84)、お気に入りを合わせて100カ所までです。

- 1 メニュー画面(ナビゲーション)の検索などでお気に入り登録したい位置を地図表示、または地図画面のスクロールで地図上の+をお気に入り登録したい位置へ合わせる



- 2 **地点登録** をタッチする

周辺施設	周辺施設を検索することができます。
ここへ行く	目的地に設定します。
リストに戻る	フリーワード、住所、施設、電話番号、履歴、まっぶるコードの選択画面に戻ります。

- 3 **お気に入り** をタッチする

タッチした場所の住所が表示されます。
お好みで、名称の変更を行うことができます。(☛P.42)

ローカルエリア	ローカルエリアの登録を行います。(☛P.86)
自宅	この場所を自宅として登録します。(自宅登録していない場合に限り表示されます)
マイエリア	マイエリアの登録を行います。(☛P.84)

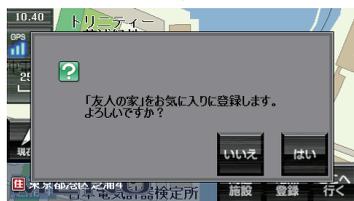


4 **決定** をタッチする

お気に入り登録の確認画面が表示されます。

[はい] をタッチすると、お気に入りに登録されます。

・前項目に戻すときは、画面右下の をタッチしてください。



・お気に入り登録を削除したい場合は、「登録地点を削除する」(P.98)を参照してください。

警告させたい地点を登録する(マイエリア登録)

移動オービスがよく出没する地点や、新たに設置されたオービスポイントなどをマイエリア登録しておくことで、2回目以降通過時に警告させることができます。登録数はマイエリア、お気に入りを合わせて100カ所までです。

1 メニュー画面(ナビゲーション)の検索などで、マイエリア登録したい位置を地図表示、または、地図画面のスクロールで地図上の+をマイエリア登録したい位置へ合わせる



2 **地点登録** をタッチする

周辺施設	周辺施設を検索することができます。
ここへ行く	目的地に設定します。
リストに戻る	フリーワード、住所、施設、電話番号、履歴、まっぐるコードの選択画面に戻ります。

3 **マイエリア** をタッチする

タッチした場所の住所が表示されます。

お好みで、名称の変更を行うことができます。(P.42)

ローカルエリア	ローカルエリアの登録を行います。(P.86)
自宅	この場所を自宅として登録します。(自宅登録していない場合に限って表示されます)
マイエリア	マイエリアの登録を行います。(P.84)

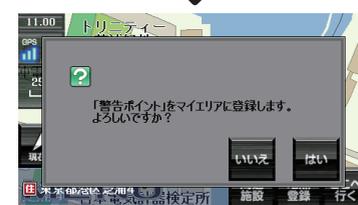


4 **決定** をタッチする

マイエリア登録の確認画面が表示されます。

[はい] をタッチすると、マイエリアに登録されます。

・前項目に戻すときは、画面右下の をタッチしてください。



・マイエリア登録を削除したい場合は、「登録地点を削除する」(P.98)を参照してください。

マイエリア登録したエリアに近づくとき…

手前約1km / 500m / 通過中の3段階で警告します。

〈手前約1km(500m)のとき〉

『右(左)方向…1km(500m)先…マイエリアです』とお知らせします。

〈通過中…〉

『通過します』とお知らせします。

・GPSの測位状況や走行ルートによって、距離の告知(『1km先』、『500m先』)を『この先』や『300m先』、『200m先』、『100m先』、『すぐ先』とお知らせすることがあります。

ローカルエリアを登録する

ローカルエリアとは・・・

レーダー設定 (P.158) をオートで使用する際、ローカルモードが適応される地域です。

ローカルエリア登録で記憶させた地点を中心に、無効 /5km/10km/15km/20km/25km/30kmの半径を選ぶことができます。

設定した場所が自動的にローカルエリアの中心となります。設定はご自宅など、お使いになるエリアの中心となる場所で行ってください。

ローカルエリアの半径は「+」または「-」をタッチしてお好みの半径を選択し、決定をタッチします。

※登録は5カ所までです。

ルート設定

- 1 メニュー画面(ナビゲーション)の検索などで、ローカルエリア登録したい位置を地図表示、または、地図画面のスクロールで地図上の+をローカルエリア登録したい位置へ合わせる



- 2 **地点登録** をタッチする

周辺施設	周辺施設を検索することができます。
ここへ行く	目的地に設定します。
リストに戻る	フリーワード、住所、施設、電話番号、履歴、まっぐるコードの選択画面に戻ります。

- 3 **ローカルエリア** をタッチする

自宅	この場所を自宅として登録します。(自宅登録していない場合に限り表示されます)
お気に入り	お気に入り登録を行います。
マイエリア	マイエリアの登録を行います。



- 4 ローカルエリアの半径を、バー表示の-/+にタッチして設定する

半径の設定が完了したら、「決定」をタッチしてください。

前項目に戻るときは、画面右下の戻るをタッチしてください。



- 5 **OK** をタッチする

※「ローカルエリアを設定しました。」と表示後、「OK」をタッチしなくても自動で地図画面に戻ります。

※ローカルエリア登録を削除したい場合は、「ローカルエリアを削除する」(P.89)を参照してください。



ルート設定

ローカルエリアの範囲を変更する

- 1 ナビゲーション画面のメニューバーをタッチする

ナビゲーションのメニュー画面が表示されます。



- 2 **登録-編集** をタッチする



3  をタッチする

ローカルエリア一覧が表示されま
す。



4 範囲を変更したいローカルエリ
アの住所をタッチする

画面に「編集」「削除」が表示されま
す。



近い順	距離の近い順に履歴一覧を 表示します。
登録順	登録履歴の新しい順に表示 します。

5  をタッチする

※  をタッチすると、ローカルエリアが削除されます。

6 お好みの半径を選択し、
をタッチする

[+] または [-] をタッチして「無
効」「5km」「10km」「15km」「20km」
「25km」「30km」から半径を選択
し、[決定] をタッチします。

前項目に戻すときは、画面右下の
 をタッチしてください。



ローカルエリアを削除する

1 ナビゲーション画面のメニュー
バーをタッチする

ナビゲーションのメニュー画面が
表示されます。



2  をタッチする



3  をタッチする

ローカルエリア一覧が表示されま
す。



4 削除したいローカルエリアの住
所をタッチする

画面に「編集」「削除」が表示されま
す。



近い順	距離の近い順に履歴一覧を 表示します。
登録順	登録履歴の新しい順に表示 します。

5  をタッチする

※ 削除するローカルエリアの住所が表示されます。

6 はい をタッチする



※登録されているローカルエリアを5カ所すべて消去する場合は、次の手順で行ってください。

- ・「ナビゲーションの設定を初期化する」(P.177)を参照。
- ・「メニューバー」→「設定」→「システム」→「設定初期化」→「ローカルエリア」→「初期化」→「はい」をタッチする。

登録地点を確認する

登録されている自宅やお気に入り、マイエリアを確認することができます。

- 1 ナビゲーション画面のメニューバーをタッチする
ナビゲーションのメニュー画面が表示されます。



- 2 登録地点 をタッチする



- 3 登録地点 をタッチする

登録地点の一覧が表示されます。

- : 自宅
- : マイエリア
- : お気に入り

近い順	距離の近い順に履歴を表示します。
登録順	登録履歴の新しい順に表示します。



- ※登録地点一覧より、ルートを設定する場合は、次の手順で行ってください。
- ・目的の地点にタッチ後、[ここへ行く]をタッチする。

自宅へ帰る

あらかじめ自宅を登録しておけば、どこにいても「自宅へ帰る」をタッチするだけで自宅までのルートが案内できます。

※ 自宅を登録する場合は、(P.82)を参照ください。

1 ナビゲーション画面のメニューバーをタッチする

ナビゲーションのメニュー画面が表示されます。



2 「自宅へ帰る」をタッチする

「ルート探索中です。しばらくお待ちください。」と表示し、「探索条件を設定する」(P.151)で指定した条件で、ルートが設定されます。



3 「おすすめ」のルートを選択するか、「条件変更」内のルート探索方法にタッチする

[おすすめ]	幹線道路を利用し、できるだけ曲がらずに目的地へ到着するルートを探します。
[有料優先]	有料道路をできるだけ利用して目的地へ到着するルートを探します。
[一般優先]	有料道路をできるだけ利用せずに目的地へ到着するルートを探します。
[距離優先]	できるだけ短い走行距離で目的地へ到着するルートを探します。



※ 案内開始をタッチしなくても、しばらくすると自動的にルート案内を開始します。

メニューバーに目的地までの距離、到着予想時刻、有料道路の通行料金（合計金額）が表示されます。

- ※ 有料道路の通行料金は、ETCを利用しない場合の料金表示となります。ETCを利用した場合の各種割引料金は表示されません。
- ※ フェリー航路を使用するルートでは、フェリー料金を含みません。
- ※ 実際の料金と異なる場合があります。

- ・前項目に戻すときは、画面右下の「戻る」をタッチしてください。
- ・「デモ走行」をタッチすると、選択した探索条件で目的地までの走行ルートを確認することができます。

GPSが受信できない場所でルートを確認する(自車位置修正)

室内など、GPSの電波が受信できない場所で、現在地を設定するための機能です。自車位置を任意の場所に移動させることができ、出発前にももってルートの確認を行う場合などに使用します。

※ 自車位置修正は、GPSの電波が受信できない場合のみ可能です。屋外へ移動し、GPSの電波が受信した場合は、実際の現在地に更新されます。

1 ナビゲーション画面のメニューバーをタッチする

ナビゲーションのメニュー画面が表示されます。



2 「自宅へ帰る」にタッチする



3 「案内設定」にタッチする



4 「自車位置修正」にタッチする



5 メニュー画面 (ナビゲーション) の検索などで、修正 (設定) したい位置を地図表示または、地図画面のスクロールで地図上の+を修正 (設定) したい位置に合わせてあと、**決定** をタッチする



自転車位置 (現在地) が修正 (設定) されます。

周辺施設	周辺施設を検索することができます。
地点登録	[ローカルエリア][自宅](※)[マイエリア][お気に入り]に登録します。
ここへ行く	目的地に設定します。

- ※ 自宅登録していない場合に限り表示されます。
- ※ GPS の電波が受信した場合は、実際の現在地に更新されます。

6 目的地を設定し、**子車走行** をタッチ (開始) する

目的地までの走行ルートを確認することができます。目的地は、下記の方法から選んでください。



- ・「住所」 (👉 P.52)
- ・「ナビ画面」 (👉 P.56)
- ・「施設」 (👉 P.58)
- ・「電話番号」 (👉 P.67)
- ・「フリーワード」 (👉 P.69)
- ・「まっぶるコード」 (👉 P.73)
- ・「履歴」 (👉 P.76)

一般道/有料道 (高速道路) が上下並行となるような場所で、道路の上下を誤認している場合、一般道/有料道を指定し、誤った道路案内を避けることができます。

一般道への切り替え

1 ナビゲーション画面のメニューバーをタッチする

ナビゲーションのメニュー画面が表示されます。



2 **一般道へ切り替** をタッチする



※ 一般道/有料道 (高速道路) が上下並行となっていない場所などで、「道路切替」と表示されている場合は、一般道への切り替えを行うことはできません。



道路切替の表示

3 **道路切替** をタッチする

ナビゲーション画面へ移行し、有料道の (高速道路) 走行から、一般道の走行へと認識され (切り替わり) ます。

※ ナビゲーションを再起動した場合で、走行場所が誤認識 (一般道を走行しているにもかかわらず有料道を認識) しているときは、もう一度、手順1から設定し直してください。

道路切り替え

有料道への切り替え

1 ナビゲーション画面のメニューバーをタッチする

ナビゲーションのメニュー画面が表示されます。



2 有料道へ切り替えるアイコンにタッチする

※ 一般道／有料道（高速道路）が上下並行となっていない場所では、道路切り替えを行うことはできません。



3 有料道へ切り替えるアイコンをタッチする

ナビゲーション画面へ移行し、有料道の（高速道路）走行から、一般道の走行へと認識され（切り替わり）ます。

※ ナビゲーションを再起動した場合で、走行場所が誤認識（一般道を走行しているにもかかわらず有料道走行を認識）しているときは、もう一度、手順1から設定し直してください。

案内を中止する

ルート案内が必要なくなった場合は、案内を中止できます。

1 ナビゲーション画面のメニューバーをタッチする

ナビゲーションのメニュー画面が表示されます。



2 案内を中止するアイコンをタッチする

「ルートを消去します。よろしいですか？」と表示されます。



3 ルート案内を中止するときは、はいをタッチする

「ルートを消去しました。」と表示されルート案内を中止します。

※ 「ルートを消去しました。」と表示後、[OK] をタッチしなくても自動で地図画面に戻ります。



目的地に到着してもルートは消去されません。

目的地に到着後ルートを消去する場合は、ナビゲーション画面のメニューバーをタッチしてください。自動的に消去されます。

登録地点を削除する

登録されている自宅やお気に入り、マイエリアを個別削除することができます。

- 1 ナビゲーション画面のメニューバーをタッチする
ナビゲーションのメニュー画面が表示されます。



- 2 登録地点をタッチする



- 3 登録地点の一覧をタッチする
登録地点の一覧が表示されます。



- 4 削除したい登録地点をタッチする

- : 自宅
- : マイエリア
- : お気に入り

近い順	距離の近い順に履歴一覧を表示します。
登録順	登録履歴の新しい順に表示します。



例) 自宅を削除する場合

- 5 削除をタッチする

「登録地点「〇〇」を削除します。よろしいですか?」と表示されます。

地図表示	目的地周辺の地図を表示します。
ここへ行く	目的地に設定します。

- ※ [ローカルエリアヘコピー] にタッチすると、ローカルエリアへ登録できます。
- ※ 名称の変更や属性の変更 (マイエリアまたはお気に入りへ変更) したい場合は、[編集] にタッチしてください。



- 6 削除するときは、はいをタッチする

※ 「〇〇を削除しました。」と表示後、[OK] をタッチしなくても自動で登録地点一覧画面に戻ります。

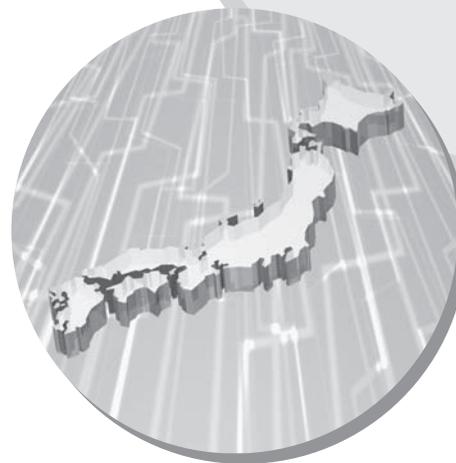


例) 自宅を削除する場合

※ 登録されている「自宅」、「マイエリア」、「お気に入り」を一度にすべて消去する場合は、次の手順で行ってください。

- ・「ナビゲーションの設定を初期化する」(P.177)を参照。
- ・「メニューバー」→「設定」→「システム」→「設定初期化」→「登録地点」→「初期化」→「はい」をタッチする。

ターゲット識別 と設定



本機は、GPSターゲット、レーダー波^{*}、無線^{*}をそれぞれ識別します。

^{*}別売のレーダーレーシーバユニット(OP-RD1)を使用したときのみレーダー波、無線を識別します。

GPS 測位機能について

GPS (Global Positioning System) とは、衛星軌道上の人工衛星から発信される電波により、緯度・経度を測定するシステムです。

このシステムを利用して、オービス（無人式自動速度取締り装置）や、交通監視システム、N システム、そして、過去に取締りや検問などが行われたポイントなどのターゲットを識別してお知らせします。

GPS 測位機能のみ OFF にすることはできません。

測位アナウンスについて

GPS の電波を受信（測位）すると、『GPS を受信しました』とお知らせします。

GPS ターゲット識別

次ページに続く

GPS ターゲット 識別について

GPS 測位機能を利用して、オービス（無人式自動速度取締り装置）や、交通監視システム、N システム、そして、過去に取締りや検問などが行われたポイントなどのターゲットを識別してお知らせします。

本機に登録されている GPS データのポイント（GPS ターゲット）に近づくと、オービスなどのターゲットを識別してお知らせします。

ターゲット名または、フルマップレーダースコープ表示をタッチすると、ステータスバー・フルマップレーダースコープの表示は消えます。

再度、ステータスバー・フルマップレーダースコープを表示させたい場合は、ナビゲーションのメニュー画面を表示させ、[現在地] をタッチしてください。



※ 制限速度表示は、一般道のオービス（ループコイル／LH システム／新 H システム／レーダー式オービス）警報時に表示します。

※ 表示される時刻・速度・距離は、GPS の受信状況により、ずれることがあります。

※ フルマップレーダースコープや受信レベル (P.110) が表示中、次の表示は行われません。

- ・案内矢印 (P.46)
- ・高速道路上の自転車位置 (P.48)
- ・ハイウェイ施設情報 (P.48)
- ・戻る (P.48)
- ・スクロールボタン (P.48)
- ・誘導アイコン (P.48)
- ・ハイウェイ表示を消す (P.48)

※ 次の表示が行われている場合、フルマップレーダースコープや受信レベル (P.110)、ナビの地図表示は消えます。

- ・都市高速入口イラスト (P.146)
- ・JCT (ジャンクション) イラスト表示 (P.147)
- ・SA (サービスエリア) / PA (パーキングエリア) イラスト表示 (P.148)
- ・ETC イラスト表示 (P.149)
- ・交差点拡大図 (P.144)

※ 次の表示が行われている場合、ステータスバーの表示は消えます。

- ・案内情報 (P.46)
- ・次案内施設情報 (P.48)

※ GPS ターゲット名が表示中は、次の表示は行われません。

- ・道路名称 (P.46)
- ・交差点拡大図 (P.144) など、画面右下に表示される [×] アイコン

フルマップレーダースコープ表示について

GPS ターゲットアイコン（警報ポイントなど）が直感でわかる！フルマップレーダースコープ【特許出願中】

自車位置と GPS ターゲットアイコン（注意度によって4色）を全国地図上（フルマップ）へ同時に表示し、この先に現れる注意すべきターゲットや位置関係を直感的に知らせます。



※ フルマップレーダースコープは、GPS ターゲットに近づくにつれ、自動に地図スケールが変わります。地図スケールを OFF にすることや任意変更することはできません。

※ ターゲットがループコイル、LH システム、H システム、レーダー式オービス、取締エリア、検問エリア、N システム、交通監視システムの場合は、設置されている方向を矢印で表示します。

※ フルマップレーダースコープの地図方向は、ヘディングアップ固定（常に進行方向が上になるように表示）となります。ノースアップに（常に北が上になるように表示）変更することはできません。

※ フルマップレーダースコープは、すべての道路が表示されるわけではありません。

ステータスバー表示について

設定状態を表示します。



● GPSターゲットの警報・警告・告知一覧

GPS ターゲット表示アイコンの色は、注意度の高い順に「赤」(警報)→「黄」(警告)→「青」(告知)→「緑」(告知)の4色に識別して表示します。

No.	GPSターゲット名	GPSターゲットアイコン表示(※)	警報・警告・告知音声(例)
①	ループコイル	LC (赤色)	『すぐ先 ループコイルです。』
②	LHシステム	LH (赤色)	『この先 LHシステムです。』
③	新Hシステム	H (赤色)	『この先 Hシステムです。』
④	レーダー式オービス	RD (赤色)	『この先 レーダー式オービスです。』
⑤	Nシステム	N (青色)	『すぐ先 Nシステムです。』
⑥	トンネル出口ターゲット	RD (赤色)	『トンネル出口付近 レーダー式オービスです。』
⑦	取締エリア	(黄色)	『この先 取締エリアです。』
⑧	検問エリア	(黄色)	『この先 検問エリアです。』
⑨	マイエリア(P.84)	M (黄色)	『300メートル先 マイエリアです。』
⑩	交通監視システム	(青色)	『すぐ先 交通監視システムです。』
⑪	交差点監視	(黄色)	『すぐ先 交差点監視エリアです。』
⑫	信号無視抑止システム	(黄色)	『すぐ先 信号無視抑止システムです。』
⑬	事故多発エリア	(青色)	『すぐ先 事故多発エリアです。』
⑭	警察署	(青色)	『300メートル先 警察署です。』
⑮	道の駅	(緑色)	『すぐ先 道の駅です。』
⑯	サービスエリア	SA (緑色)	『この先 サービスエリアです。』
⑰	パーキングエリア	PA (緑色)	『500メートル先 パーキングエリアです。』
⑱	HWオアシス (ハイウェイオアシス)	(緑色)	『500メートル先 ハイウェイオアシスです。』

ターゲット設定と識別

ターゲット設定と識別

No.	GPSターゲット名	GPSターゲットアイコン表示(※)	警報・警告・告知音声(例)
⑩	HWラジオ (ハイウェイラジオ)	 (緑色)	『ハイウェイラジオ 受信エリアです。』

※フルマップレーダースコープに表示されるGPSターゲットアイコン

●トンネル出口ターゲット警報

トンネルの中ではGPSの電波を受信できないため、出口付近に設置されているオービスは警報できませんでしたが、トンネルの入口手前約1kmで、出口付近のオービスや道の駅などを表示とボイスのダブルで警報します。

●左右方向識別ボイス

ターゲットが進行方向に対して、右手または左手方向に約25°以上のとき、その方向を警報します。

- ・『右方向』、『左方向』のボイスは、告知時点でのターゲット方向であり、右車線、左車線を示す訳ではありません。
- ・ターゲットの反対方向に対しては警報しません。

※以下のターゲットは、左右方向識別ボイスのお知らせはありません。

- ・トンネル出口ターゲット
- ・ハイウェイラジオ受信エリア

●高速道識別ボイス

ターゲットが高速道に設置されている場合、『高速道』とボイスでお知らせします。

●オービス(取締エリア)制限速度 一般道のみ

オービスや一部の取締エリア内の警報時に、道路の制限速度をフルマップレーダースコープに表示します。

※トンネル出口ターゲットや制限速度が登録されていない取締エリアは、制限速度が表示されません。

※普通自動車に対する制限速度をお知らせします。事故や天候、時間帯などによって変更する制限速度には対応しておりませんので、あらかじめご了承ください。状況に応じた規制速度で走行してください。

※高速道の制限速度は、制限速度切り替わりポイントを通過(高速道の合流地点等に入)した時点で、画面左下に表示されます。そのため、高速道のオービス警報時はフルマップレーダースコープに制限速度を表示しません。

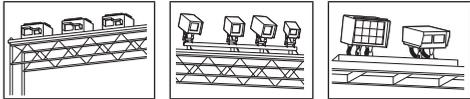
GPS ターゲットの種類

GPSターゲットの内容は、以下のとおりです。それぞれのGPSターゲットについて[表示]、[音声]の設定ができます。

→「GPSターゲットの表示・音声を設定する」(P.160)

GPSターゲット名	ターゲットの内容
レーダー 新Hシステム	<p>レーダー波を使って算出する方法(レーダー方式)</p> <p>取締りレーダー波を対象の車に向けて発射し、その反射波の周波数変化(ドップラー効果)で速度を算出します。</p> <p>同じ電波を用いる自動取締り機ですが、種類の異なる電波(周波数は同一)を使用しているのが新Hシステムです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ターゲットの手前2km(高速道のみ)/1km/500m/通過時の最大4段階で警報します。 ・GPSの測位状況や走行ルートによって距離の告知(『2km先』、『1km先』、『500m先』)を『この先』や『300m先/200m先/100m先/すぐ先』とお知らせすることがあります。 ・約2km手前の警報(高速道のみ)は、オービスからの角度が右手または左手方向に約40度以内で、その路線の制限速度を超えて走行している場合にお知らせします。
ループコイル LHシステム	<p>距離と時間で算出する方法(ループコイル・LHシステム)</p> <p>一定区間を通過するのにかかる時間から速度を算出します。測定区間の始めと終わりに設置するセンサーには、赤外線や磁気スイッチなどが使われています。</p> <p>※この方式は取締りレーダー波を発射しておりませんので、従来のレーダー受信機能では、検知できませんが、GPS測位機能により、警報することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ターゲットの手前2km(高速道のみ)/1km/500m/通過時の最大4段階で警報します。 ・GPSの測位状況や走行ルートによって距離の告知(『2km先』、『1km先』、『500m先』)を『この先』や『300m先/200m先/100m先/すぐ先』とお知らせすることがあります。 ・約2km手前の警報(高速道のみ)は、オービスからの角度が右手または左手方向に約40度以内で、その路線の制限速度を超えて走行している場合にお知らせします。

GPS ターゲット識別

GPSターゲット名	ターゲットの内容
Nシステム	<p>「自動車ナンバー読み取り装置」の略称で、その名のとおり走行中の自動車のナンバーを道路上に設置した赤外線カメラにより自動的に読み取り、そのデータを各都道府県の警察本部などに専用線を通して送信する装置で、自動車を利用した犯罪の捜査や盗難車両の検挙、発見などを効率的に行うことを目的に開発、導入されたものです。</p>  <p>Nシステムは約300m手前から通過直前に、『(右/左方向) すぐ先(高速道)Nシステムです』とお知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Nシステム告知」された場合でも、実際は稼動していないNシステムもあります。
通過告知	<p>オービスの撮影ポイント(※)やマイエリアの通過をお知らせします。</p> <p>『…通過します』</p> <p>※GPSの測位状況により、実際のオービスの直下ではなく、通過前や通過後に告知される場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トンネル出口ターゲットは、通過告知されません。
取締エリア	<p>過去に「定置式取締り」、「移動式取締り」、「追尾式取締り」、「一時停止取締り」、「交差点取締り」などが行われていた場所が登録されています。</p> <p>取締りの登録ポイントから約1km手前とエリア内に入ったとき、エリア圏外になったときの3段階でお知らせします。</p> <p>※取締りの種類(定置式取締り、移動式取締り、追尾式取締り、一時停止取締り、交差点取締り)のお知らせはありません。</p> <p>※一部の取締エリアでは、エリア内に入ったときのみのお知らせとなります。</p> <p>※取締エリアは、過去のデータに基づき登録されていますが、常に行われている訳ではありません。目安としてお考えください。</p>
検問エリア	<p>過去に「シートベルト検問」、「飲酒検問」、「携帯電話検問」などが行われていた場所が登録されています。</p> <p>検問の登録ポイントから約1km手前とエリア内に入ったとき、エリア圏外になったときの3段階でお知らせします。</p> <p>※検問の種類(シートベルト検問、飲酒検問、携帯電話検問)のお知らせはありません。</p> <p>※検問エリアは、過去のデータに基づき登録されていますが、常に行われている訳ではありません。目安としてお考えください。</p>

GPSターゲット名	ターゲットの内容
交通監視システム	<p>交通監視システムとは、「画像処理式交通流計測システム」などと言われているシステムで、道路上に設置したCCDカメラで撮影した画像を処理し、交通量、速度、車種などを計測するものです。</p> <p>交通監視システムは約300m手前から通過直前に、『(右/左方向) すぐ先 交差点監視システムです』とお知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、交通監視システムは一般道にのみ設置されています。
交差点監視	<p>過去に交差点で検問が行われたポイントが登録されていて、約300m手前になると、『(右/左方向) すぐ先 交差点監視ポイントです』とお知らせします。</p>
信号無視抑止システム	<p>信号無視抑止システムは信号無視車両をカメラで撮影するシステムで、スピード取締りの実績はありません。</p> <p>信号無視抑止システムは約300m手前から通過直前に、『(右/左方向) すぐ先 信号無視抑止システムです』とお知らせします。</p>
事故多発エリア	<p>過去に事故が多発したエリアが登録されていて、約300m手前になると、『(右/左方向) すぐ先 事故多発エリアです』とお知らせします。</p>
警察署	<p>全国の警察署が登録されていて、約500m手前から通過直前に、『(右/左方向) 500m先 警察署です』とお知らせします。</p>
道の駅	<p>全国の道の駅が登録されていて、約1km(500m)手前になると、『(右/左方向) 1km(500m)先 道の駅です』とお知らせします。</p>
サービスエリア	<p>全国の高速道サービスエリアが登録されていて、2km(高速道のみ)/1km/500mの3段階で警報します。『(右/左方向) 2km(1km/500m)先 サービスエリアです』とお知らせします。</p>
パーキングエリア	<p>全国の高速道パーキングエリアが登録されていて、2km(高速道のみ)/1km/500mの3段階で警報します。『(右/左方向) 2km(1km/500m)先 パーキングエリアです』とお知らせします。</p>
ハイウェイオアシス(HWオアシス)	<p>全国の高速道ハイウェイオアシスが登録されていて、2km(高速道のみ)/1km/500mの3段階で警報します。『(右/左方向) 2km(1km/500m)先 ハイウェイオアシスです』とお知らせします。</p>
ハイウェイラジオ(HWラジオ)	<p>全国のハイウェイラジオ受信エリアが登録されていて、約100m手前になると、『ハイウェイラジオ受信エリアです』とお知らせします。</p>

レーダー波受信時の動作(レーダーアラーム)

別売のレーダーレーシーバーユニット(OP-RD1)を使用したときのみ、レーダー波を受信します。

別売の受信機能内蔵クレードル(OP-RD1)を使用すると、Wアラームと接近テンポアップの採用により、取締りレーダー波の存在をより確実に伝えていきます。

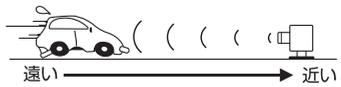
[レーダーアラーム]

Wアラーム

音(アラーム/音声)と表示のダブルで警報します。

接近テンポアップ

取締りレーダー波発信源への接近(電波の強弱)に合わせて変化します。

取締りレーダー波 発信源との距離	
アラーム	断続音から連続音に変化します。
表示	受信レベルが変化します。 

※ 音声はテンポアップしません。

※ フルマップレーダースコープ表示における GPS ターゲットアイコン表示とレーダー波の発信元とは無関係です。

※ レーダー 3 識別名が表示中は、次の表示は行われません。

- ・ 道路名称 (● P.46)
- ・ 交差点拡大図 (● P.144) などで、画面右下に表示される [X] アイコン

レーダー波 3 識別 (iDSP) について

別売のレーダーレーシーバーユニット(OP-RD1)を使用したときのみ、レーダー波を受信します。

iDSP/ 統合的 デジタル 信号 処理 技術 (integrated Digital Signal Processing-Technology) により、ステルス型取締り機の「一瞬で強い電波」に対しては、ただ単に警報するだけでなく、通常波と区別して表示とボイスのダブルでお知らせします。さらに、インテリジェントキャンセル (● P.112) により取締り波かどうかを識別し、誤警報を抑えます。

[ステルス識別]

[インテリジェントキャンセル: 特許 第 3902553 号、第 4163158 号]

※ iDSP はステルス型の取締り機に対して完全対応という訳ではありません。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。



※ 新 H システムの断続的なレーダー波を受信した際も、通常のレーダー波と同じ警報となります。

※ フルマップレーダースコープ表示における GPS ターゲットアイコン表示とレーダー波の発信元とは無関係です。

ボイス識別

ステルス型取締り機について

他の取締り機と同じ電波を使用していますが、事前に探知(受信)されないようにするため、待機中は電波を放射せず、必要ときに短時間強い電波を放射して速度の測定ができる狙い撃ち方式の取締り機です。

※ ステルス型取締り機は、計測する瞬間だけ電波を放射するため、受信できなかったり、警報が間に合わない場合があります。また、取締りには電波を使用しない光電管式などもありますので、先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。

※ 通常の電波を受信した場合でも、周囲の状況などにより、ステルス波を識別警報することがあります。

※ ステルス型取締り機の電波を受信するとボイスでステルス波を識別警報します。

<ステルス波を受信したとき>



レーダー波3 識別 (iDSP) について

アイ(1)キャンセル(インテリジェントキャンセル)[特許第3902553号,第4163158号]

自動ドアなどで誤警報する場所を通過した際、GPSの位置情報を自動で登録し、2回目以降通過時にレーダー波を受信した場合、レーダー警報をキャンセルします。登録数はアイ(1)キャンセルポイント、アイ(1)キャンセル禁止ポイントを合わせて100カ所まで登録され、それを超えると通過履歴の最も古いものを削除し、新しいものを登録します。

● インテリジェントキャンセルのしくみ

- ① 取締りレーダー波と同じ電波を受信すると警報。[1回目]
- ② 取締りレーダー波かどうかを識別。
- ③ 誤警報と思われる場合、「誤警報ポイント」として自動登録。
- ④ 同じ地点で電波を受信しても警報をキャンセル。[2回目以降]



レーダー波受信レベル表示

● アイ(1)キャンセルポイント手動登録

誤警報エリアの電波状況によっては、誤警報ポイントとしての自動登録がされず、警報をキャンセルできない場合があります。

その場合、レーダー波受信レベル表示にタッチすることで、手動で誤警報ポイント(1キャンセルポイント)として登録し、警報をキャンセルさせることができます。

※ 警報キャンセル中に、レーダー波受信レベル表示にタッチすると、誤警報ポイントが解除されます。

● アイ(1)キャンセル禁止ポイント

1キャンセルポイントから解除し、次回からの自動登録を禁止することができます。

インテリジェントキャンセル中(「1キャンセル」表示中)にレーダー波受信レベル表示をタッチするとアイ(1)キャンセルポイントから解除され、アイ(1)キャンセル禁止ポイントとして登録されます。



ここをタッチする

※ 手動登録した1キャンセルポイントでは、レーダー波受信レベル表示にタッチしても、1キャンセル禁止ポイントとしての登録はされませんので、あらかじめご了承ください。

アイ(1)キャンセルポイント/アイ(1)キャンセル禁止ポイントを確認する

1 ナビゲーション画面のメニューバーをタッチする

ナビゲーションのメニュー画面が表示されます。



2 [登録-編集] をタッチする



3 [キャンセルポイント] をタッチする

登録されている1キャンセルポイント一覧が表示されます。

近い順	距離の近い順にキャンセルポイント一覧を表示します。
登録順	登録履歴の新しい順に表示します。



- 1キャンセルポイントは、住所の前のアイコンが [緑] で表示されます。
- 1キャンセル禁止ポイントは、住所の前のアイコンが [赤] で表示されます。
- 1キャンセルポイント、1キャンセル禁止ポイントを個別に削除したい場合は、削除したい場所に選択(タッチ)したあと、「削除」をタッチしてください。



※ 1キャンセルポイント、1キャンセル禁止ポイントを全消去する場合は[全削除]をタッチしてください。また、下記の方法からでも全消去できます。

- 「ナビゲーションの設定を初期化する」(P.177)を参照。
- 「メニューバー」→「設定」→「システム」→「設定初期化」→「1キャンセルポイント」→「初期化」→「はい」をタッチする。

別売のレーダーレーシーバーユニット (OP-RD1) を使用したときのみ、無線を受信します。

取締りレーダー波の X・K ツインバンドと GPS の 3 バンドの他に、無線 14 バンド識別をプラスし、17 バンド受信ができます。



無線 14 バンド識別機能について

安心して、安全に運転していただくために、無線 14 バンド識別機能を搭載しました。これらの無線を受信すると、表示と音声でお知らせします。



※ フルマップレーダースコープ表示における GPS ターゲットアイコン表示と無線電波の発信元とは無関係です。

※ 無線ターゲット名またはフルマップレーダースコープ表示をタッチするとステータスバー、フルマップレーダースコープ表示は消えます。再度、ステータスバー・フルマップレーダースコープを表示させたい場合は、ナビゲーションのメニュー画面を表示させ、[現在地]をタッチしてください。

※ 無線ターゲット名が表示中は、次の表示は行われません。

- ・ 道路名称 (● P.46)
- ・ 交差点拡大図 (● P.144) などで、画面右下に表示される [X] アイコン

無線の警報一覧

※ 別売のレーダーレーシーバーユニット (OP-RD1) を使用したときのみ、無線警報します。

No.	無線ターゲット名	警報音声(例)
①	カーロケ無線	『カーロケ近接受信です。』
②	取締無線	『取締無線です。』
③	デジタル無線	『デジタル無線です。』
④	ヘリテレ無線	『ヘリテレ無線です。』
⑤	取締特小無線	『特小無線です。』
⑥	警察電話	『警察無線です。』
⑦	警察活動無線	『警察活動無線です。』

No.	無線ターゲット名	警報音声(例)
⑧	署活系無線	『署活系無線です。』
⑨	消防無線	『消防無線です。』
⑩	消防ヘリテレ無線	『消防ヘリテレ無線です。』
⑪	レッカー無線	『レッカー無線です。』
⑫	新救急無線	『救急無線です。』
⑬	高速道路無線	『高速道路無線です。』
⑭	警備無線	『警備無線です。』

無線警報の種類

別売のレーダーレーシーバーユニット (OP-RD1) を使用したときのみ、無線を受信します。

無線警報の内容は、以下のとおりです。それぞれの無線警報について[表示]、[音声]の設定ができます。

(「無線機能の表示・音声を設定する」● P.169)

無線受信 (無線ターゲット名)	受信の内容
カーロケ無線	<p>カーロケターシステムとは、「無線自動車動態表示システム」のことで、通信指令本部が移動局(パトカーなど)の現在位置をリアルタイムで地図画面上に表示し、把握するシステムです。カーロケターシステムを搭載した移動局は、GPSによる緯度・経度情報をデジタル化し、407.7MHz帯の周波数でデータ伝送していますので、その電波受信により、移動局が近くにいる可能性が高いことを察知できます。</p> <p>通信指令本部 車両の現在位置 カーロケ・データ無線通信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ カーロケターシステム搭載車であっても、使用されていない場合がありますので、カーロケ無線を受信できないことがあります。 ・ カーロケターシステムは、全国的に新システムへの移行が進んでいます。現在は受信できる地域であっても、新システムへの移行により、受信できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。新システムが導入された地域では、カーロケ無線の警報ができません。 ・ 受信のタイミングによっては、実際の移動局の接近と受信のお知らせがズレる場合があります。

無線受信 (無線ターゲット名)	受信の内容
取締無線	スピード違反の取締りや、シートベルト着用義務違反の取締り現場では、350.1MHzの電波を利用した無線で連絡が行われることがあります。 ・取締り現場での連絡方法には350.1MHzの電波を利用した無線の他に、有線方式などもあり、受信自体ができない場合もあります。
デジタル無線	デジタル無線とは、各都道府県警察本部と移動端末間で交信するためのもので、159～160MHz帯の周波数を受信することで移動局が近くにいる可能性が高いことを察知できます。カーロケ帯受信機能と同じように、事前に察知することにより、緊急車両の通行の妨げにならないようにするなど、安全走行に役立ちます。
ヘリテレ無線	「ヘリコプター画像伝送システム連絡用無線」の略称で、ヘリコプターを使って事件や事故処理、または取締りを行うときに地上との連絡用として使用されているのがヘリテレ無線です。 ・一部地域や一部ヘリコプターで、ヘリテレ無線が装備されていない場合や使用されていない場合は受信できないことがあります。
取締特小無線	スピード違反の取締りや、シートベルト着用義務違反の取締り現場では、取締無線(350.1MHz)の他に、特定小電力無線が用いられる場合があります。 ・取締り現場の連絡用として使用されていない場合もありますので、ご了承ください。
警察電話	移動警察電話(移動警電)ともいい、警察専用の自動車携帯電話システムのことです。
警察活動無線	主に機動隊の連絡用無線で、行事などの警備用として、限られた範囲で使用されている無線です。
署活系無線	パトロール中の警察官が、警察本部や他の警察官との連絡用として使用されているのが署活系無線です。
消防無線	災害・救助活動で使用する消防用署活系無線(携帯用400MHz帯)です。 ・消防本部等で広域に使用されているVHF帯(150MHz帯)の通信は受信できませんので、ご了承ください。

ターゲット識別と設定

無線受信 (無線ターゲット名)	受信の内容
消防ヘリテレ無線	ヘリコプターを使った火事の事故処理、または火事現場との連絡用として使用されているのが消防ヘリテレ無線です。 ・一部地域や一部ヘリコプターで、ヘリテレ無線が装備されていない場合や使用されていない場合は受信できないことがあります。
レッカー無線	主に関東/東海/阪神の一部地域で、レッカー業者が駐車違反や事故処理のときに、連絡用として簡易業務用無線を使用しています。このため他の簡易業務用無線を受信しても、レッカー無線警告をすることがあります。
新救急無線	救急車と消防本部の連絡用として使用されている無線のうち、首都圏の特定の地域で使われているのが新救急無線です。あらかじめ受信察知することにより、救急車の通行の妨げにならないようにするためのものです。
高速道路無線	NEXCO東日本、NEXCO中日本、NEXCO西日本の業務連絡用無線で、主に渋滞や工事・事故情報などでパトロール車両と本部との連絡に使用されている無線です。
警備無線	主に警備会社が使用する無線です。

ターゲット識別と設定

ベストパートナー 6 識別

別売のレーダーレーシーバユニット(OP-RD1)を使用したときのみ、無線を受信します。

カーロケ無線、取締無線、デジタル無線などの無線の受信状態からシミュレーションし、快適ドライブのベストパートナーとして、安全走行のためのタイムリーな情報をお知らせします。

また、カーロケ無線(407.7MHz帯の電波)を受信したとき、その発信元の遠近を自動識別し、さらに発信元が圏外になったと思われる場合もお知らせします。

※カーロケ無線や、ベストパートナーは、カーロケ無線が受信可能な一部地域のみ働きます。

[検問注意：特許第4119855号]

[並走追尾注意 / すれ違い / 圏外識別：特許第3780262号]

●「カーロケ無線」「取締無線」「デジタル無線」「取締注意」「検問注意」の設定 (P.169) をすべて「ON」にする

※いずれかの無線がOFFの状態では、一部のベストパートナー機能が働きません。

● 種々の無線を受信すると・・・

識別項目 (無線ターゲット名)	注意内容	警報語句
並走追尾注意	緊急車両が近くにいる可能性が高いとき	『スピード注意。』
すれ違い注意	近くにいたと思われる緊急車両などが、遠ざかった可能性が高いとき	『遠ざかりました。』
取締注意	比較的近くで取締りなどが行われている可能性が高いとき	『取締シグナル無線です。』
検問注意	比較的近くで検問などが行われている可能性が高いとき	『検問シグナル無線です。』
カーロケ遠近識別	緊急車両などが遠方や近接している可能性が高いとき	『カーロケ遠方受信です。』 『カーロケ近接受信です。』
カーロケ圏内・ 圏外識別	カーロケ受信の発信元が、まだ近くにいる場合や遠ざかった可能性が高いとき	※カーロケ圏内中は「カーロケ圏内」が表示され警報語句のお知らせはありません。 『カーロケ圏外です。』

※ 警報によるアドバイスがあっても、実際とは異なる場合がありますので、目安としてお考えください。

※ カーロケターシステムは、全国的に新システムへの移行が進んでいます。現在は受信可能な地域であっても今後、新システムへの移行により受信できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。新システムが導入された地域や、新システムに移行した場合、カーロケ無線の警報や、ベストパートナー 6 識別は働きません。

スピード違反の取締りかた

大きく分けて、3つの方法があります。

● レーダー波を使って算出する方法(レーダー方式)

取締りレーダー波を対象の車に向けて発射し、その反射波の周波数変化(ドップラー効果)で速度を算出します。



● 距離と時間で算出する方法(ループコイル・LHシステム・光電管式)

一定区間を通過するのにかかる時間から速度を算出します。測定区間の始めと終わりに設置するセンサーには、赤外線や磁気スイッチなどが使われています。

● 追走して測定する方法(追尾方式)

指針を固定できるスピードメーターを搭載している白バイやパトカーで、対象の車を追走して速度を測ります。

取締りレーダー波について

取締りレーダー波は、発射するときの角度や装置の種類によって性質が異なります。

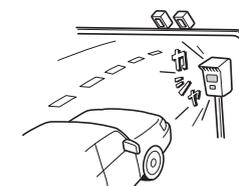
● 定置式

人が測定装置を道路際に設置して行きます。取締りレーダー波は、直進性が強いいため、発射角度が浅いほど、探知しやすくなります。



● 自動速度取締り機

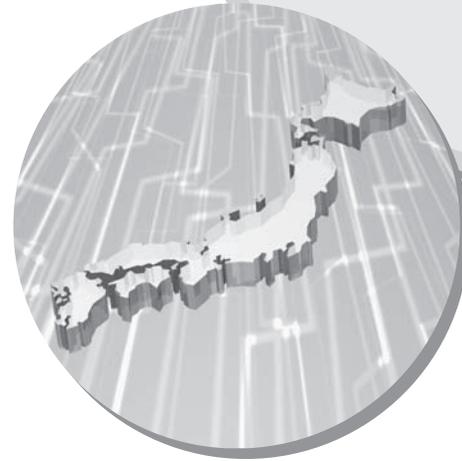
(新Hシステム、レーダー式オービス)
速度の測定と証拠写真の撮影を自動的に行います。



● 移動式

測定装置をパトカーに搭載して、移動しながら測定を行います。

ナビゲーション 設定



設定メニュー画面を表示させる

- 1 ナビゲーション画面のメニューバーをタッチする
ナビゲーションのメニュー画面が表示されます。



- 2 ナビゲーションのメニュー画面が表示されたら、 にタッチする



<ナビゲーションのメニュー画面>



設定メニュー画面が表示されます。

※ [終了] → [はい] をタッチすると、設定メニュー画面が終了し、メインメニュー (P.30) に戻ります。



<設定メニュー画面>

表示・音声設定

次ページに続く

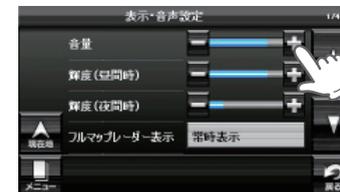
音量を設定する

音声案内や、タッチ音(操作音)の音量を調整することができます。

- 1 設定メニュー画面の  にタッチする
表示・音声設定画面が表示されます。

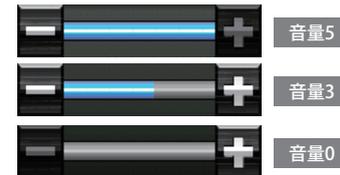


- 2 音量の   をタッチし、音量を調整する



※ 音量は0～5までの6段階に設定できます。

※ 初期値は「4」に設定されています。



輝度(昼間・夜間時)を設定する

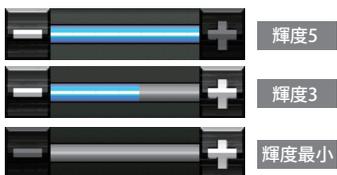
ナビゲーション画面(昼間時と夜間時)の輝度を調整できます。

- 1 設定メニュー画面の  にタッチする
表示・音声設定画面が表示されます。



2 輝度(昼間・夜間時)の をタッチし、輝度を調整する

- ※「輝度(昼間・夜間時)」は0～5までの6段階に設定できます。
- ※昼間時の初期値は「4」に設定されています。
- ※夜間時の初期値は「1」に設定されています。
- ※ログビューア・ミュージックプレーヤー・ピクチャービューア画面の輝度を調整する場合は、 P.31を参照ください。



フルマップレーダー表示を設定する

GPS・レーダー波[※]・無線[※]の警報時のフルマップレーダースコープ表示の設定を行うことができます。

※別売のレーダーレーシーバーユニット(OP-RD1)を使用したときのみ、無線警報します。

- ① ステータスバー ② フルマップレーダースコープ表示 ③ ターゲット名



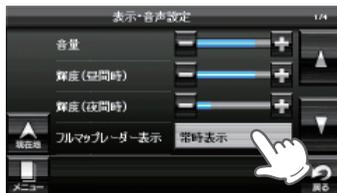
<警報イラスト例>

1 設定メニュー画面の にタッチする

表示・音声設定画面が表示されます。



2 「フルマップレーダー表示」をタッチする



3 [常時表示]、[警報時表示(通常)]、または[警報時表示(最小化)]を選択する



- 常時表示 : ステータスバー・フルマップレーダースコープが常時表示され、ターゲット名は、警報時に表示されます。
 - 警報時表示(通常) : 警報時にステータスバー・フルマップレーダースコープ・ターゲット名が表示されます。
 - 警報時表示(最小化) : 警報時にターゲット名のみ表示されます。
- ※ 警報時表示(最小化)を選択してもレーダー波受信時(レーダー波3識別時)は、ステータスバー・フルマップレーダースコープも表示されます。
- ※ 初期値は「警報時表示(通常)」に設定されています。

警報音声を設定する

GPS・レーダー波[※]・無線[※]の警報時の音声を選択できます。

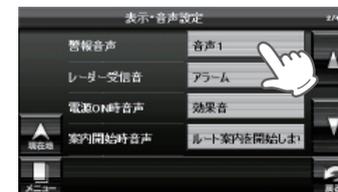
※別売のレーダーレーシーバーユニット(OP-RD1)を使用し、レーダー波、無線を受信すると警報します。

1 設定メニュー画面の にタッチする

表示・音声設定画面が表示されます。



2 「警報音声」をタッチする

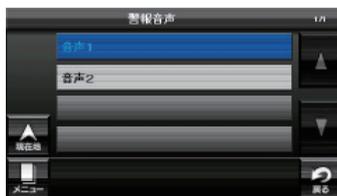


3 [音声1]、または[音声2] を選択する

音声1：通常の音声で案内します。
音声2：メカ的な音声で案内します。
※ 初期値は「音声1」に設定されています。

● 音声例

音声1： 1キロ先高速道ループコイルです。
音声2： 12時方向ループコイル補足 距離1000



レーダー受信音を設定する

別売のレーダーレーシーバーユニット (OP-RD1) を使用したときのみ、設定は有効になります。

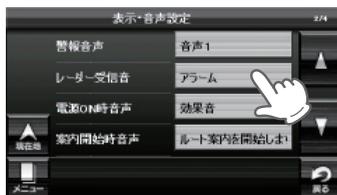
レーダー波の警報・警告時の音声を選択できます。

1 設定メニュー画面の [表示・音声設定] にタッチする

表示・音声設定画面が表示されます。



2 [レーダー受信音] にタッチして、「レーダー受信音」を選択 (タッチ) する



3 [レーダー受信音] を選択 (タッチ) する

アラーム：レーダー波を受信すると電子音で警報します。取締りレーダー波発信源への接近に合わせて、断続音から連続音に変化します。

音声：レーダー波を受信すると音声で警報します。ステルス型取締り機の「一瞬だけ強い電波」に対しては、通常波と区別して警報します。

※ 初期値は「アラーム」に設定されています。



★ステルス型取締り機について

他の取締り機と同じ電波を使用していますが、事前に探知(受信)されないようにするため、待機中は電波を発射せず、必要なときに短時間強い電波を発射して速度の測定ができる狙い撃ち方式の取締り機です。

- ステルス型取締り機は、計測する瞬間だけ電波を発射するため、受信できなかったり、警報が間に合わない場合があります。また、取締りには電波を使用しない光電管式などもありますので、先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。
- 周囲の状況などにより、通常のレーダー波を受信した場合でも、ステルス波の識別警報をすることがあります。

電源 ON 時音声を設定する

電源 ON 時の音声を選択できます。

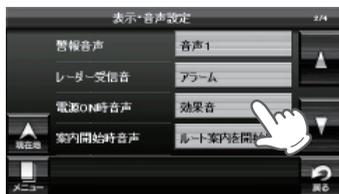
※ Main Menu (メインメニュー) のオプション画面 (P.31) からでも、設定可能です。

1 設定メニュー画面の「表示・音声設定」にタッチする

表示・音声設定画面が表示されます。

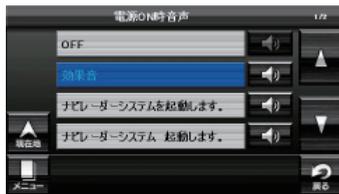


2 「電源 ON 時音声」を選択 (タッチ) する



3 設定したい音声を選擇する

- ※ 初期値は「効果音」に設定されています。
- ※ スピーカーのアイコン (🔊) にタッチすると、音声を聞くことができます。



案内開始時音声を設定する

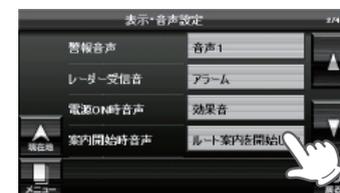
ルート案内開始時の音声を選擇できます。

1 設定メニュー画面の「案内開始時音声」にタッチする

表示・音声設定画面が表示されます。

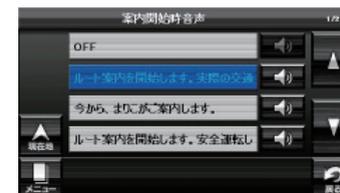


2 「案内開始時音声」を選択 (タッチ) する



3 設定したい音声を選擇する

- ※ 初期値は「ルート案内を開始します。実際の交通規制に従って走行してください。」に設定されています。
- ※ スピーカーのアイコン (🔊) にタッチすると、音声を聞くことができます。



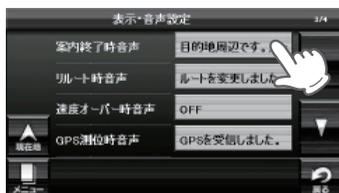
案内終了時音声を設定する

ルート案内終了時の音声を選択できます。

- 1 設定メニュー画面の  にタッチする
表示・音声設定画面が表示されます。



- 2  にタッチして、「案内終了時音声」を選択（タッチ）する



- 3 設定したい音声を選択する

- ※ 初期値は「目的地周辺です。ルート案内を終了します。」に設定されています。
- ※ スピーカーのアイコン()にタッチすると、音声を聞くことができます。



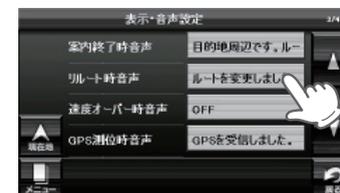
リルート時音声を設定する

ルート案内中にルートが離れたときのリルート時の音声を選択できます。

- 1 設定メニュー画面の  にタッチする
表示・音声設定画面が表示されます。

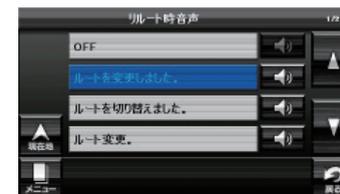


- 2  にタッチして、「リルート時音声」を選択（タッチ）する



- 3 設定したい音声を選択する

- ※ 初期値は「ルートを変更しました。」に設定されています。
- ※ スピーカーのアイコン()にタッチすると、音声を聞くことができます。



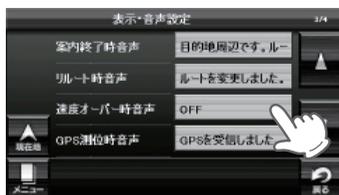
速度オーバー時音声を設定する

制限速度(高速道のみ)を越えて走行したときの音声を選択できます。

- 1 設定メニュー画面の  にタッチする
表示・音声設定画面が表示されます。

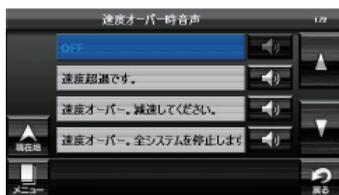


- 2  にタッチして、「速度オーバー時音声」を選択(タッチ)する



- 3 設定したい音声を選擇する

- ※ 初期値は「OFF」に設定されています。
- ※ スピーカーのアイコン(🔊)にタッチすると、音声を聞くことができます。



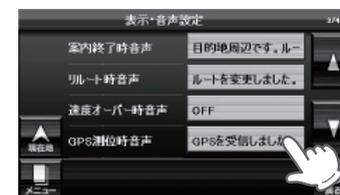
GPS 測位時音声を設定する

GPS 電波を受信したときの音声を選擇できます。

- 1 設定メニュー画面の  にタッチする
表示・音声設定画面が表示されます。



- 2  にタッチして、「GPS 測位時音声」を選択(タッチ)する



- 3 設定したい音声を選擇する

- ※ 初期値は「GPSを受信しました。」に設定されています。
- ※ スピーカーのアイコン(🔊)にタッチすると、音声を聞くことができます。



GPS 非測位時音声を設定する

GPS 電波を受信できないときの音声を選択できます。

- 1 設定メニュー画面の「表示・音声設定」にタッチする
表示・音声設定画面が表示されま
す。



- 2 「GPS 非測位時音声」を選択 (タッチ) する



- 3 設定したい音声を選擇する

- ※ 初期値は「GPS を受信できません。」に設定されています。
- ※ スピーカーのアイコン(🔊)にタッチすると、音声を聞くことができます。



● 音声一覧

設定項目	設定内容
電源ON時音声	OFF
	効果音
	ナビレーダーシステムを起動します。
	ナビレーダーシステム 起動します。
	まりこ、全システム起動。 マリナビ、起動しちゃいます。
案内開始時音声	OFF
	ルート案内を開始します。実際の交通規制に従って走行してください。 今から、まりこがご案内します。
	ルート案内を開始します。安全運転してください。 マリナビ、案内開始。気をつけて運転してね。
	OFF
案内終了時音声	OFF
	目的地周辺です。ルート案内を終了します。
	ルート案内を終了します。 もうすぐ目的地だよ。お疲れ様でした。 マリナビ、案内終了。
	OFF
リルート時音声	OFF
	ルートを変更しました。
	ルートを切り替えました。 ルート変更。 こんどは、こっちから行くね。
	OFF
速度オーバー時音声	OFF
	速度超過です。 速度オーバー。減速してください。 速度オーバー。全システムを停止します。なんちゃって。 スピード出しすぎだよ〜。
	OFF
	GPS測位時音声
GPS測位時音声	OFF
	GPSを受信しました。
	衛星を捕捉。 GPS受信しました。 衛星みつけ。
	OFF
GPS非測位時音声	OFF
	GPSを受信できません。 衛星を捕捉できません。 GPSロストしました。 衛星みつけらんない。

地図色を設定する

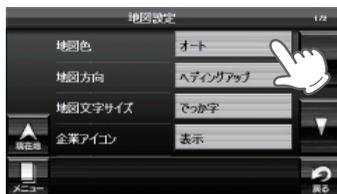
ナビゲーション画面の背景色を選択できます。

1 設定メニュー画面の「地図設定」にタッチする

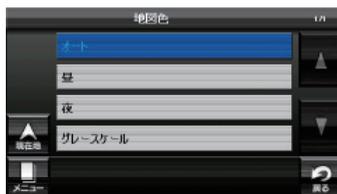
地図設定画面が表示されます。



2 「地図色」をタッチする



3 [オート][昼][夜][グレースケール]から選択する



- オート : GPSの時刻情報を利用し、地域および季節に応じて地図色が自動で切り替わります。
- 昼 : 常に背景色が白で表示します。
- 夜 : 常に背景色が黒で表示します。
- グレースケール : 視認性向上のため、自転車位置、ルート、企業アイコン、3Dランドマーク以外をグレースケールで表示します。
[特許出願中]

※ 初期値は[オート]に設定されています。

地図方向を設定する

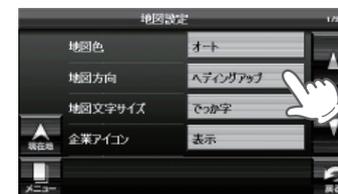
ナビゲーション画面に表示される地図の向きを選択できます。

1 設定メニュー画面の「地図設定」にタッチする

地図設定画面が表示されます。



2 「地図方向」をタッチする



3 [ノースアップ] または [ヘディングアップ] から選択する



- ノースアップ : 常に北が上になるように表示します。
 - ヘディングアップ : 常に進行方向が上になるように表示します。
- ※ 初期値は「ヘディングアップ」に設定されています。
- ※ 本設定を「ノースアップ」にしても、フルマップレーダースコープに表示される地図の方向は、変わりません。(ヘディングアップ固定の表示となります)

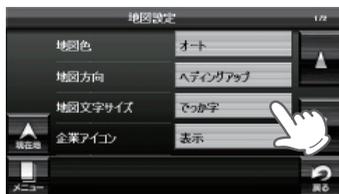
地図文字サイズを設定する

地図に表示される文字の大きさを選択できます。

- 1 設定メニュー画面の  にタッチする
地図設定画面が表示されます。



- 2 「地図文字サイズ」をタッチする



- 3 [普通] または [でっか字] から選択する

「でっか字」は「普通」より大きいサイズで文字の視認性がよくなります。

※ 初期値は「でっか字」に設定されています。



企業アイコンの表示を設定する

地図上の店舗がわかるような店舗看板や企業ロゴをアイコン表示できます。

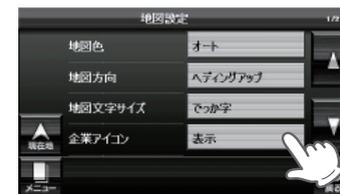


<主な企業アイコン>

- 1 設定メニュー画面の  にタッチする
地図設定画面が表示されます。



- 2 「企業アイコン」をタッチする



- 3 [表示] または [非表示] から選択する

表示 : 地図上にアイコンを表示します。

非表示 : 地図上にアイコンを表示しません。

※ 初期値は「表示」に設定されています。



3Dランドマークの表示を設定する

地図上で立体的な3Dランドマーク表示の設定ができます。



<主な3Dランドマーク>

1 設定メニュー画面の「地図設定」にタッチする

地図設定画面が表示されます。



2 「3Dランドマーク」をタッチする



3 「表示」または「非表示」から選択する

- 表示 : 地図上に3Dランドマークを表示します。
- 非表示 : 地図上に3Dランドマークを表示しません。

※ 初期値は「表示」に設定されています。



ぬけみちの表示を設定する

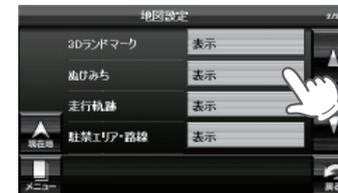
地図スケールが200m、100m、50mのとき、「GIGA マップ渋滞ぬけみち道路地図」に収録されているぬけみちを地図上に水色で点滅表示できます。

1 設定メニュー画面の「地図設定」にタッチする

地図設定画面が表示されます。



2 「ぬけみち」をタッチする



3 「表示」または「非表示」から選択する

- 表示 : 地図上にぬけみちを点滅表示します。
- 非表示 : 地図上にぬけみちを表示しません。

※ 初期値は「表示」に設定されています。



走行軌跡の表示を設定する

地図スケールが 10m ~ 2.5km のとき、走行した軌跡を灰色の点で地図上に表示できます。

1 設定メニュー画面の にタッチする

地図設定画面が表示されます。



2 にタッチして、「走行軌跡」を選ぶ (タッチする)



3 [表示] または [非表示] から選択する

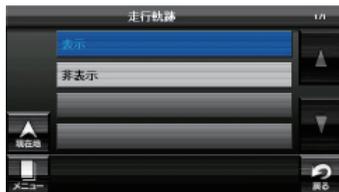
表示 : 地図上に走行軌跡を表示します。

非表示 : 地図上に走行軌跡を表示しません。

※ 初期値は「表示」に設定されています。

※ 軌跡点を全消去する場合は、次の手順で行ってください。

- ・「ナビゲーションの設定を初期化する」(P.177)を参照。
- ・「メニューバー」→「設定」→「システム」→「設定初期化」→「走行軌跡」→「初期化」→「はい」をタッチする。



駐禁エリア・路線を設定する

地図スケールを 50m、100m に設定しているとき、駐車禁止監視エリア・路線を地図上に表示できます。

1 設定メニュー画面の にタッチする

地図設定画面が表示されます。



2 にタッチして、「駐禁エリア・路線」を選ぶ (タッチする)



3 [表示] または [非表示] から選択する

表示 : 地図上に駐禁エリア・路線を表示します。

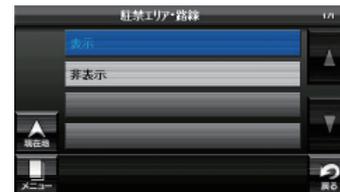
非表示 : 地図上に駐禁エリア・路線を表示しません。

※ 初期値は「表示」に設定されています。

最重点地域	ピンク
最重点路線	ピンク
重点地域	黄色
重点路線	黄色

※ 地図設定の全項目を初期値に戻す場合は、次の手順で行ってください。

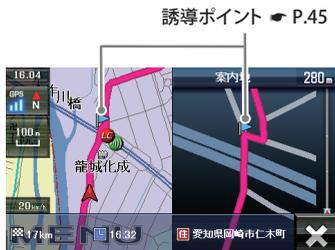
- ・「ナビゲーションの設定を初期化する」(P.177)を参照。
- ・「メニューバー」→「設定」→「システム」→「設定初期化」→「地図設定」→「初期化」→「はい」をタッチする。



交差点拡大図の表示を設定する

ルート案内中、300メートル手前より一般道の誘導交差点で交差点拡大図を表示させることができます。

- 画面右下の「X」をタッチすると、交差点拡大図を一時的に消すことができます。次の交差点では、再び交差点拡大図が表示されます。



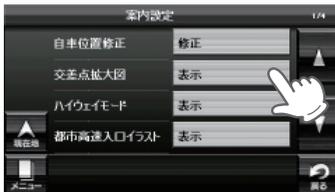
<交差点拡大図例>

1 設定メニュー画面の「案内設定」にタッチする

案内設定画面が表示されます。



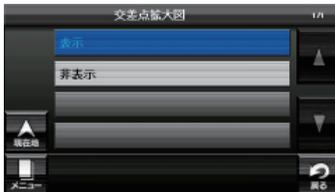
2 「交差点拡大図」をタッチする



3 「表示」または「非表示」から選択する

- 表示 : 地図上に交差点拡大図を表示します。
- 非表示 : 地図上に交差点拡大図を表示しません。

※ 初期値は「表示」に設定されています。



ハイウェイモードの表示を設定する

高速道路や、有料道走行中に通過施設、距離、施設情報を表示できます。(ハイウェイ表示 P.47)



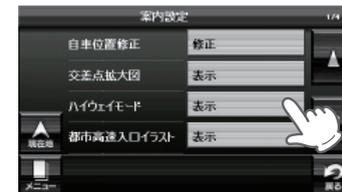
<ハイウェイ表示例>

1 設定メニュー画面の「案内設定」にタッチする

案内設定画面が表示されます。



2 「ハイウェイモード」をタッチする



3 「表示」または「非表示」から選択する

- 表示 : 地図上にハイウェイ表示します。
- 非表示 : ハイウェイ表示しません。

※ 初期値は「表示」に設定されています。



都市高速入口イラストの表示を設定する

ルート案内中、都市高速入口のイラスト(P.49)を表示できます。

※ 都市高速入口イラストは首都高速、阪神高速、名古屋高速、広島高速、福岡高速、北九州高速のみ表示します。



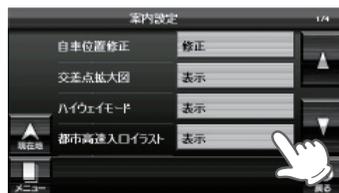
<都市高速入口イラスト表示例>

1 設定メニュー画面の [案内設定] にタッチする

案内設定画面が表示されます。



2 「都市高速入口イラスト」をタッチする



3 [表示] または [非表示] から選択する

表示 : 地図上に高速入口のイラストを表示します。
非表示 : 地図上に高速入口のイラストを表示しません。

※ 初期値は「表示」に設定されています。



JCT(ジャンクション)イラストの表示を設定する

ルート案内中、有料道路上の分岐地点をイラスト表示できます。(ジャンクションイラスト P.49)



<JCTイラスト表示例>

1 設定メニュー画面の [案内設定] にタッチする

案内設定画面が表示されます。



2 「JCTイラスト」をタッチする



3 [表示] または [非表示] から選択する

表示 : 地図上にJCTのイラストを表示します。
非表示 : 地図上にJCTのイラストを表示しません。

※ 初期値は「表示」に設定されています。



SA(サービスエリア)/PA(パーキングエリア)イラストの表示を設定する

ルート案内中、SA/PAのイラスト(施設案内図)を表示できます。

- 画面右下の[×]をタッチすると、SA/PAイラストを一時的に消すことができます。次のSA/PAでは、再び、SA/PAイラストが表示されます。



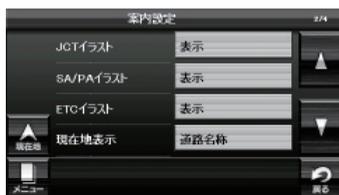
<SA/PAイラスト例>

1 設定メニュー画面の [案内設定] にタッチする

案内設定画面が表示されます。



2 [SA/PAイラスト] にタッチして、「SA/PAイラスト」を選択(タッチ)する



3 [表示] または [非表示] から選択する

- 表示 : 地図上に SA/PA のイラストを表示します。
非表示 : 地図上に SA/PA のイラストを表示しません。

※ 初期値は「表示」に設定されています。



ETCイラストの表示を設定する

ルート案内中、ETCのイラストを表示できます。

- 画面右下の[×]をタッチすると、ETCイラストを一時的に消すことができます。
- 次のETC料金所では、再び、ETCイラストが表示されます。



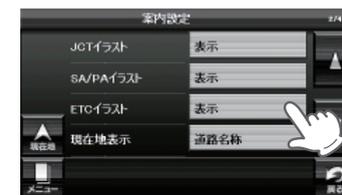
<ETCイラスト例>

1 設定メニュー画面の [案内設定] にタッチする

案内設定画面が表示されます。



2 [ETCイラスト] にタッチして、「ETCイラスト」を選択(タッチ)する



3 [表示] または [非表示] から選択する

- 表示 : 地図上に ETC のイラストを表示します。
非表示 : 地図上に ETC のイラストを表示しません。

※ 初期値は「表示」に設定されています。



現在地表示を設定する

現在地を「住所」、「道路」、「緯度・経度」のいずれかで表示できます。



<住所表示例>

1 設定メニュー画面の [案内設定] にタッチする

案内設定画面が表示されます。



2 [現在地表示] にタッチして、「現在地表示」を選択 (タッチ) する



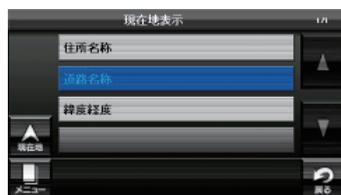
3 [住所名称] [道路名称] [緯度経度] から選択する

住所名称：画面に現在の住所を表示します。

道路名称：画面に現在走行中の道路名を表示します。

緯度経度：画面に現在の緯度経度を表示します。

※ 初期値は「道路名称」に設定されています。



探索条件を設定する

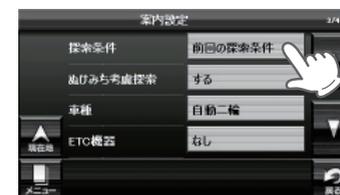
ルート探索やオートリルートを行うときの、探索条件を指定することができます。

1 設定メニュー画面の [案内設定] にタッチする

案内設定画面が表示されます。



2 [探索条件] にタッチして、「探索条件」を選択 (タッチ) する



3 [前回の検索条件] [おすすめ] [有料優先] [一般優先] [距離優先] から選択する



前回の探索条件：前回、ルート探索で選択した条件（おすすめ／有料優先／一般優先／距離優先のいずれか）で検索します。

おすすめ：幹線道路を利用し、できるだけ曲がらずに目的地へ到着するルートを探します。

有料優先：有料道路をできるだけ利用して目的地へ到着するルートを探します。

一般優先：有料道路をできるだけ利用せずに目的地へ到着するルートを探します。

距離優先：できるだけ短い走行距離で目的地へ到着するルートを探します。

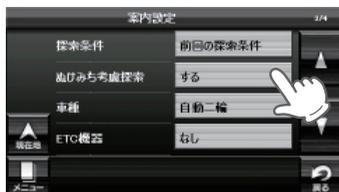
※ 初期値は「前回の探索条件」に設定されています。

ぬけみち考慮探索を設定する

ルート探索時、ぬけみち考慮のルート探索を行います。

1 設定メニュー画面の  にタッチする

案内設定画面が表示されます。

2  にタッチして、「ぬけみち考慮探索」を選択（タッチ）する

3 [する] または [しない] から選択する

する : ぬけみちを考慮してルート探索を行います。

しない : ぬけみちを考慮しないでルート探索を行います。

※ 初期値は「する」に設定されています。



車種を設定する

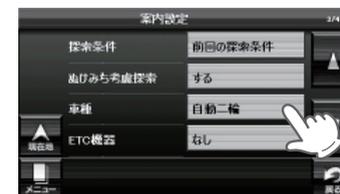
ルート探索時に有料道路の料金を車種別に計算できます。

※ 実際の料金と異なる場合がありますので、ご注意ください。

※ 有料道路の通行料金は、ETCを利用しない場合の料金表示となります。ETCを利用した場合の各種割引料金は表示されません。

1 設定メニュー画面の  にタッチする

案内設定画面が表示されます。

2  にタッチして、「車種」を選択（タッチ）する

3 [自動二輪] [軽自動車] [普通車] [中型車] [大型車] [特大車] から選択する

※ 初期値は「自動二輪」に設定されています。



ETC 機器を設定する

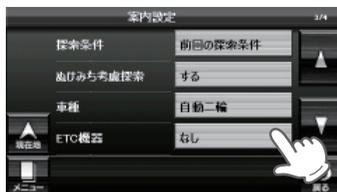
ルート探索時、スマートインターチェンジ考慮のルート探索を行います。

1 設定メニュー画面の にタッチする

案内設定画面が表示されます。



2 にタッチして、「ETC 機器」を選択（タッチ）する



3 [あり] または [なし] から選択する

あり：ルート探索時、スマートインターチェンジ考慮のルート探索を行います。

なし：ルート探索時、スマートインターチェンジ考慮のルート探索を行いません。



※ 初期値は「なし」に設定されています。

※ スマートインターチェンジ（スマート IC）は、高速道路の本線とサービスエリア、パーキングエリア、バスストップから乗り降りができるように設置されるインターチェンジであり、通行可能な車両（料金の支払い方法）を、ETC を搭載した車両に限定しているインターチェンジです。

※ 本設定を「あり」にしても、ETC を利用した場合の各種割引料金は表示されません。

踏切注意案内を設定する

ルート探索時、ぬけみち考慮のルート探索を行います。

1 設定メニュー画面の にタッチする

踏切注意案内の設定を行います。



2 にタッチして、「踏切注意案内」を選択（タッチ）する



3 [する] または [しない] から選択する

する：踏切に差し掛かったときの、注意案内を行います。

しない：踏切注意案内を行いません。

※ 初期値は「する」に設定されています。



合流注意案内を設定する

合流注意案内の設定を行います。

1 設定メニュー画面の案内設定にタッチする

踏切注意案内の設定を行います。



2 案内設定画面の「合流注意案内」を選択（タッチ）する



3 [する] または [しない] から選択する

する : 高速道路の合流地点に差し掛かったときの注意案内を行います。
しない : 合流注意案内を行いません。

※ 初期値は「する」に設定されています。



地図スケールの自動切り替え（誘導時縮尺）

高速道／一般道の地図スケール切り替えを設定します。

1 設定メニュー画面の案内設定にタッチする

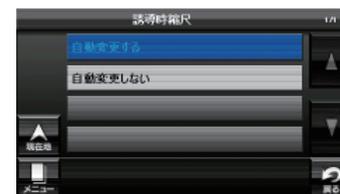
踏切注意案内の設定を行います。



2 案内設定画面の「誘導時縮尺」を選択（タッチ）する



3 [自動変更する] または [自動変更しない] から選択する



自動変更する : 高速道路になると、地図スケールが 200m に、高速道路から一般道へ戻ると、地図スケールが 50m に自動で切り替わります。

自動変更しない : 常に設定した地図スケールに固定されます。

※ 「デモ走行」を開始した場合や、目的地を探索するときは、表示される地図のスケールが固定されることがあります。

※ 初期値は「自動変更する」に設定されています。

※ 案内設定の全項目を初期値に戻す場合は、次の手順で行ってください。

- ・「ナビゲーションの設定を初期化する」(P.177)を参照。
- ・「メニューバー」→「設定」→「システム」→「設定初期化」→「案内設定」→「初期化」→「はい」をタッチする。

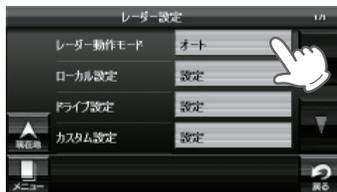
レーダー動作モードを設定する

「レーダー」「GPS」「無線」の各機能を個別に設定できます。

- 1 設定メニュー画面の  にタッチする
レーダー設定画面が表示されず。



- 2 「レーダー動作モード」をタッチする



- 3 [オート] [ローカル] [ドライブ] [カスタム] から選択する
※ 初期値は[オート]に設定されています。



ステータスバーに表示されるレーダー動作モードについて



別売のレーダーレーシーバーユニット (OP-RD1) を使用したときのみ、レーダー波を受信します。

※ ナビ案内画面が表示されているときは、表示しません。

選択項目	ステータスバー表示	受信感度モード
ローカル (ローカルモード)	Local Mode	白色 通勤時など、ふだんの生活圏内での使用を想定し、必要最低限の機能をあらかじめONにしていますが、「ローカル設定」で、お好みの設定内容に変更することができます。
ドライブ (ドライブモード)	Drive Mode	白色 ふだんの生活圏 (ローカルエリア外) へ遠出する場合を想定し、初期値は、必要とされる機能をあらかじめONにしていますが、「ドライブ設定」でお好みの設定内容に変更することができます。
カスタム (カスタムモード)	Custom Mode	白色 「カスタム設定」で、お好みの設定内容に変更することができます。
オート	Local Mode	黄色 「ローカルモード」と「ドライブモード」を自動で切り替えるモードです。設定したローカルエリア内では「ローカルモード」で動作し、ローカルエリア外になると、自動的に「ドライブモード」になり、また、ローカルエリア内に戻ると「ローカルモード」と自動的に切り替わります。「ローカルエリア」の登録 (P.86) をしていない場合は、[オート]を選択しても、常にドライブモードとなりローカルモードに切り替わりません。
	Drive Mode	

GPS ターゲットの表示・音声を設定する

お好みや使用環境により、それぞれの設定をカスタマイズすることができます。

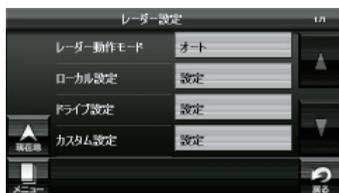
- 1** 設定メニュー画面  にタッチする
レーダー設定画面が表示されず。



- 2** 「ローカル設定」「ドライブ設定」「カスタム設定」から、設定する項目を選択して [設定] をタッチする

ローカルモードの設定内容を変更するときは「ローカル設定」、ドライブモードの設定内容を変更するときは「ドライブ設定」、カスタムモードの設定内容を変更するときは「カスタム設定」の項目を選択して [設定] をタッチします。

※ ローカルエリアの登録 (P.86) をしていない場合は、「オート」を選択しても常に「ドライブモード」となり、「ローカルモード」に切り替わりません。



- 3** 「GPS | 表示・音声」の [設定] をタッチする



<ローカル設定の例>

- 4** 変更したい項目の [ON] または [OFF] をタッチする

表示：ナビゲーション画面に GPS ターゲットの表示を「ON：表示する」「OFF：表示しない」を設定します。

音声：GPS ターゲットを音声で「ON：お知らせする」「OFF：お知らせしない」を設定します。



● GPS/表示・音声設定の初期値一覧

GPS ターゲット名	ローカル設定		ドライブ設定		カスタム設定	
	表示	音声	表示	音声	表示	音声
ループコイル (P.107)	ON	ON	ON	ON	ON	ON
LHシステム (P.107)	ON	ON	ON	ON	ON	ON
新Hシステム (P.107)	ON	ON	ON	ON	ON	ON
レーダー式オービス (P.107)	ON	ON	ON	ON	ON	ON
Nシステム (P.108)	OFF	OFF	ON	ON	ON	ON
通過告知 (P.108)		ON		ON		ON
取締エリア (P.108)	OFF	OFF	ON	ON	ON	ON
検問エリア (P.108)	OFF	OFF	ON	ON	ON	ON
マイエリア (P.84)	ON	ON	ON	ON	ON	ON
交通監視システム (P.109)	OFF	OFF	ON	ON	ON	ON
交差点監視 (P.109)	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON
信号無視抑止 (P.109)	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON
事故多発エリア (P.109)	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON
警察署 (P.109)	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON
道の駅 (P.109)	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON
サービスエリア (P.109)	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON
パーキングエリア (P.109)	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON
HW(ハイウェイ)オアシス (P.109)	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON
HW(ハイウェイ)ラジオ (P.109)	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON

GPS ターゲットの道路選択を設定する

GPS ターゲットのお知らせを、走行環境に合わせて設定することができます。

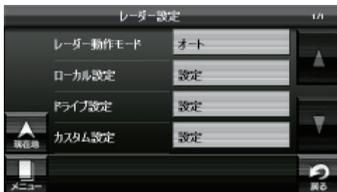
- 1 設定メニュー画面  にタッチする
レーダー設定画面が表示されず。



- 2 「ローカル設定」「ドライブ設定」「カスタム設定」から、設定する項目を選択して [設定] をタッチする

ローカルモードの設定内容を変更するときは「ローカル設定」、ドライブモードの設定内容を変更するときは「ドライブ設定」、カスタムモードの設定内容を変更するときは「カスタム設定」の項目を選択して [設定] をタッチします。

※ ローカルエリアの登録 (● P.86) をしていない場合は、「オート」を選択しても常に「ドライブモード」となり、「ローカルモード」に切り替わりません。



- 3 「GPS | その他」の [設定] をタッチする



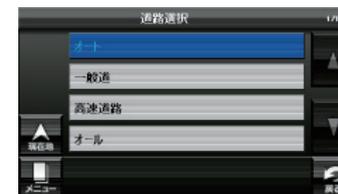
<ローカル設定の例>

- 4 「道路選択」をタッチする



- 5 [オート] [一般道] [高速道路] [オール] から道路を選択する

※ 初期値は「オート」に設定されています。



● GPS ターゲットの道路選択設定内容

オート	一般道と識別できたときは、一般道のターゲットのみ警報し、高速道と識別できたときは、高速道のターゲットのみ警報します。 ・認識が困難な状況や認識中の場合は、一般道/高速道の両方のターゲット表示・警報になることがあります。 ・GPS測位が困難な状況では、正しく識別できない場合があります。 ・高速道に乗っている時間が短い場合は、高速道に判定されないことがあります。 ・渋滞等により高速道で低速走行または停車している場合は、高速道に判定されません。
一般道	一般道のターゲットのみ警報します。
高速道路	高速道のターゲットのみ警報します。
オール (全道路)	一般道および高速道のすべてのターゲットを警報します。

レーダー波受信時の表示・音声を設定する

別売のレーダーレーシーバーユニット (OP-RD1) を使用したときのみ、レーダー波を受信します。

GPS ターゲットのお知らせを、走行環境に合わせて設定することができます。

1 設定メニュー画面にタッチする

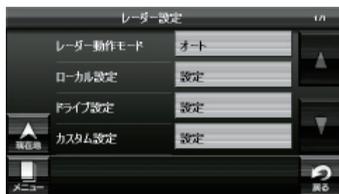
レーダー設定画面が表示されます。



2 「ローカル設定」「ドライブ設定」「カスタム設定」から、設定する項目を選択して[設定]をタッチする

ローカルモードの設定内容を変更するときは「ローカル設定」、ドライブモードの設定内容を変更するときは「ドライブ設定」、カスタムモードの設定内容を変更するときは「カスタム設定」の項目を選択して[設定]をタッチします。

※ ローカルエリアの登録 (P.86) をしていない場合は、「オート」を選択しても常に「ドライブモード」となり、「ローカルモード」に切り替わりません。



3 「レーダー波|表示・音声」の[設定]をタッチする



＜ローカル設定の例＞

4 変更したい項目の[ON] または [OFF] をタッチする

表示：通常レーダー波・ステルス波受信時、ナビゲーション画面に表示を「ON：表示する」「OFF：表示しない」を設定します。

音声：通常レーダー波・ステルス波受信時、音声で「ON：お知らせする」「OFF：お知らせしない」を設定します。

※ 初期値は[表示：ON]、[音声：ON]に設定されています。



レーダー波受信時の受信感度モードを設定する

別売のレーダーレーシーバーユニット (OP-RD1) を使用したときのみ、レーダー波を受信します。

受信感度が高いほど、遠くの電波を受信できますが、取締りレーダー波と同じ他の電波も受信してしまいます。

走行環境や条件に合わせて、受信感度をお選びください。

1 設定メニュー画面にタッチする

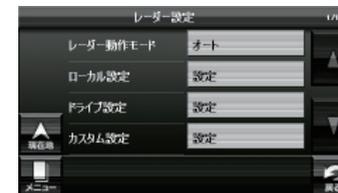
レーダー設定画面が表示されます。



2 「ローカル設定」「ドライブ設定」「カスタム設定」から、設定する項目を選択して[設定]をタッチする

ローカルモードの設定内容を変更するときは「ローカル設定」、ドライブモードの設定内容を変更するときは「ドライブ設定」、カスタムモードの設定内容を変更するときは「カスタム設定」の項目を選択して[設定]をタッチします。

※ ローカルエリアの登録 (P.86) をしていない場合は、「オート」を選択しても常に「ドライブモード」となり、「ローカルモード」に切り替わりません。

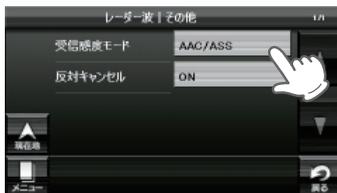


3 「レーダー波|その他」の[設定]をタッチする



<ローカル設定の例>

4 「受信感度モード」をタッチする



5 [シティ][エクストラ][スーパーエクストラ][AAC/ASS][AAC/SE] から、受信感度モードを選択する



レーダー波の受信感度モードについて

受信感度が高いほど、遠くの電波を受信でき、また新Hシステムなどの受信には有効となりますが、取締りレーダー波と同じ他の電波も受信してしまいます。走行環境や条件に合わせて、受信感度をお選びください。

● 受信感度モードの表示

選択項目	ステータスバー表示 (P.104)	受信感度モード	
シティ	City	低い	市街地用の感度に固定されます。
エクストラ	Extra	↓	郊外や高速道路用に固定されます。
スーパーエクストラ	Super Extra	高い	高速道路用に固定されます。
AAC/ASS (☛下記)	Disable (時速30km未満)	自動 選択	時速30km未満では警報をカットし、時速30km以上では速度に応じて感度が変化します。
	Ctiy、Extra、Super Extra (車速により変化)		
AAC/SE	Disable (時速30km未満)	固定	時速30km未満では警報をカットし、時速30km以上ではスーパーエクストラ(超高感度)に固定されます。
	Super Extra (時速30km以上)		

「AAC/ASS」について

GPSによる速度検出機能により、AAC (不要警報カット) や ASS (最適感度選択) が働きます。

● AAC(不要警報カット)

走行速度が時速 30km 未満の場合は…

取締りレーダー波を受信しても、レーダー警報をカットしますので、停車中や低速走行中に、自動ドアなどの電波を受信しても、誤警報することはありません。

※ GPS の電波が受信できない状態では、AAC (不要警報カット) は働きません。

● ASS(最適感度選択)

走行速度が時速 30km 以上の場合は…

走行速度に合わせて、最適な受信感度を自動的に選択します。

※ GPS の電波が受信できない状態では、ASS (最適感度選択) は働きません。

走行速度	受信感度
30 ~39km	シティ
40 ~79km	エクストラ
80km ~	スーパーエクストラ

「AAC/ASS」の動作

時速	30km	40km	60km	80km
車の状態	停止 停車	走行中	走行中	走行中
警報状態	警報しない	警報する	警報する	警報する
受信感度モード		シティ	エクストラ	スーパーエクストラ

「AAC/SE」の動作

走行速度が時速 30km 未満は、レーダー波警報をカット (AAC) し、時速 30km 以上は、受信感度がスーパーエクストラに固定されます。

レーダー波受信時の反対車線オービスキャンセル機能を設定する

別売のレーダーレーシーバーユニット (OP-RD1) を使用したときのみ、レーダー波を受信します。

本機が搭載する GPS データの中で、レーダー式オービス・新Hシステムポイントの反対車線における、レーダー受信警報をキャンセルする機能です。

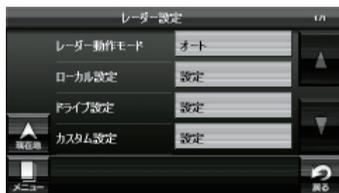
- 1 設定メニュー画面  にタッチする
レーダー設定画面が表示されます。



- 2 「ローカル設定」「ドライブ設定」「カスタム設定」から、設定する項目を選択して [設定] をタッチする

ローカルモードの設定内容を変更するときは「ローカル設定」、ドライブモードの設定内容を変更するときは「ドライブ設定」、カスタムモードの設定内容を変更するときは「カスタム設定」の項目を選択して [設定] をタッチします。

※ ローカルエリアの登録 (P.86) をしていない場合は、「オート」を選択しても常に「ドライブモード」となり、「ローカルモード」に切り替わりません。



- 3 「レーダー波 | その他」の [設定] をタッチする



<ローカル設定の例>

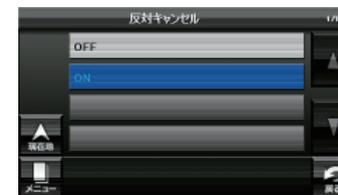
- 4 「反対キャンセル」をタッチする



- 5 変更したい項目の [ON] または [OFF] をタッチする

- ON : 反対車線における、レーダー受信警報を行いません。
- OFF : 反対車線における、レーダー受信警報をします。

※ 初期値は「ON」に設定されています。



無線機能の表示・音声を設定する

別売のレーダーレーシーバーユニット (OP-RD1) を使用したときのみ、無線を受信します。

無線受信時のお知らせを設定することができます。

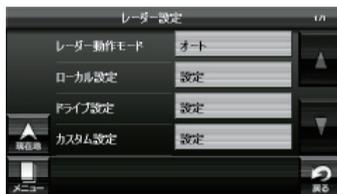
- 1 設定メニュー画面  にタッチする
レーダー設定画面が表示されます。



2 「ローカル設定」「ドライブ設定」「カスタム設定」から、設定する項目を選択して[設定]をタッチする

ローカルモードの設定内容を変更するときは「ローカル設定」、ドライブモードの設定内容を変更するときは「ドライブ設定」、カスタムモードの設定内容を変更するときは「カスタム設定」の項目を選択して[設定]をタッチします。

※ ローカルエリアの登録(●P.86)をしていない場合は、「オート」を選択しても常に「ドライブモード」となり、「ローカルモード」に切り替わりません。



3 「無線|表示・音声」の[設定]をタッチする



<ローカル設定の例>

4 変更したい項目の[ON] または [OFF] をタッチする

表示：無線受信時、ナビゲーション画面に無線ターゲットの表示を「ON：表示する」「OFF：表示しない」を設定します。

音声：無線受信時、音声で「ON：お知らせする」「OFF：お知らせしない」を設定します。



● 無線 / 表示・音声設定の初期値一覧

無線の警報・警告・告知機能は、次の3つのモードが選択できます。

無線ターゲット名	ローカル設定		ドライブ設定		カスタム設定	
	表示	音声	表示	音声	表示	音声
カーロケ無線 (●P.115)	ON	ON	ON	ON	ON	ON
取締無線 (●P.116)	ON	ON	ON	ON	ON	ON
デジタル無線 (●P.116)	OFF	OFF	ON	ON	ON	ON
ヘリテレ無線 (●P.116)	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON
取締特小無線 (●P.116)	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON
警察電話 (●P.116)	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON
警察活動無線 (●P.116)	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON
署活系無線 (●P.116)	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON
消防無線 (●P.116)	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON
消防ヘリテレ無線 (●P.117)	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON
レッカー無線 (●P.117)	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON
新救急無線 (●P.117)	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON
高速道路無線 (●P.117)	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON
警備無線 (●P.117)	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON
取締注意 (●P.118)	ON	ON	ON	ON	ON	ON
検問注意 (●P.118)	ON	ON	ON	ON	ON	ON

無線の受信感度モードを設定する

別売のレーダーレーシーバーユニット (OP-RD1) を使用したときのみ、無線を受信します。

無線受信時の受信感度モードを設定することができます。

1 設定メニュー画面にタッチする

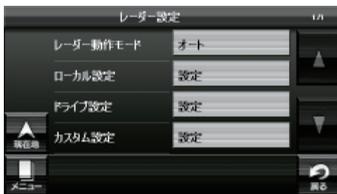
レーダー設定画面が表示されます。



2 「ローカル設定」「ドライブ設定」「カスタム設定」から、設定する項目を選択して「設定」をタッチする

ローカルモードの設定内容を変更するときは「ローカル設定」、ドライブモードの設定内容を変更するときは「ドライブ設定」、カスタムモードの設定内容を変更するときは「カスタム設定」の項目を選択して「設定」をタッチします。

※ ローカルエリアの登録 (P.86) をしていない場合は、「オート」を選択しても常に「ドライブモード」となり、「ローカルモード」に切り替わりません。



3 「無線 | その他」の「設定」をタッチする



<ローカル設定の例>

4 [Lo] または [Hi] を選択する

Lo: 無線の受信感度を低くします。

Hi: 無線の受信感度を高くします。

※ 初期値は「Lo」に設定されています。



※ レーダー設定の全項目を初期値に戻す場合は、次の手順で行ってください。

- ・「ナビゲーションの設定を初期化する」(P.177) を参照。
- ・「メニューバー」→「設定」→「システム」→「設定初期化」→「レーダー設定」→「初期化」→「はい」をタッチする。

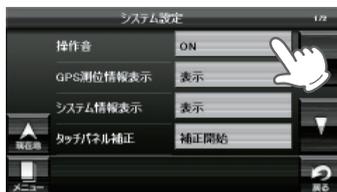
操作音を設定する

操作音(ナビゲーション画面のタッチ音)を設定することができます。

- 1 設定メニュー画面  にタッチする
システム設定画面が表示されず。



- 2 「操作音」をタッチする



- 3 [ON] または [OFF] から選択する
ON：操作音が鳴ります。
OFF：操作音を鳴らなくします。
※ 初期値は「ON」に設定されています。



GPS 測位情報を表示する

GPS 測位情報を表示することができます。(☞ P.39)

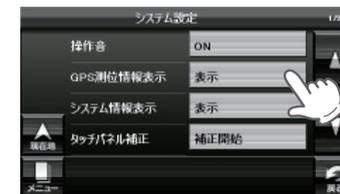
- 1 設定メニュー画面  にタッチする
システム設定画面が表示されず。



- 2 「GPS 測位情報表示」をタッチする

GPS 測位情報が表示されます。(☞ P.39)

※ 画面にタッチすると、GPS 測位情報表示が消えます。



システム情報を見る

ナビゲーションのシステム情報を確認することができます。

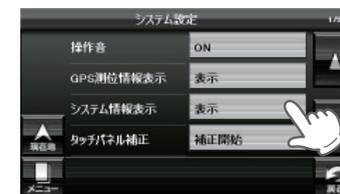
- 1 設定メニュー画面  にタッチする
システム設定画面が表示されず。



- 2 「システム情報表示」をタッチする

ソフトウェアのバージョンなどが表示されます。

※ [OK] にタッチすると、システム情報表示が消えます。



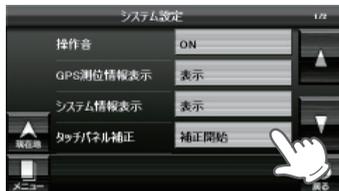
タッチパネルを補正する

画面をタッチしたときの反応が悪い場合やズレがある場合、次の手順でタッチパネルの補正を行ってください。

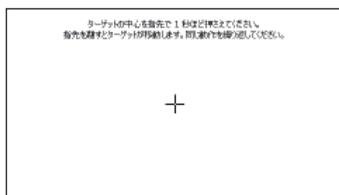
- 1 設定メニュー画面  にタッチする
システム設定画面が表示されます。



- 2 「タッチパネル補正」をタッチする
タッチパネル補正画面が表示されます。画面にはターゲット（) が移動しています。



- 3 移動するターゲットにタッチする
画面が補正されます。



- 4 もう一度、画面をタッチする
新しい設定に変わります。
30秒経過すると、元の画面に戻ります。



ナビゲーションの設定を初期化する

ナビゲーションに関する設定の初期化を行います。

- 1 設定メニュー画面  にタッチする
システム設定画面が表示されます。



- 2 「設定初期化」をタッチする
設定初期化画面が表示されます。



- 3 初期化したい項目を選択して「初期化」をタッチする
例) 表示音声設定を初期化する
※「ローカルエリア」、「キャンセルポイント」、「走行軌跡」の初期化、「工場出荷時に戻す」場合は、[▽]にタッチしたあと、初期化したい項目を選択して、「初期化」(「工場出荷時に戻す」)をタッチしてください。

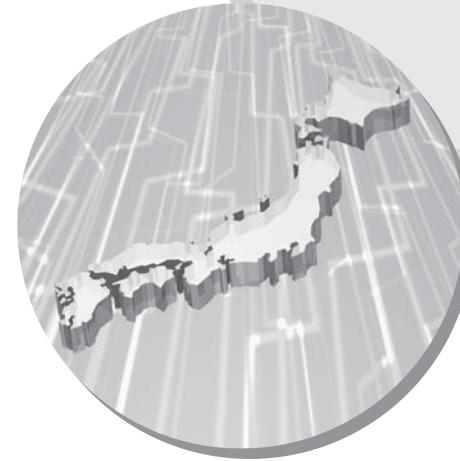


<設定初期化画面>

- 4 「はい」をタッチする
初期化したい設定ごとに手順3、4を繰り返します。
※いったん設定を初期化すると、元には戻せませんのでご注意ください。



ログビューア ミュージックプレーヤー ピクチャービューア



☆ ログビューア (Log Viewer) とは…

ナビゲーション起動中に、走行した軌跡をmicroSDカードに保存し、ログビューア上で確認することができます。
microSDカードに保存したデータは、PCソフト (ATLAS TOUR) 上でも確認することができます。

☆ ミュージックプレーヤー (Music Player) とは…

音楽再生機能であり、MP3とWMA (Windows Media Audio) 形式の音楽データファイルを本機で再生 (聴くこと) ことができます。

☆ ピクチャービューア (Picture Viewer) とは…

画像を見る機能で、デジタルカメラなどで撮影したBMP (ビットマップ) ・JPEG (ジェイペグ) ・PNG (ピーエヌジー) 形式の画像データを表示させることや複数の画像を一つずつ順番に表示させる (スライドショー) ことができます。

ログビューア (Log Viewer)、ミュージックプレーヤー (Music Player)、ピクチャービューア (Picture Viewer) を使用 (起動) する前には、下記の準備を行い、パソコンを利用して、MP3・WMA 形式の音楽データファイルやデジタルカメラなどで撮影した BMP・JPEG・PNG 形式の画像データファイルを、microSD カードへ保存してください。

準備するもの

● microSD カード



- ※ 市販の 2GB 以下の microSD カードまたは、8GB 以下の microSDHC カードをご用意 (別途ご購入) ください。
- ※ microSD との相性による動作の不具合については保証いたしかねます。
- ※ microSD カードは、本機専用でご使用ください。
- ※ 予期せぬ不具合等で、microSD カード内のデータがすべて消えてしまう可能性もあります。万が一に備え、バックアップをとっておくこと (PC や別の媒体へデータをコピーしておくこと) をお勧めいたします。なお、データを失ってしまっても、弊社では責任を負いかねます。

● 市販の SD カードまたは microSD カード、microSDHC カードリーダーライター

- ※ 使用する microSD カード、microSDHC カードの容量に対応していることをご確認ください。
- ※ SD メモリーカードスロットを備えたパソコンの場合は、必要ありません。(使用する microSD カード、microSDHC カードの容量に対応している場合)
- ※ SD カードリーダーライターや、パソコンの SD メモリーカードスロットを使用する場合は、SD カード変換アダプターが必要となります。

● MP3・WMA 形式の音楽データファイルやデジタルカメラなどで撮影した BMP・JPEG・PNG 形式の画像データファイル

microSD カードへの保存

※ 本機は microSD カードへの MP3・WMA 形式の音楽データファイルの収録機能はありません。あらかじめパソコンなどで MP3・WMA 形式の音楽データファイルを作成してください。

MP3・WMA 形式の音楽データファイルや BMP・JPEG・PNG 形式の画像データファイルを、microSD カードへ保存します。

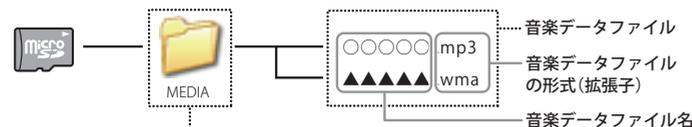
① リーダーライターをパソコンに接続する

② microSD カードをリーダーライターに挿入する

※ SD カードリーダーライターや、パソコンの SD メモリーカードスロットを使用する場合は、SD カード変換アダプターを取り付けたあと、挿入してください。

③ microSD カードに MEDIA (音楽データファイル用) と DCIM (画像データファイル用) のフォルダを作成する (P.181)

MP3・WMA 形式の音楽データファイルを microSD カードへ保存する場合

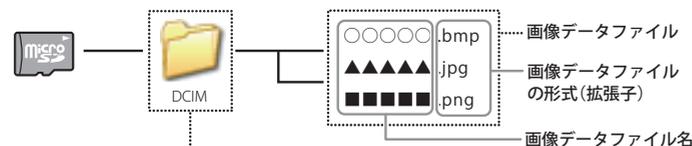


リムーバブルディスクを開き、フォルダを新規作成したあと、下記のようにフォルダ名を変更してください。

- フォルダ名
「新しいフォルダ」から「MEDIA」に名前を変更

- ・対応形式 (拡張子) : MP3 (.mp3) ・ WMA (.wma)
- ※ MP3・WMA 形式の音楽データファイルには「.mp3」・「.wma」の拡張子がついております。
- ・再生可能なサンプリング周波数 : 最大 48kHz まで (P.183)
- ※ 推奨は最大 44.1kHz まで。
48kHz の場合は処理負荷が重くなり、本機の動作が鈍くなることがあります。
- ・再生可能なビットレート : 最大 320kbps まで (P.183)
- ・チャンネル数 : 2ch まで (ステレオ音声)
- ・フォルダ名は「MEDIA」(半角大文字) または、「media」(半角小文字)
- ・microSD カードに保存可能な音楽データファイル数 : 最大 1000 まで (使用する microSD カードの容量を超えない場合)
- ※ 1000 以上の音楽データファイル (例 : 1100 個の音楽データファイル) を microSD カードに保存し、本機で使用した場合、1000 以降 (1001 ~ 1100 個目まで) の音楽データファイルは認識することができません。
- ・ファイル名の名称で、使用できる文字は下記となります。
A ~ Z (全角/半角)、0 ~ 9 (全角/半角)、(アンダーライン)、全角漢字 (JIS 第 2 水準まで)、ひらがな、カタカナ (全角/半角)

BMP・JPEG・PNG 形式の画像データファイルを microSD カードへ保存する場合



リムーバブルディスクを開き、フォルダを新規作成したあと、下記のようにフォルダ名を変更してください。

- フォルダ名
「新しいフォルダ」から「DCIM」に名前を変更

ミュージックプレーヤー
ピクチャービューア

ミュージックプレーヤー
ピクチャービューア

- ・対応形式(拡張子)：BMP(.bmp)・JPEG(.jpg)・PNG(.png)
- ※ BMP・JPEG・PNG形式の画像データファイルには「.bmp・.jpg・.png」の拡張子がついており
ます。
- ・フォルダ名は「DCIM」(半角大文字)または、「dcim」(半角小文字)
- ・microSDカードに保存可能な画像データファイル数：最大1000まで
- ・(使用するmicroSDカードの容量を超えない場合)
- ※ 1000以上の画像データファイル(例：1100個の画像データファイル)をmicroSDカードに保
存し、本機でを使用した場合、1000以降(1001～1100個目まで)の画像データファイルは認識
することができません。
- ・ファイル名の名称で、使用できる文字は下記となります。
A～Z(全角/半角)、0～9(全角/半角)、(アンダーライン)、全角漢字(JIS第2
水準まで)、ひらがな、カタカナ(全角/半角)
- ・下記の最大ピクセル数(幅、高さ)やファイルサイズを超えたBMP・JPEG・PNG
形式の画像データファイルの場合、本機で画像を表示することができません。
(P.201)
 - ・最大ピクセル数(幅)：4500ピクセル
 - ・最大ピクセル数(高さ)：4500ピクセル
 - ・最大ファイルサイズ：16MB

④ MP3・WMA形式の音楽データファイルやBMP・JPEG・PNG形式の画像データフ
ァイルを、microSDカードへ保存する

再生できるMP3・WMA形式の音楽データファイルについて

MP3とは？

MP3(MPEG-1 Audio Layer 3)は、元のファイルを最大約1/10のサイズに圧縮する音
声圧縮技術に関するフォーマットの1つです。

WMAとは？

WMAデータは、音声データをMP3よりも高い圧縮率(約半分)で音楽データファ
イルを作成・保存することができ、Windows Media Playerを使用して作成する
ことができます。

WMA(Windows MediaTM Audio)は米国Microsoft Corporationによって開発された
音声圧縮技術です。

音楽データファイル名について

- ・MP3/WMA形式の音楽データと認識し音楽を再生(聴く)ことができるファイルは
MP3の拡張子“MP3”/WMAの拡張子“WMA”が付いたものだけです。
- ・MP3形式の音楽データファイルには“MP3”または“mp3”、WMA形式の音楽デ
ータファイルには“WMA”または“wma”の拡張子を付けて保存してください。
- ※ MP3形式以外の音楽データファイルに“MP3”の拡張子またはWMA形式以外の音楽デ
ータファイルに“WMA”の拡張子を付けると、MP3・WMA形式の音楽データファイルと
誤認識して、大きな音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3・WMA形
式の音楽データファイル以外には“MP3”/“WMA”の拡張子を付けないでください。
MP3・WMA以外の形式の音楽データファイルは動作を保証していません。

MP3・WMA形式の音楽データファイルの対応規格

- ・MP3形式：MPEG-1 Audio Layer 3
- ・WMA形式：Windows Media Audio

● 再生可能なサンプリング周波数・ビットレート

<MP3>

	MPEG1
サンプリング周波数(kHz)	
32.000	○
44.100	○
48.000	△(※1)
ビットレート(kbps)	
32	○
40	○
48	○
56	○
64	○
80	○
96	○
112	○
128	○
160	○
192	○
224	○
256	○
320	○
VBR(※2)	○

<WMA>

	WMA7	WMA9
サンプリング周波数(kHz)		
32.000	○	○
44.100	○	○
48.000	—	△(※1)
ビットレート(kbps)		
48	○	○
64	○	○
80	○	○
96	○	○
128	○	○
160	○	○
192	○	○
256	—	○
320	—	○
VBR(※2)	—	○

※1 処理負荷が重くなり、本機の動作が鈍くなることがあります。

※2 VBR：可変ビットレート

- ・DRMには対応していません。(デジタル著作権管理)
- ・Windows Media Audio Standard フォーマット(形式)以外のフォーマット(形式)に
は対応していません。
- ・一般的にビットレートが高くなるほど音質は良くなります。一定の音質で音楽を
楽しんでいただくためには、MP3形式の音楽データでは128kbps、WMA形式の
音楽データではできるだけ高いビットレートで記録されたファイルの使用をおす
すすめします。
- ・VBRに対応しています。
- ・フリーフォーマットや可逆圧縮フォーマットには対応していません。
- ・MP3 PRO フォーマットには対応していません。

ID3 タグについて

音楽データファイルに ID3 タグとして、アーティスト名、タイトルが登録されている場合、ミュージックプレーヤーの画面 (P.192) にアーティスト名、タイトルが表示されます。

※ 本機は ID3v.1.0、ID3v.1.1、ID3v.2.2、ID3v.2.3 の ID3 タグに対応しております。

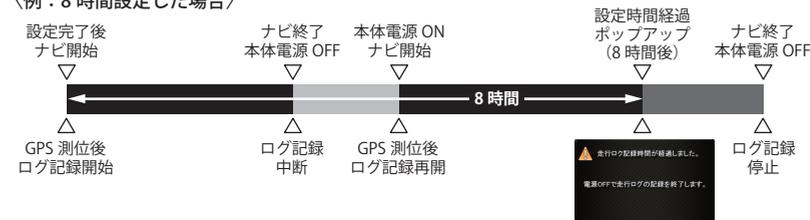
※ ID3 タグの情報を見るには、エクスプローラの画面で MP3 形式のファイルを選択し、右クリックメニューの「プロパティ」で「概要」タブを開き、「詳細設定」ボタンをクリックすると、記録されている ID3 タグ情報が表示されます。(Windows XP の場合)

- 本機では著作権保護された MP3・WMA 形式の音楽データファイルは再生することができず、ミュージックプレーヤーの画面 (P.192) に「このファイルは再生できません」と表示されます。

著作権保護とは著作権者の財産的利益を保護するための権利です。著作権の内容については、著作権法で具体的に定められています。著作権を侵害した場合は、損害賠償の責任が生じるほか、著作権法に定める刑事罰が適用されることもあります。

ログ記録時間を設定すると、ナビ動作時に走行軌跡を microSD カードに記録します。ログ記録時間設定後、GPS を測位した時刻から設定時間経過後に電源を OFF するまで、ログ記録を行います。

〈例：8 時間設定した場合〉



※ 記録時間を 8 時間に設定した場合、途中でログ記録を中断しても、ログ記録開始時刻から 8 時間後に設定時間経過のポップアップが表示されます。

※ 設定時間経過のポップアップが表示されても、本体電源を OFF にしないと、ログ記録は継続されます。

ログビューア (Log Viewer) を起動するには

ナビやピクチャービューアを同時に起動することはできません。(P.32)

- 1 本体の microSD カード挿入口へ microSD カードを取り付ける (P.23)

※ あらかじめ USB ケーブルや別売の AC アダプター (OP-E368) を外し、microSD カードを取り付けてください。

- 2 電源を入れ、メインメニュー (Main Menu) 画面を表示させる

※ メインメニュー画面が表示していない場合は、本体上部のメインメニューボタン (P.15) を押してください。



- 3 メインメニュー画面の [Log Viewer] をタッチする



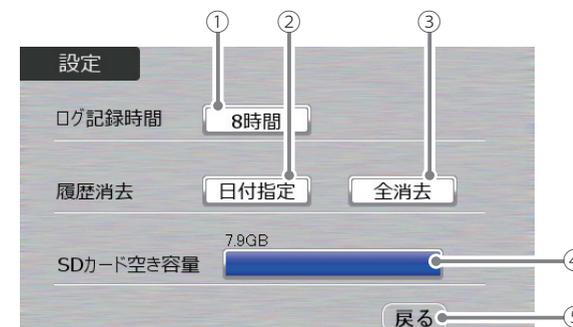
ログビューア (Log Viewer) の走行履歴画面について



No.	表示名	詳細
①	戻る	走行履歴画面に戻ります。
②	拡大	地図スケールを拡大できます。
③	縮小	地図スケールを縮小できます。
④	スライダー	地図スケールを変更できます。
⑤	軌跡	走行軌跡を赤で表示します。

設定画面について

No.	表示名	詳細
①	カレンダー	一ヶ月分のカレンダーを表示します。 ※microSDカードに記録されている走行履歴で、もっとも新しいログを記録した月のカレンダーを表示します。
②	切り替え	カレンダーの表示月を切り替えます。
③	履歴	走行履歴のある日付です。 タッチすることで、その日の走行履歴を地図表示します。
④	設定	設定画面を表示します。
⑤	終了	Log Viewerを終了します。



No.	表示名	詳細
①	ログ記録時間	記録時間は、OFF/8時間/12時間/24時間の4パターンより選択できます。※初期値は、「OFF」に設定されています。
②	日付別履歴消去	日付単位で履歴データを消去できます。
③	全履歴消去	全履歴データを消去できます。
④	SDカード空き容量	SDカードの空き容量を表示します。 「microSDカードが認識できません。」と表示されている場合は、microSDカードが正しく装着されていることを確認してください。
⑤	戻る	走行履歴画面に戻ります。

※本体にmicroSDカードが取り付けられていない場合は、設定を行っても走行履歴は保存されません。

走行履歴の表示画面について



走行履歴を見る

1 走行履歴を表示したい日付をタッチする

● 表示がある日付が、走行履歴がある日付になります。

※ ログ記録データは日付毎に保存されます。



2 走行軌跡が表示される

地図スケールを変更したり、地図を移動させることができます。



走行履歴を削除する(日付別)

1 [設定]をタッチする



2 [日付指定]をタッチする



3 削除したい履歴をタッチする



4 [はい]をタッチする



5 消去が完了する

履歴消去完了ポップアップを約5秒間表示し、消去を完了します



6 [戻る]をタッチすると設定画面にもどる



ログビューア
ミュージックプレーヤー
ブックチャイムビューア

ログビューア
ミュージックプレーヤー
ブックチャイムビューア

走行履歴を削除する(全履歴)

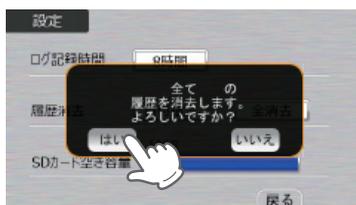
1 [設定] をタッチする



2 [全消去] をタッチする

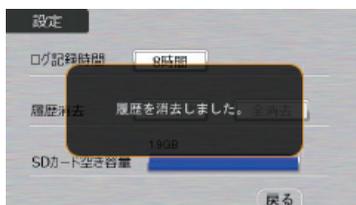


3 [はい] をタッチする



4 消去が完了する

履歴消去完了ポップアップを約5秒間表示し、消去を完了します



ミュージックプレーヤー (Music Player) を起動/再生するには

※ ピクチャービューア (Picture Viewer) を同時に起動することはできません。(P.32)
 ※ 本機は microSD カードへの MP3・WMA 形式の音楽データファイルの収録機能はありません。
 あらかじめパソコンなどで MP3・WMA 形式の音楽データファイルを作成してください。

1 MP3・WMA 形式の音楽データファイルを microSD カードへ保存したあと、本体の microSD カード挿入口 (P.23) に取り付ける

※ MP3・WMA 形式の音楽データファイルの保存方法については、P.181 を参照ください。
 ※ あらかじめ USB ケーブルや別売の AC アダプター (OP-E368) を外し、microSD カードを取り付けてください。

2 電源を入れ、メインメニュー (Main Menu) 画面 (P.30) を表示させる

※ メインメニュー画面が表示していない場合は、本体上部のメインメニューボタン (P.15) を押してください。

3 メインメニュー画面の [Music Player] をタッチする

※ ミュージックプレーヤー (Music Player) の画面が表示されます。

4 [はい] をタッチする (プレイリストの自動生成が行われます)

初めてミュージックプレーヤー (Music Player) を使用する場合や、別の microSD カードに入れ替わった場合、また、メインメニュー (Main Menu) のオプション画面 (P.31) において、全設定初期化を行った場合、「SD カードが入れ替わりました。プレイリストを自動で生成しますか?」と表示されますので、[はい] をタッチしてください。



※ [はい] にタッチしなかった場合や [いいえ] にタッチした場合、プレイリストの自動生成が行われず、画面が消えます。

※ プレイリストの自動生成を行わなかった場合、ミュージックプレーヤーの再生ができませんので、P.195 の手順で、プレイリストの編集を行ってください。

5 ミュージックプレーヤー (Music Player) の画面 (P.192) が表示されたら、[再生] をタッチする

ミュージックプレーヤー (Music Player) の再生が始まります。

※ ミュージックプレーヤー (Music Player) を使用中は、microSD カードを抜かないでください。

ミュージックプレーヤー (Music Player) の画面について



※ 音楽データファイルにID3タグ(●P.184)として、アーティスト名、タイトルが登録されている場合、アーティスト名、タイトルが表示されます。

No.	表示名	詳細
①	早送り、巻き戻り	再生中の曲を早送り、巻き戻します。 ・ [早送り] にタッチした状態で、右にスライドすると早送り、左にスライドすると巻き戻します。  巻き戻し ← → 早送り
②	トラップ	[前] にタッチすると、前の曲に戻ります。 [次] にタッチすると、次の曲に進みます。
③	再生	曲を再生します。
④	一時停止	再生中の曲を一時停止します。 一時停止を解除するときは、再生ボタンを押してください。
⑤	停止	再生中の曲を停止します。
⑥	終了	ミュージックプレーヤー (Music Player) を終了し、メインメニュー (Main Menu) に切り替えます。
⑦	音量	ミュージックプレーヤー (Music Player) の音量を調整します。  [音量大] ↑ [音量小] ↓ ●音量レベル

No.	表示名	詳細
⑧	「Play List」 (プレイリスト)	Play List (プレイリスト) の画面が表示されます。 ・ micro SDカードを本体に挿入していない場合や、MP3・WMA形式の音楽データファイルがmicroSDカードに保存されていない場合は表示されません。
⑨	「Tone Control」 (トーンコントロール)	トーンコントロール (イコライザー、音のバランス設定) の画面を表示します。(●P.197)
⑩	「Option」 (オプション)	ミュージックプレーヤー (Music Player) のオプション (Option) 画面を表示します。(●P.198)

※ プレイリストの自動生成(●P.191)を行っていない場合、Play List (再生リスト) に何も記載されず、音楽再生ができません。⑧の [Play List] にタッチして、Play List (プレイリスト) の画面を表示させたあと、プレイリストの編集(●P.195)または、ミュージックプレーヤー (Music Player) を再起動して、プレイリストの自動生成を行ってください。

※ microSD カードへ新たに MP3・WMA 形式の音楽データファイルを追加保存した場合、Play List (プレイリスト) の画面を表示させたあと、プレイリストの編集を行ってください。なお、microSD カード内の MP3・WMA 形式の音楽データファイルを個別削除した場合は、「全音楽データをプレイリストへ追加する」(●P.195) または、「再生の必要がない楽曲をプレイリストから個別に除外 (削除) する」(●P.196) を行ってください。

※ microSD カードに MP3・WMA 形式の音楽データファイルが保存されていない場合、⑧の [Play List] にタッチしても、Play List (プレイリスト) の画面は表示されません。

Play List (プレイリスト) の画面について



No.	表示名	詳細
①	SDカード	microSDカードに保存されている音楽データファイルを表示します。

No.	表示名	詳細
②	再生	microSDカードに保存されている音楽データファイルを再生します。(●P. 195)
③	「プレイリストに全部追加」 ※ プレイリストを編集するときに使います。	microSDカードに保存されている全音楽データファイルを⑦のプレイリストに追加します。(●P. 195) ※microSDカードの音楽データファイルを本体にコピーする訳ではありませんので、ミュージックプレーヤー (Music Player) を使用中は、microSDカードを抜かないでください。
④	「上に移動」 「下に移動」	<ul style="list-style-type: none"> ・ [上に移動] をタッチすると、⑦のプレイリストを再生する順番を上へ移動します。(●P. 196) ・ [下に移動] をタッチすると、⑦のプレイリストを再生する順番を下へ移動します。(●P. 196)
⑤	「プレイリストに追加」 ※ プレイリストを編集するときに使います。 「プレイリストから削除」	<ul style="list-style-type: none"> ・ [プレイリストに追加] をタッチすると、microSDカードに保存されている音楽データファイルを個別に⑦のプレイリストへ追加します。(●P. 195) ・ [プレイリストから削除] をタッチすると、ミュージックプレーヤー (Music Player) の画面 (●P. 192) で再生の必要がない楽曲を⑦のプレイリストから個別に除外します。(●P. 196) <p>※microSDカードに保存の音楽データファイルを本体にコピーする訳ではありませんので、ミュージックプレーヤー (Music Player) を使用中は、microSDカードを抜かないでください。</p>
⑥	戻る	ミュージックプレーヤー (Music Player) の画面に戻ります。
⑦	プレイリスト	<p>ミュージックプレーヤー (Music Player) の画面で音楽再生するリスト (プレイリスト) を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 番号「1」から再生が行われます。 ※ プレイリストの自動生成 (●P. 191) を行っていない場合、プレイリストに何も記載されず、音楽再生ができません。[Play List] をタッチしたあと、プレイリストの編集 (●P. 195) または、ミュージックプレーヤー (Music Player) を再起動して、プレイリストの自動生成を行ってください。 <p><音楽データファイルの再生順序について> 音楽データファイル名によって再生順序が決定されます。ファイル名読み取りの優先順位は次の通りとなります。</p> <p>「数字：01,02,03・・・」 ↓ 「アルファベット：a,A,b,B,c,C・・・」 ↓ 「その他：仮名(ア、あ、イ、い、ウ、う・・・)」</p>

microSD カードに保存されている音楽の再生方法について

1 microSD カードに保存されている音楽データファイルの中から、再生したい曲をタッチ (選択) する



2 [再生] をタッチする

選択した曲が流れ、試聴することができます。

※ 違う曲を再生したいときは、①の操作からやり直してください。

プレイリストの編集について

ミュージックプレーヤー (Music Player) の画面上で、音楽再生する曲や曲順を選んで設定することができます。

● 音楽データを個別にプレイリストへ追加する

1 microSD カードに保存されている音楽データファイルの中から、プレイリストに追加したい曲をタッチ (選択) する



2 [プレイリストに追加] をタッチする

選択した曲がプレイリストに追加されます。

※ 違う曲をプレイリストに追加したいときは、①の操作からやり直してください。

● 全音楽データをプレイリストへ追加する

1 [プレイリストに全部追加] をタッチする

再生の必要がない楽曲をプレイリストから個別に除外(削除)する

※ 全削除の操作を行うことはできません。

1 プレイリストから削除したい曲をタッチ(選択)する



2 [プレイリストから削除]をタッチする

選択した曲がプレイリストから除外されます。

※ 違う曲をプレイリストから除外したいときは、①の操作からやり直してください。

プレイリストの再生する順番を変更する方法について

例) 1番目に再生の曲を2番目に変更する

1 「1番目」の曲をタッチ(選択)する

2 [下へ移動]をタッチする

1番目の再生曲が2番目に入れ替わります。



トーンコントロール(Tone Control)の画面について



No.	表示名	詳細
①	イコライザー (EQ)	イコライザー機能のON/OFFを行います。 ・再生の際、音(低音域、中音域、高音域)を補正して聴きたいときは、本設定をONにしておいてください。  : イコライザー機能ON  : イコライザー機能OFF
②	イコライザー調整	イコライザーを調整(低音域、中音域、高音域)を補正します。 ・低音域(440Hz)/中音域(3kHz)/高音域(12kHz)の3つをレベル調整することができます。  : レベルアップ レベルダウン 例)低音域(440Hz)を調整する場合  にタッチした状態で、上にスライドすると、レベルアップ、下にスライドするとレベルダウンします。
③	Level Over (レベルオーバー)	音圧レベルがオーバーになるとランプ()が赤く点灯します。 ・音が割れているときなどには、ミュージックプレーヤーの音量やイコライザー調整を行い、再生中にランプが点灯しないようにしてください。

ミュージックプレーヤー (Music Player)

No.	表示名	詳細
④	Balance (バランス)	<p>ステレオヘッドフォンを使用するときに、音の左右バランスを調整します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ にタッチした状態で、左右にスライドすると、バランス調整を行うことができます。  <p>右の音を下げ、左の音を上げます。 ← → 右の音を上げ、左の音を下げます。</p> <p>※ ステレオヘッドフォンを使用の際は、音量に注意してください。突然の大きな音で耳を傷める恐れがあります。</p>
⑤	戻る	ミュージックプレーヤー (Music Player) の画面に戻ります。

No.	表示名	詳細
②	リピートモード	<p>[OFF] : 1曲ごとに音楽を停止します。</p> <p>[ファイル] : 再生中の曲を繰り返し流します。</p> <p>[プレイリスト] : 再生リスト (P. 192) の全曲を自動再生します。(全曲の再生が終わると自動で停止)</p> <p>※ ●P. 198 の画像は、「プレイリスト」に選択している状態です。</p>
③	ミュート	<p>本設定を「ON」にしておくと、ナビゲーションを同時起動の際に、ルート案内が行われると、自動的にミュージックプレーヤー (Music Player) の音量を最小限に小さくします。</p> <p>※ ●P. 198 の画像は、「ON」(初期値)に選択している状態です。</p>
④	バージョン情報	<p>ミュージックプレーヤー (Music Player) のシステム情報を確認することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報表示画面にタッチすると、バージョン情報表示が消えます。
⑤	戻る	ミュージックプレーヤー (Music Player) の画面に戻ります。

ミュージックプレーヤーのオプション (Option) 画面について



No.	表示名	詳細
①	起動時再生復帰	<p>ミュージックプレーヤーを再起動した際、自動再生のON/OFFを行います。</p> <p>※上記の画像は、「ON」(初期値)に選択している状態です。</p> <p>本設定を「ON」にしておくと、音楽再生中にミュージックプレーヤー (Music Player) を再起動した際、前回聴いた曲の途中から、自動再生(※)が行われます。</p> <p>※次の場合、自動再生は行われません。</p> <ul style="list-style-type: none"> 別のmicroSDカードに入れ替えたとき。 メインメニュー (Main Menu) のオプション画面 (●P. 31) において、全設定初期化を行った場合。 プレイリストの自動生成 (●P. 191) を行っていない場合。

ピクチャービューア (Picture Viewer) を起動するには

※ ピクチャービューア (Picture Viewer) 起動中は、「ナビゲーション」、「ログビューア (Log Viewer)」、「ミュージックプレーヤー (Music Player)」を使用 (起動) することはできません。
(☛ P.32)

1 デジカメなどで撮影した BMP・JPEG・PNG 形式の画像データファイルを microSD カードへ保存したあと、本体の microSD カード挿入口へ取り付ける (☛ P.23)

- ※ BMP・JPEG・PNG 形式の画像データファイルの保存方法については、☛ P.181 を参照してください。
- ※ あらかじめ USB ケーブルや別売の AC アダプター (OP-E368) を外し、microSD カードを取り付けてください。

2 電源を入れ、メインメニュー (Main Menu) 画面 (☛ P.30) を表示させる

※ メインメニュー (Main Menu) 画面が表示していない場合は、本体上部のメインメニューボタン (☛ P.15) を押してください。

3 メインメニュー (Main Menu) 画面の [Picture Viewer] をタッチする

ピクチャービューア (Picture Viewer) の画面が表示されます。

※ ピクチャービューア (Picture Viewer) を使用中は、microSD カードを抜かないでください。

ピクチャービューア (Picture Viewer) の画面について

<中画面>
画像に2回タッチすると、大画面に切り替わります。



メニュー (MENU)
ピクチャービューア (Picture Viewer) のメニュー画面を表示します。



<小画面>
画像にタッチすると、タッチした画像が中画面に表示されます。(※)
・ [] の枠内にタッチした状態で、左右にスライドすると、他に保存した画像が表示されます。



前の画像 ← → 次の画像

画像データファイル名

<大画面>
画像に2回タッチすると、大画面の表示が解除されます。

※ microSD カードを本体に挿入していない場合や、BMP・JPEG・PNG 形式の画像データファイルが microSD カードに保存されていない場合、画像は表示されません。

画像の表示制限について

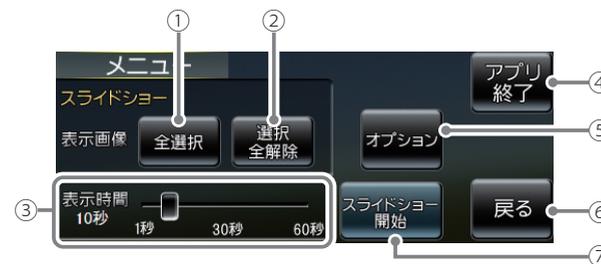


下記の最大ピクセル数 (幅、高さ) やファイルサイズを超えた BMP・JPEG・PNG 形式の画像データファイルの場合、画像は表示されません。
(「画像サイズが大きすぎるため表示できません」と表示されます)

- ・最大ピクセル数 (幅) : 4500 ピクセル
- ・最大ピクセル数 (高さ) : 4500 ピクセル
- ・最大ファイルサイズ : 16Mbyte

ピクチャービューア (Picture Viewer) のメニュー (Menu) 画面について

ピクチャービューア (Picture Viewer) のメニュー (Menu) 画面で、スライドショー (複数の画像を一つずつ表示させる機能) を行うことができます。



No.	表示名	詳細
①	全選択	すべての画像をスライドショー (すべての画像を一つずつ表示) させます。 [全選択] をタッチしたあと、[スライドショー開始] にタッチしてください。 ※ スライドショーを行う画像には、☑ のマークがつけます。全選択は、すべての画像に上記のマークが入ることになります。(スライドショーを行いたい画像を個別に選択することもできます。☛ P. 203)
②	選択全解除	①での全選択を解除します。(☑ のマークがすべて消えます) ※ 上記のマークが消えている場合、[スライドショー開始] をタッチしても、スライドショーは開始されません。

No.	表示名	詳細
③	表示時間	複数の画像を一つずつ表示(スライドショー)させる際、1画像の表示時間を調整することができます。 ・  にタッチした状態で、左右にスライドすると、表示時間を調節することができます。 
④	アプリ終了	ピクチャービューア (Picture Viewer) を終了します。
⑤	オプション	スライドショーのオプション画面 (P. 203) が表示されます。
⑥	戻る	ピクチャービューア (Picture Viewer) の画面 (← P. 200) に戻ります。
⑦	スライドショー開始	スライドショーが開始します。 ・ スライドショーを行いたい画像を個別選択(または全選択にタッチ)してから [スライドショー開始] をタッチしてください ・ スライドショー開始中に画面にタッチすると、スライドショーが終了し、ピクチャービューア (Picture Viewer) の画面が表示されます。 <スライドショーで表示させる画像データファイルの順序について> 画像データファイル名によって順序が決定されます。ファイル名の読み取りの優先順位は次の通りとなります。 「数字：01,02,03・・・」 ↓ 「アルファベット：a,A,b,B,c,C・・・」 ↓ 「その他：仮名(ア、あ、イ、い、ウ、う・・・)」

スライドショーを行いたい画像を個別選択してから、スライドショーを開始する

1 スライドショーを行いたい画像に 2 回タッチする

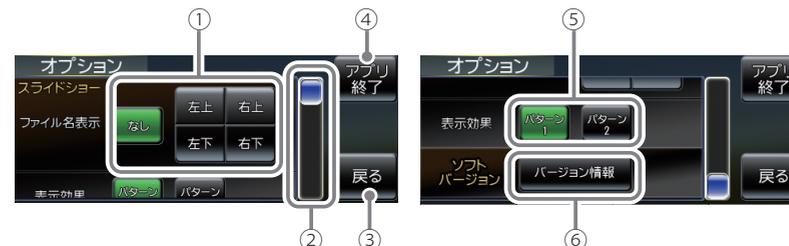
- ・ 選択した画像に マークが表示されます。
- ・ もう一度 2 回タッチすると、の マークが消えます。



- のマークが表示 : スライドショーを行う画像
- のマークが消えている状態 : スライドショーを行わない画像

2 [スライドショー開始] をタッチする

スライドショーのオプション (Option) 画面について



すべての画像をスライドショーさせる

1 [全選択] をタッチする

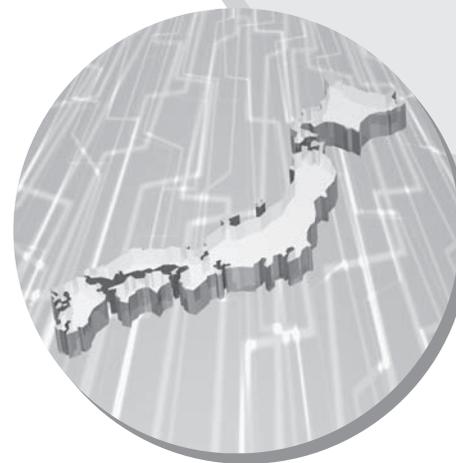
2 [スライドショー開始] をタッチする

No.	表示名	詳細
①	ファイル名表示	スライドショーを開始するとき、ファイル名の表示場所を設定することができます。(非表示も可) ※ 上記の画像は、「なし」(初期値)に選択している状態です。 ・ なし : ファイル名を表示しません。(非表示) ・ 右上 : ファイル名を右上に表示します。 ・ 左上 : ファイル名を左上に表示します。 ・ 右下 : ファイル名を右下に表示します。 ・ 左下 : ファイル名を左下に表示します。

ピクチャービューア (Picture Viewer)

No.	表示名	詳細
②	オプション項目の移動	<p> にタッチした状態で、下にスライドすると、次のオプション項目へ移動、上にスライドすると前のオプション項目へ移動します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オプション項目は、「ファイル名表示」、「表示効果」、「ソフトバージョン」の3項目となります。 <div style="text-align: center;">  <p>前のオプション項目へ移動</p> <p>↑</p> <p>↓</p> <p>次のオプション項目へ移動</p> </div>
③	戻る	ピクチャービューア (Picture Viewer) のメニュー (Menu) 画面 (●P. 201) に戻ります。
④	アプリ終了	ピクチャービューア (Picture Viewer) を終了します。
⑤	表示効果	<p>スライドショーを開始するとき、表示パターンを設定することができます。</p> <p>※●P. 203 の画像は、「パターン1」(初期値) に選択している状態です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パターン1：スライドショーを開始の際、画像をコマ送りして表示させます。 ・パターン2：スライドショーを開始の際、画像をさまざまな方向からスライドして表示します。
⑥	バージョン情報	<p>ピクチャービューア (Picture Viewer) のシステム情報を確認することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報表示画面にタッチすると、バージョン情報表示が消えます。

その他



GPS データ更新

●表示される地図のデータ更新はできません。

GPS データ更新を行うには、**ity**クラブでのダウンロードや microSD カードによるお届けプラン、本体お預かり更新サービスがございます。

詳しくは、下記ホームページを参照ください。

<http://www.yupiteru.co.jp/gps/index.html>

ity クラブに関する問い合わせ

◆ユビテルityクラブ窓口

受付時間 10:00 ~ 17:30 月曜日~金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)
TEL. 054-283-5792

◆ityクラブホームページアドレス

<http://www.yupiteru.co.jp/ityclub/index.html>

・本体お預かり更新サービスをご要望される場合は、お買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にご依頼ください。

地図凡例

次ページに続く

●地図表示記号例

種類	地図上の表示 (ランドマーク)
都市高速	
国道	
県道	
信号機	
インターチェンジ	
ジャンクション	
駐車場	
山	
滝	
温泉	
名水	
都道府県庁	
市・区役所	
町・村役場	
交番	
消防署・消防分署	
郵便局	
学校	
幼稚園	

種類	地図上の表示 (ランドマーク)
保育園	
病院	
ホテル・旅館	
マンション	
工場	
発電所	
キャンプ場	
海水浴場	
ゴルフ場	
スキー場	
デパート	
スーパーマーケット	
駅	
空港	
港湾	
踏切	
トイレ	
神社	
寺院	

●企業アイコン例

種類	地図上の表示 (ランドマーク)
モービル	
エッソ	
ゼネラル	
JOMO	
出光	
キグナス	
コスモ	
昭和シェル	
エネオス	
サークルK	
サンクス	
セブンイレブン	
ファミリーマート	
ローソン	
サイゼリア	
リンガーハット	
吉野家	
松屋	
すき屋	

●3Dランドマーク例

種類	地図上の表示 (ランドマーク)
札幌市時計台	
宮城スタジアム	
埼玉スタジアム 2002	
国会議事堂	
東京国際フォーラム	
東京タワー	
東京都庁第一本庁舎	
日本武道館	

こんなときは

お確かめください

電源が入らない

- ・電源ボタンを押しましたか。
- ・充電されていますか。(本体のみで使用する時)

地図にズレが出る

- ・GPS測位ができていますか。場所を移動してみてください。
- ・マーク・名称などが重なって表示されることがありますが、故障ではありませんので、ご了承ください。

音声案内が出ない

- ・音量設定が、変更されていませんか。音量の設定で大きくしてください。

モニター画面に斑点
や輝点がある

- ・液晶パネルの現象です、故障ではありません(有効画素の中に画素欠けや常時点灯する場合があります)

GPSターゲット識別
しない

- ・GPS測位していましたか。
- ・新たに設置されたオービスではありませんか。

動作しなくなったり、
誤作動を起こしたとき

- ・電源ボタンを3秒以上押し、本機を再起動してください。
- ・電源ボタンを短押しして画面をOFFにしたあと、リチウムイオン電池を外し、約10分以上たってから、リチウムイオン電池を取り付け、電源をONにしてください。

故障かな？と思ったら

こんなときは

ミュージックプレーヤー[Music Player]が再生できない

お確かめください

- ・ microSDカードが正しく挿入されていますか。
 - ・ MP3・WMA形式の音楽データファイルがmicroSDカードに正しく保存されていることをご確認ください。
- また、音楽データファイルの形式(拡張子)が"mp3" "wma"の音楽データであっても、本機で再生できないものもありますので、サンプルリング周波数/ビットレートをご確認ください。(▶P. 183)

ピクチャービューア[Picture Viewer]で画像データが見れない

- ・ microSDカードが正しく挿入されていますか。
 - ・ JPEG・PNG・BMP形式の画像データファイルがmicroSDカードに正しく保存されていることをご確認ください。(▶P. 181)
- また、画像データファイルの形式(拡張子)が"jpg" "png" "bmp"の画像データであっても、本機で画像が見れないものもありますので、画像の表示制限が越えていないかご確認ください。(▶P. 201)

●別売品のレーダーレーシーバユニット (OP-RD1)を使用したとき

こんなときは

取締りもしていないのに警報機能が働く

お確かめください

- ・ 取締りレーダー波と同じ電波が他にも使用されています。それらの電波を受信すると警報機能が働くことがありますが、故障ではありませんので、ご了承ください。

●取締りレーダー波と同じ電波を使用している主な機器
電波式の自動ドア、防犯センサー/信号機の近くに設置されている車両通過計測機/NTTのマイクロエープ通信回線の一部/気象レーダー、航空レーダーの一部/他のレーダー探知機の一部まれに他の無線機の影響を受けることがあります。その場合は取り付け位置を変えてみてください。

ひんぱんに無線ターゲット警報する

- ・ 放送局や無線中継局、携帯電話の基地局などが近くにある場合、強い電波の影響や周囲の状況により、受信状態になることがあります。また、車の電装品から強い電波が発射している場合があります。

反応しない、レーダーターゲット警報しない

- ・ OP-RD1の接続を確認してください。レーダー波や無線電波の受信アンテナはOP-RD1内にあります。クレードルにセットしてください。
- ・ 取締りレーダー波が発射されていましたか。計測する瞬間だけ電波を発射するステルス型など、取締り準備中あるいは終了後などで、スピード測定装置から取締りレーダー波が発射されていないことがあります。(とくにオービスIIIではよくあります)
- ・ 取締りが「レーダー方式」で行われていましたか。
- ・ 受信感度モードが「AAC/ASS」または「AAC/SE」の場合、時速30km以下のときは警報しません。

適合技術基準	小電力データ通信システム
電源電圧	DC 12V
消費電流	最大 600mA以下(充電電流を除く)
外形寸法	・本体… 130(W)×92(H)×29(D)mm(突起部除く) ・本体取り付け用クレードル… 52(W)×115(H)×39(D)mm(突起部除く)
重量	・本体… 264g(専用バッテリー除く) ・本体取り付け用クレードル…200g(コード含む)
防塵・防水仕様	JIS IP57(準拠)
表示画面サイズ	4.3V型ワイドBlanview液晶
データ容量	4GB(内蔵メモリー)
動作温度範囲	0℃～+60℃(充電温度範囲 0～+45℃)
受信方式	32チャンネル/パラレル受信方式
受信周波数	・GPS部…1.6GHz帯
バッテリー最長稼働可能時間	約2時間(ポータブル時)
Bluetoothバージョン	2.1+EDR
Bluetooth対応プロファイル	A2DP

◆主なナビ機能

フリーワード検索	約500万件
住所検索	約3600万件(市区町村/街区/番地/号まで)
施設(ジャンル)検索	約230万件
電話番号検索	約780万件(ハローページ掲載分) ※個人宅は除く
周辺施設検索	約230万件
登録地点検索	100件
まっぷるコード検索	約8万件
履歴検索	50件
地図情報	(株)昭文社/キャンバスマップル(株)
地図データ	2009年春版

※本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

※本機にmicroSDカードは付属していません。8GB以下のmicroSDカードを使用してください。

※本機はmicroSDカードへの音楽データ、画像データ収録機能はありません。
あらかじめパソコンなどでMP3/WMA音楽データ、JPEG/PNG/BMP画像データを収録したmicroSDカードをご利用ください。

※この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。

なお、本文中ではTM、®マークは明記していません。

●ナビゲーションの地図データをご利用頂くにあたって

ナビゲーションの地図データ(以下本地図データ)を作成するにあたり、常時官公庁や事業主体への取材活動や実走実踏調査を通して、現在の状況を可能な限り再現することはもちろん、将来の状況も含めて最新の地図情報をお客様にお届けするように努めております。しかしながら、取材時期、収集時期により新しい情報が収録できていない場合がございます事をご了承ください。

<承認>

- ・この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の1万分の1地形図を使用しました。
(測量法第30条に基づく成果使用承認 平20業使第54-M009817号)
- ・この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2.5万分の1地形図を使用しました。
(測量法第30条に基づく成果使用承認 平20業使第55-M011390号)
- ・この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を使用しました。
(測量法第30条に基づく成果使用承認 平20業使第56-M009825号)
- ・この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の20万分の1地勢図を使用しました。
(測量法第30条に基づく成果使用承認 平20業使第57-M009833号)
- ・この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の100万分の1日本、50万分の1地方図及び数値地図500万(総合)を使用しました。
(測量法第30条に基づく成果使用承認 平20業使第58-M029664号)
- ・この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図500万(総合)を使用しました。
(測量法第30条に基づく成果使用承認 平19総使第513-M035230号)
- ・この地図の作成に当たっては、財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。
(測量法第44条に基づく成果使用承認 07-210P)

※本地図データは、上記財団法人日本デジタル道路地図協会発行「全国デジタル道路地図データベース」の情報に基づいて、(株)昭文社が作成したものです。

<データについて>

本地図データ構築に当たって使用した情報は、おおむね下記の時期に収集・調査したものに基いています。

・高速道路や主要道路	2008年11月
・高速道路/有料道路料金	2008年10月
・重要施設	2008年12月
・住所検索	2008年11月
・電話番号検索	Bellemax® 2008年11月版

・本地図データに収録している交通規制データは、普通車を対象としたものです。二輪車や大型車に対する規制とは異なる場合があります。

地図データベースについて

- ・本地図データで使用している電話番号データは、日本ソフト販売(株)の「Bellemax®」(2008年11月版)のデータを使用しております。Bellemax®は日本ソフト販売(株)の商標です。

<おことわり>

- ・データベース作成時点の関連で、表示される地図が現状と異なることがありますのでご了承ください。
- ・内容には万全を期しておりますが、道路標識などの交通規制情報も予告なく変更される事がありますので、すべて現地の通行規制や標識に従って運転願います。
- ・情報掲載内容については、(株)昭文社独自の取捨選択を行っております。
- ・細心の注意を払い地図編集を行っておりますが全国の地図情報は膨大でかつ変化の激しいものですので、現地の状況との相違については、何卒ご了承頂きますようよろしくお願い申し上げます。
- ・高速道路、有料道路の料金につきましては、2008年10月1日までの調査による2009年4月1日時点の二輪・軽自動車・中型自動車・普通自動車・大型車・特大車の料金をもって、料金表示を行っておりますが、実際にかかる費用と異なる場合がございます事を予めご了承ください。
また、ETCを利用した各種料金割引には対応しておりませんので、あらかじめご了承ください。
- ・この地図に使用している交通規制データを無断で複製・複製・加工・改変することはできません。
- ・いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。
- ・改良のため、予告なく編集方針(レイアウト、情報内容、地図仕様等)を変更することがあります。
- ・本地図データ利用により事故、損害、トラブル等が生じて、当社では責任を負いかねますのでご了承ください。

©2009 財団法人日本デジタル道路地図協会

©2009 日本ソフト販売株式会社

©2009 キャンバスマップル株式会社

©2009 株式会社昭文社